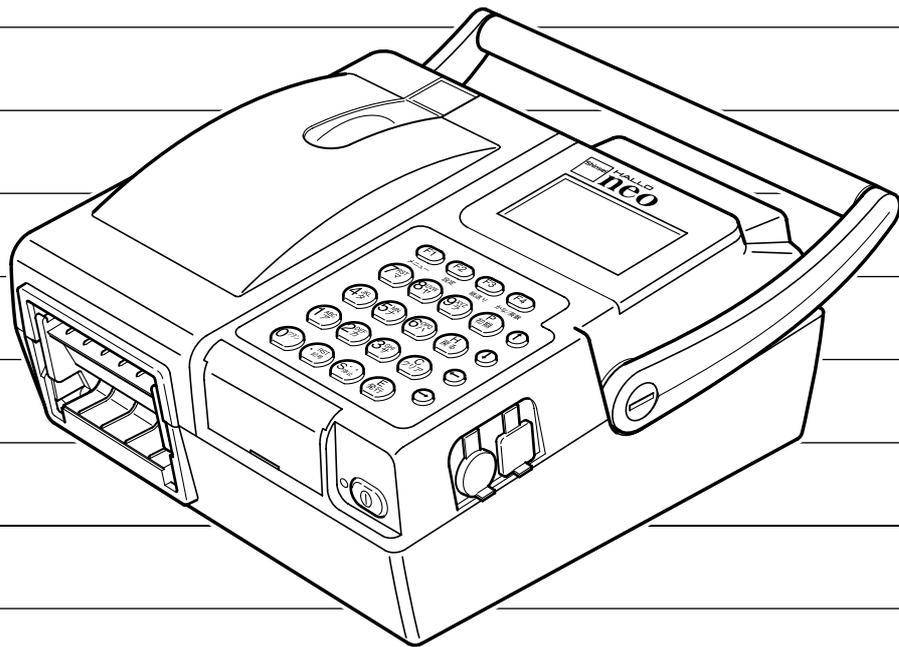


Shinsei HALLO
neo

COMPACT BARCODE PRINTER

取扱説明書



■ はじめに

このたびは HALLO neo をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、最新鋭のエレクトロニクス技術と卓越した経験をもとに開発されたバーコードプリンターです。ご使用前に、この取扱説明書を充分お読みいただき、HALLO neo を正しく有効にご活用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書が必要になったとき、すぐにご利用できるように保管してください。

⚠ 注意： カバーの解放時に、サーマルヘッドがむき出しになります。 **手を触れない** ください。
使用直後のラベル交換時などは、ヘッドが過熱していて、 **火傷** のおそれがあります。
また、手油が **ヘッド劣化** の原因にもなりますので、絶対に触らないください。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。

この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。
その場合には、使用者が適切な対応を講じるよう要求されることがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

お願い： ニッケル水素（Ni-MH）電池のリサイクル

バッテリーパックは、不用になりましたら、当社へお届けください。

■ ご使用時のお願い

本装置は、過度な電源ノイズや浮遊電波などの外部要因によって、内蔵しているプログラムの設定値が、変化したり破壊される場合がありますので、印字内容が正しいことを確認してから発行（使用）してください。

目 次

安全にご使用いただくために	1	16.設定メニューについて	45
より長く適切にご使用いただくために	2	1. 設定メニューの起動方法	45
1.プリンター本体と付属品の確認	3	2. 設定メニューの項目	45
2.各部の名称と機能	4	3. 各項目の起動方法	45
3.キーボードの名称と機能	6	4. 設定メニューの終了	45
4.ACコンバータでご使用の場合	8	17.カレンダー設定	46
1.ACコンバータの取り付け	8	1. 内蔵時計設定	46
2.ACコンバータの取り外し	9	2. 一時カレンダー設定	47
5.バッテリーパックでご使用の場合	10	3. 年号の設定	48
1.バッテリーパックの取り付け	10	4. 区切り文字設定	49
2.バッテリーパックの取り外し	10	5. リアルタイム更新設定	49
6.バッテリーパックの充電	11	18.原産地設定	50
1. こんなときは充電が必要です	11	19.リサイクルマーク設定	50
2. 充電のしかた	11	20.登録番号設定	51
3. バッテリーをご使用になる上で!!	12	21.日付項目設定	52
7.ラベルのセット (連続発行)	13	22.ラベルサイズ設定	55
8.ラベルのセット (剥離発行)	14	23.送り量設定	56
9.基本画面について	15	1. 停止位置	56
1. 初期画面の表示	15	2. ティアオフ送り量	57
2. 電池残量表示	16	3. 剥離送り量	57
3. メンテメニュー画面の表示	16	24.印字左右設定	58
10.メインメニューについて	17	25.テスト印字	59
1. 各項目の主な機能	17	26.印字濃度設定	60
2. 各項目の起動方法	17	27.発行方式設定	61
11.印字項目の分類	18	1. ティア・連続を選択した場合	61
12.ノーマル発行のしかた	19	2. 剥離を選択した場合	61
13.プリセット (登録) のしかた	25	28.発行後テストパターン	62
14.プリセット (登録) の変更と削除	30	29.発行前位置合せ	62
1. パターン番号を変えずに項目内容を変更する	30	30.価格項目設定	63
2. パターン番号から変更する	35	31.ラベル出し方向	63
3. 登録番号を指定してデータを削除する	40	32.バー附带文字	64
15.呼出發行のしかた	42	33.消費税設定	65
		34.原産地名編集	67
		35.リサイクルマーク編集	68
		1. パターン設定	68
		2. 付帯文字編集	70

目 次

36. メンテメニューについて	71	55. 消費税率設定	96
1. メンテメニューの起動方法	71	56. 工場出荷値	98
2. メンテメニューの項目	71	57. 原産地名テーブル	99
3. 各項目の起動方法	71	1. 原産地名テーブルの一覧印字	99
4. メンテメニューの終了	71	2. 原産地名テーブルの工場出荷値	99
37. バージョン情報	72	58. リサイクルマークパターン	100
38. ヘッドチェック	72	1. リサイクルマークパターンの付帯文字行数	100
39. CFカードについて	73	2. リサイクルマークパターンの工場出荷値	100
1. CFカード挿入のしかた	73	59. スキャナ (別売) の使用	101
2. CFカードの取り外し方	73	1. スキャナの接続	101
40. カード初期化	74	2. スキャナの使い方	101
1. データカードの初期化	74	60. スキャナによるコピー発行のしかた	102
2. バックアップデータの初期化	75	61. スキャナによる呼び出し発行のしかた	104
41. カード → 本体コピー (データのコピー)	77	62. 日常の点検および清掃	108
1. プリセットデータを本体にコピー	77	1. 印字ヘッドの清掃	108
2. リカバリデータを本体にコピー	78	2. ラベル通路の清掃	108
42. 本体 → カードコピー (データのコピー)	79	3. ラベルセンサー部の清掃	109
1. プリセットデータをカードにコピー	79	neo プリンタエラー表示一覧	110
2. バックアップデータをカードにコピー	80	neo 製品仕様	111
43. プリセット (確認と削除)	81	
1. 登録件数表示	81	【付録A】 固定パターン表	付録-1
2. 一覧印字	82	【付録B】 産地リスト	付録-7
3. スキャン用印字	83	【付録C】 リサイクルマーク表	付録-8
4. 全削除	84	【付録D】 付帯文字リスト	付録-8
5. 番号指定削除	85	【付録E】 日付名称リスト	付録-9
44. 初期画面設定	86	【付録F】 総額表示パターン (サンプル)	付録-10
45. ラベルタイプ設定	87		
46. センサーレベル調整	88		
47. LCDコントラスト調整	89		
48. LCDバックライト設定	90		
49. ブザー音設定	92		
50. スキャナ設定	92		
51. 自動パワーオフ	93		
52. AD値表示	94		
53. 発行距離表示	94		
54. 通信ポート設定	95		

安全にご使用いただくために

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
警告・注意の指示と意味は次のようになっています。

 **警告：** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意：** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

警告

本体・充電器・バッテリーパック・ACコンバータ等、製品はいずれも分解しないでください。

破損、ショート、発火の恐れがあり、感電・火傷・火災の原因になります。



ACコンバータでのご使用後は、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

電源コードがコンセントに接続されているときは、電流が流れています。コードの疲労、断線、ショート等による感電・漏電・火災・けがの原因になります。差し込み部にホコリがたまり、漏電・火災の原因になります。



屋外では使用しないでください。

屋内の安全な環境下でご使用ください。
プリンター本体にホコリや異物が入らないようご注意ください。
故障・破損の原因になります。



より永く適切にご使用いただくために

⚠️ 取り扱い上のご注意

1. ラベルがセットされていない状態で、「ラベル発行」をおこなわないでください。
2. 本製品を落としたり、ぶつけたりするなどの「強いショック」を与えないでください。
3. 本体・充電器・バッテリーパック・ACコンバータ等に水やホコリがかぶらないように、注意してご使用ください。
4. 極端な温度、湿度のもとでのご使用は避けてください。
5. 冷暖房の近くや、直射日光の当たる場所に放置したり、保管しないでください。

【周囲環境】

使用環境温度： 5 °~ 35

使用環境湿度： 25 ~ 80%RH

保存環境温度： - 10 °~ + 60

保存環境湿度： 10 ~ 80%RH

(ただし、結露しないこと)

6. ラベルの通路にノリやゴミが付着しましたら、柔らかい布にアルコールをしみ込ませて拭き取ってください。
7. ラベルを2種類以上併用する場合は、ラベルのサイズ合わせに注意してください。
8. はじめてバッテリーパックをご使用になる際は、十分に充電してからお使いください。
9. 本製品をバッテリーパックでご使用になる場合、一時的に使用を中断する場合でも、パワースイッチを「オフ」にしてください。バッテリーパックの節電になります。
10. 本製品をバッテリーパックでご使用になる場合、パワースイッチを「オン」にするたびにバッテリー残量が液晶ディスプレイに表示されます。
バッテリーの充電は、エラー表示が出てから行うようにしてください。
充電方法は「バッテリーパックの充電」の項をお読みください。

11. HALLO neo は、バックアップ用リチウム電池で、プリセット(登録)されたデータを保持しています。

そのリチウム電池の電圧が低下すると、右図の警告が液晶ディスプレイに表示されます。

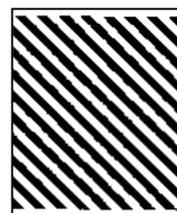
大至急!! お買い上げいただいた販売店か、メーカーにサービスコールしてください。

リチウム電池の寿命は、使用状態により異なりますが、3年を目安にしてください。

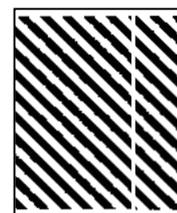


12. 始業点検のお願い!!

パワースイッチを「オン」にしてから『設定』以外の作業モードに入ったときに (F3) キーを押して、紙送り(テストパターンのラベル発行)を行ってください。異常パターンが印字された場合は、使用を中止し、サービスコールしてください。



(正常)



(異常)

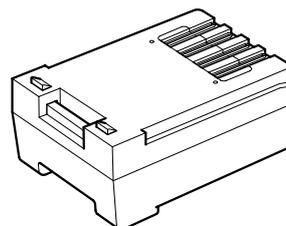
1. プリンター本体と付属品の確認

Aセット

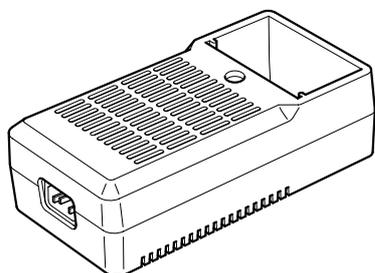
本 体



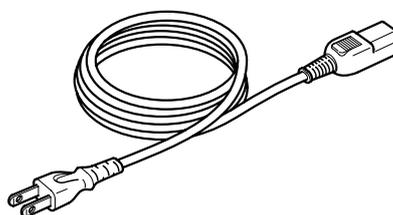
バッテリーパック (BH-30)



充電器 (CH-30)



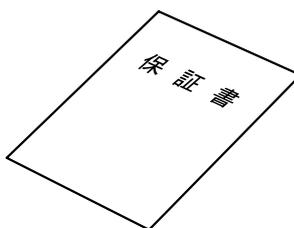
電源コード (AC100V)



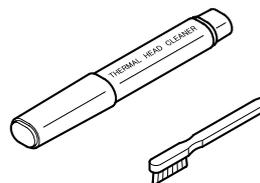
取扱説明書



保証書

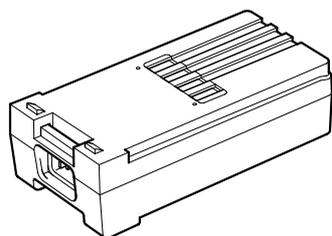


ヘッドクリーナー/ブラシ



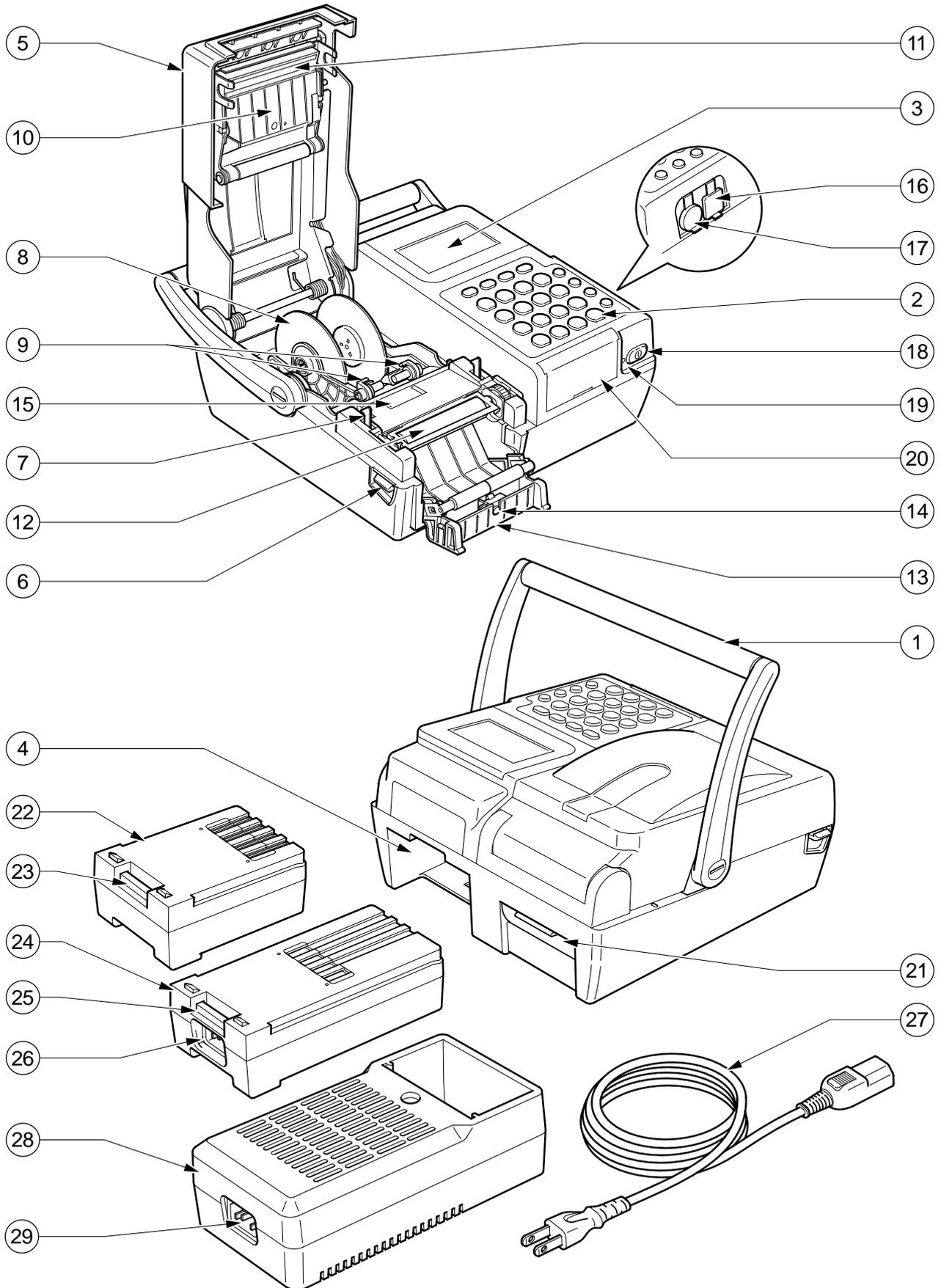
Bセット

ACコンバータ (CV-80)



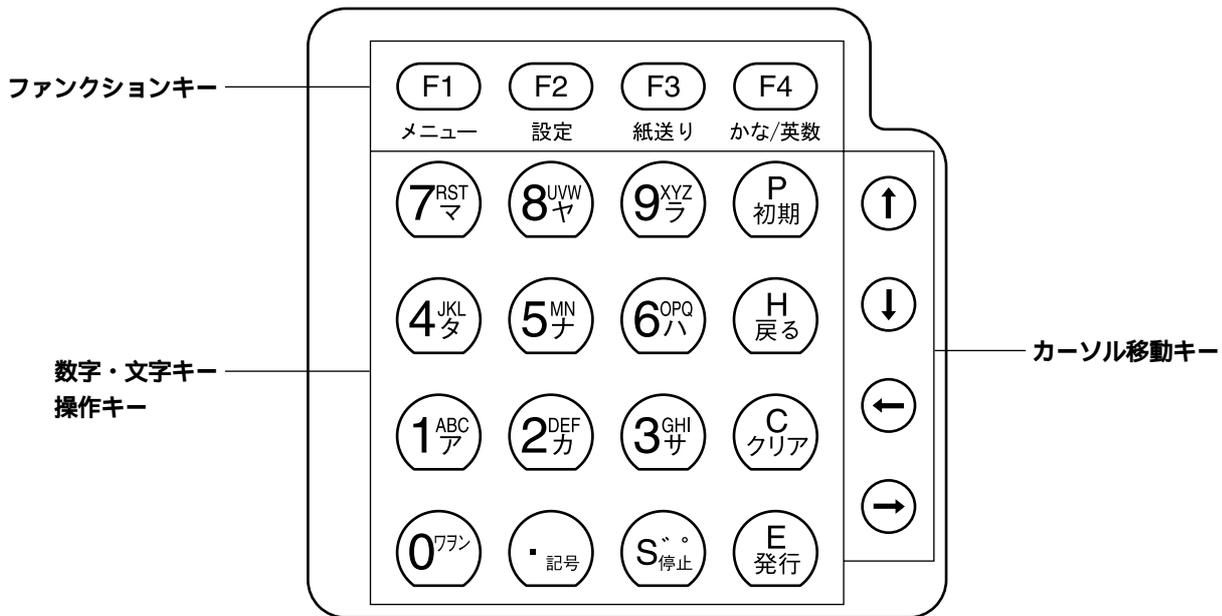
Aセットの「バッテリーパック (BH-30)」および「充電器 (CH-30)」の代わりに「ACコンバータ (CV-80)」が付属されます。

2. 各部の名称と機能



番号	名 称	機 能
1	ハンドル	本体を持ち運ぶときの取っ手です。
2	キーボード	データの呼び出しや、入力をします。
3	液晶ディスプレイ	メッセージや、キー [呼出 / 入力] 内容の表示部です。
4	電源着脱部	電源仕様に応じて、ACコンバータ(CV-80)/バッテリーパック(BH-30)を 着脱します。
5	カバー	ラベルロールの装着部、ラベル通路、印字部の開閉カバーです。
6	カバー開放レバー	カバーを開くときのロックを解除するレバーです。
7	カバーフック	閉じるときにカバーをロックします。
8	ラベルホルダ	ラベルロールの装着部です。
9	ラベルガイド	ラベルがずれて出ないように押さえます。
10	ヘッドユニット	ヘッドブロック (印字部) の全体機構部です。
11	印字ヘッド	ラベルに印字します。
12	プラテンローラー	印字の際、印字ヘッドとでラベルを挟み込み、ラベル移送もします。
13	剥離フレーム	剥離発行でご使用のときに、印字されたラベルが台紙から剥がれた状態で出てきます。
14	剥離センサー	剥離発行されたラベルを検知して印字動作を中断させ、ラベルが取り除かれると印字を再開させる信号を出すセンサーです。
15	ラベルセンサー	ラベル移送を検知するセンサーです。
16	USBカバー	USBコネクタのカバーです。
17	ミニDINカバー	スキャナ専用ミニDIN6極コネクタのカバーです。
18	パワースイッチ	本体の電源を「オン」「オフ」します。
19	電源ランプ	本体の電源が「オン」のとき点灯し、「オフ」のとき消灯します。
20	CFカードカバー	CFカードの差し込み口のカバーです。
21	大巻きラベル用窓	大巻きラベルを使用するときの、ラベルの挿入口です。
22	バッテリーパック (BH-30)	繰り返し充電可能なニッケル水素 (Ni-MH) 電池です。 バッテリーパック使用時に、本体の電源着脱部に差し込みます。
23	電源フック (バッテリーパック)	バッテリーパックを本体から取り外すときに押します。
24	ACコンバータ (CV-80)	家庭用AC100V使用時に、本体の電源着脱部に差し込みます。
25	電源フック (ACコンバータ)	ACコンバータを本体から取り外すときに押します。
26	AC受け口 (ACコンバータ)	電源コードの出力側コンセントを差し込みます。
27	電源コード	ACコンバータ使用時に、ACコンバータと電源コンセントに接続します。 バッテリーパック使用時に、充電器と電源コンセントに接続します。
28	充電器 (CH-30)	バッテリーパックを充電します。
29	AC受け口 (充電器)	充電するとき、電源コードの出力側コンセントを差し込みます。

3. キーボード部の名称と機能



ファンクションキー	
F1 メニュー	メインメニューを表示します。
F2 設定	設定メニューを起動します。
F3 紙送り	紙送り キーを押すたびにテストパターンラベル1枚分が繰り出されます。
F4 かな/英数	入力モード切替 (かな / 数字 / 英字) 電源を入れたときは数字モードに設定されています。 キーを押すたびに、かな 数字 英字の順に切り替わります。

数字・文字キー	
0 フアン) 9 XYZ ラ	数字モードのときに、キーに印字されている数字を入力します。 かなモードのときに、キーに印字されているカタカナの行の文字を入力します。 (キーを押すたびに行の文字が切り替わります。) 英字モードのときに、キーに印字されている英字を入力します。 (キーを押すたびに文字が切り替わります。)
. 記号	バーコード以外の文字を入力するときに、ピリオド(.)や文字以外の記号を入力します。
S 停止	かなモードのときに、バ、パなどの濁点を入力します。 (キーを押すたびに切り替わります。) 数字 / 英字モードのときに、スペースを入力します。

操作キー	
 P 初期	初期画面キー 各モードの初期画面に戻ります。
 H 戻る	ステップバックキー 各項目のデータ入力後、訂正するときには前の項目に戻ります。 複数枚の印字発行の後、再び発行枚数の入力画面に戻りたいときに押します。
 C クリア	クリアキー データ入力中、訂正するときには前の文字に戻ります。 (キーを押すたびにカーソル上の文字が1文字ずつ削除されます。)
 E 発行	エンターキー 各項目のデータ入力を確定し、次の項目に移ります。 ラベル発行待ちのときは、ラベル発行のスタートキーになります。
 S 停止	停止キー ラベルの連続発行中に、一時停止させます。 剥離発行のときも、一時停止できます。

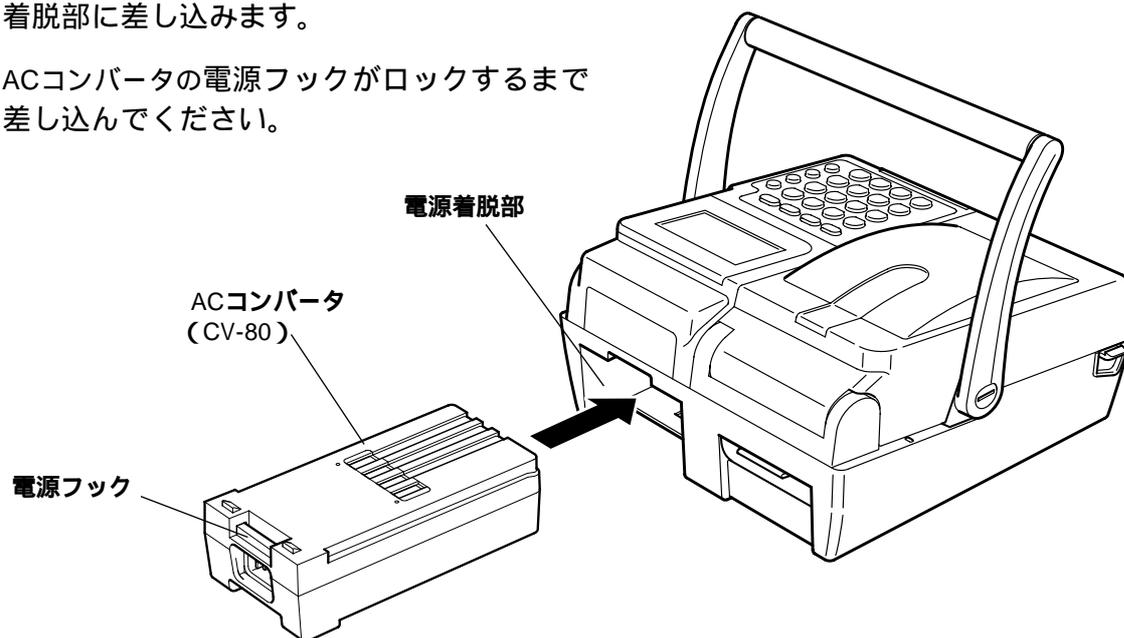
カーソル移動キー		
	上矢印キー 液晶ディスプレイ右下に右図の表示があるとき、カーソルを上の方に移動させます。 (押し続けると、スクロールします。) かな入力モードのとき、ひらがな・カタカナ・漢字を選択します。	ディスプレイ表示  または 
	下矢印キー 液晶ディスプレイ右下に右図の表示があるとき、カーソルを下の方に移動させます。 (押し続けると、スクロールします。) かな入力モードのとき、ひらがな・カタカナ・漢字を選択します。	
	左矢印キー 液晶ディスプレイ右下に右図の表示があるとき、カーソルを同じ行の左に移動させます。 (押し続けると、スクロールします。)	ディスプレイ表示  または 
	右矢印キー 液晶ディスプレイ右下に右図の表示があるとき、カーソルを同じ行の右に移動させます。 (押し続けると、スクロールします。)	

4. ACコンバータでご使用の場合

1. ACコンバータの取り付け

- (1) ACコンバータ (CV-80) を本体背面の電源着脱部に差し込みます。

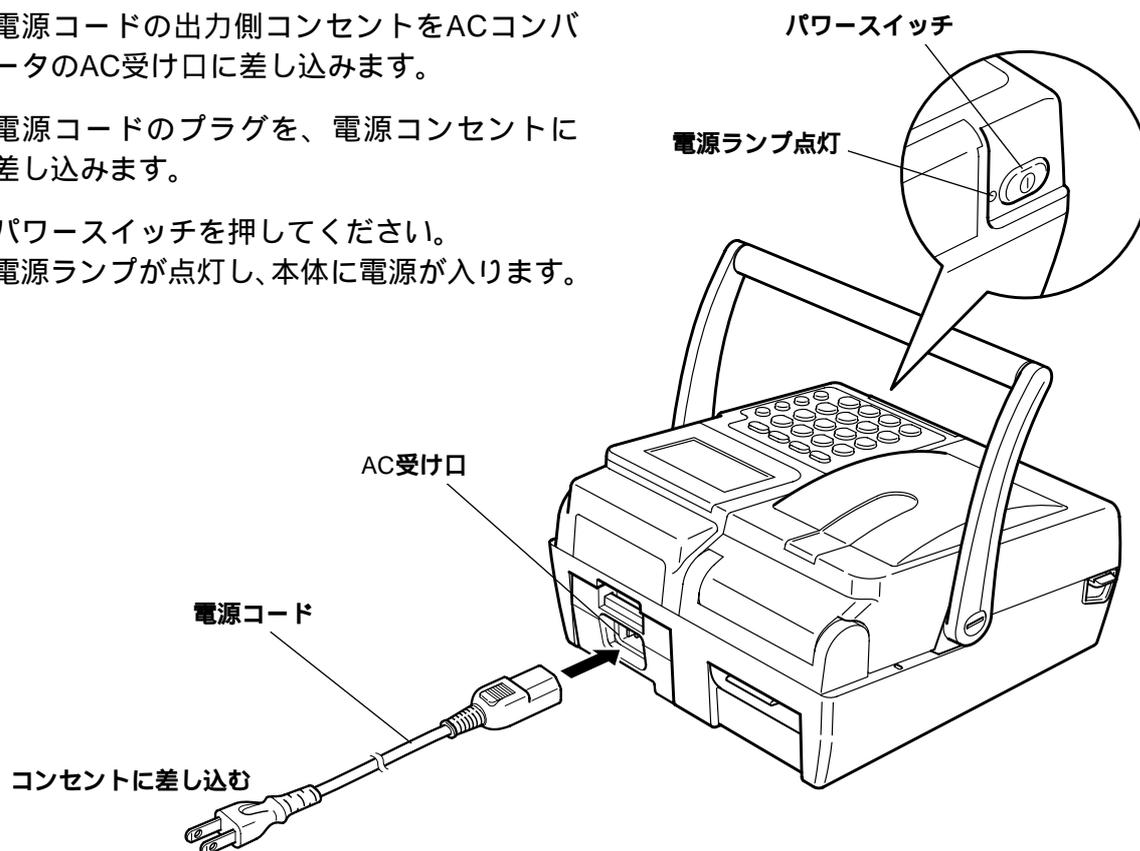
ACコンバータの電源フックがロックするまで差し込んでください。



- (2) 電源コードの出力側コンセントをACコンバータのAC受け口に差し込みます。

- (3) 電源コードのプラグを、電源コンセントに差し込みます。

- (4) パワースイッチを押してください。
電源ランプが点灯し、本体に電源が入ります。





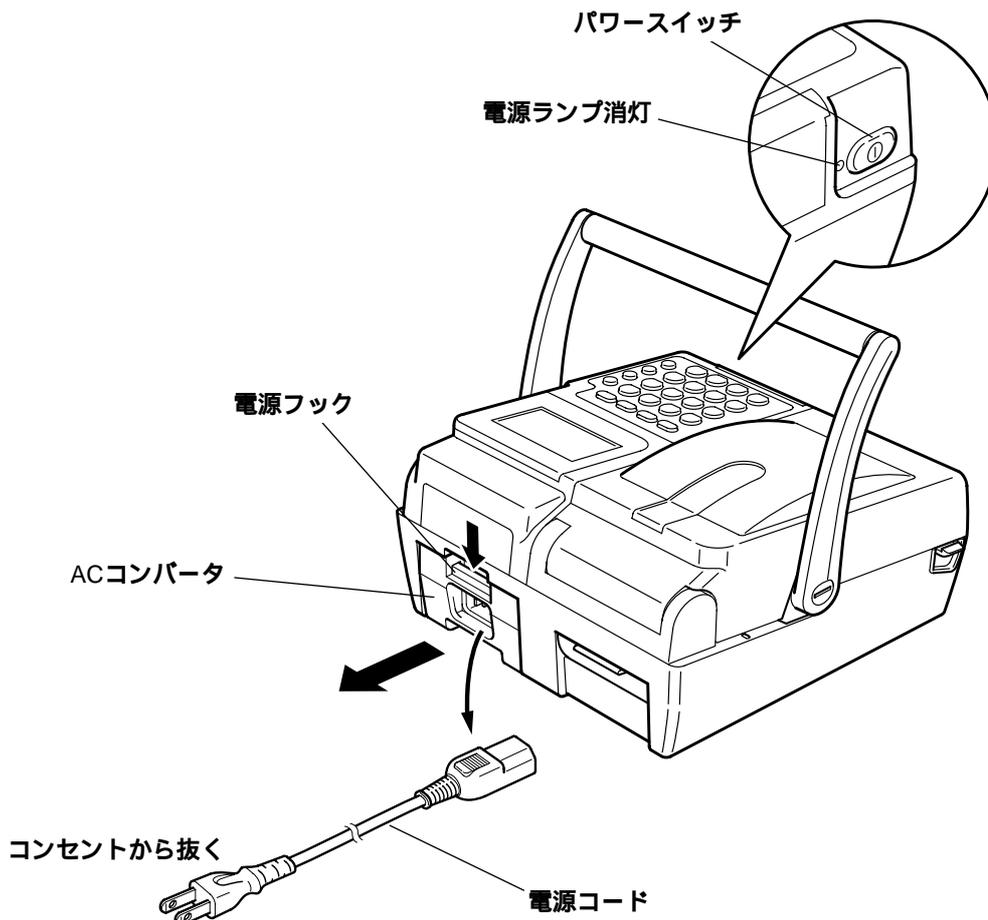
注意：

ご使用後および長時間ご使用されない場合は、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。

ACコンバータを本体に装着していない状態では、ACコンバータに接続した電源コードのプラグを電源コンセントに差し込まないでください。(ACコンバータに電源コードが接続されていても、本体に装着されていなければACコンバータの出力端子には電圧が発生しない安全設計になっています。しかし、何等かの原因で安全状態が無効になっていると、出力端子に電圧が発生していることになり大変危険です。)

2. ACコンバータの取り外し

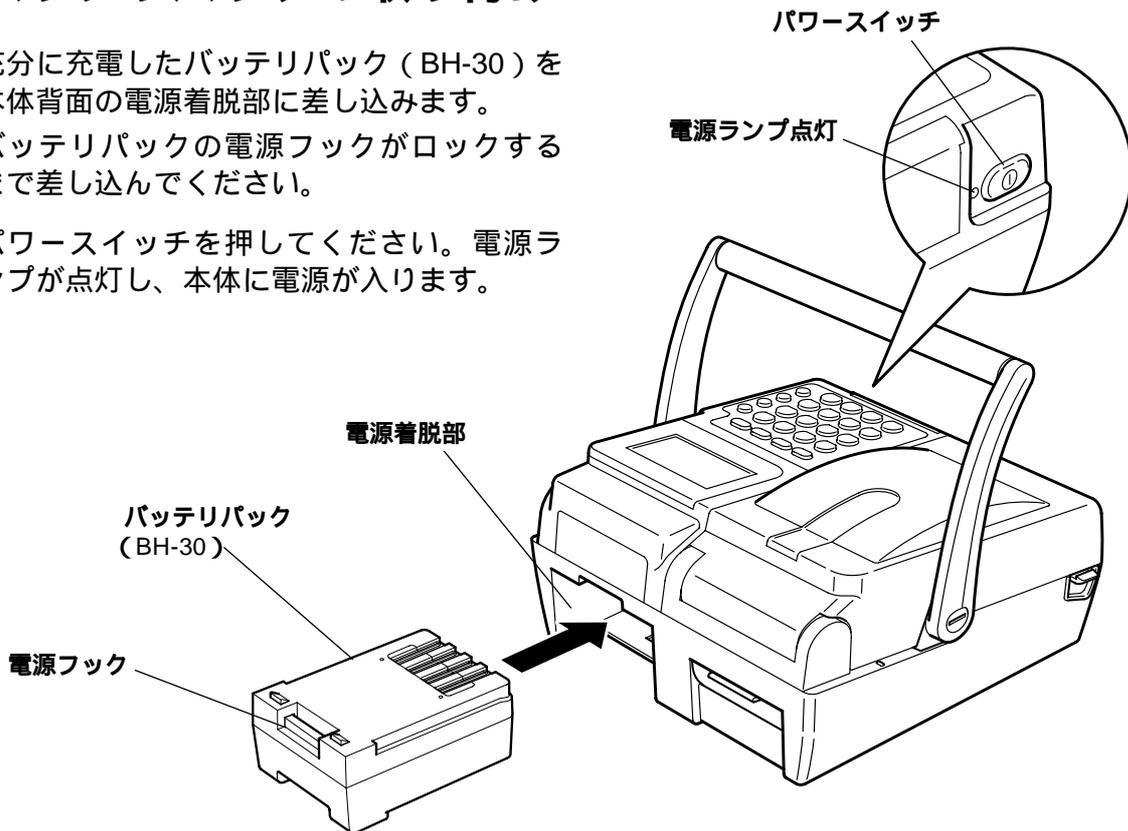
- (1) パワースイッチを押して電源を「オフ」にします。
電源ランプが消灯していることを確認してください。
- (2) 電源コードのプラグを、電源コンセントから抜いてください。
- (3) 電源コードの出力側コネクタをACコンバータのAC受け口から引き抜きます。
- (4) ACコンバータの電源フックを押してロックをはずし、本体背面の電源着脱部から引き抜いてください。
一度本体に装着したACコンバータを取り外す必要はありません。
ACコンバータの交換や、バッテリーパックをご使用になるときに外してください。



5. バッテリーパックでご使用の場合

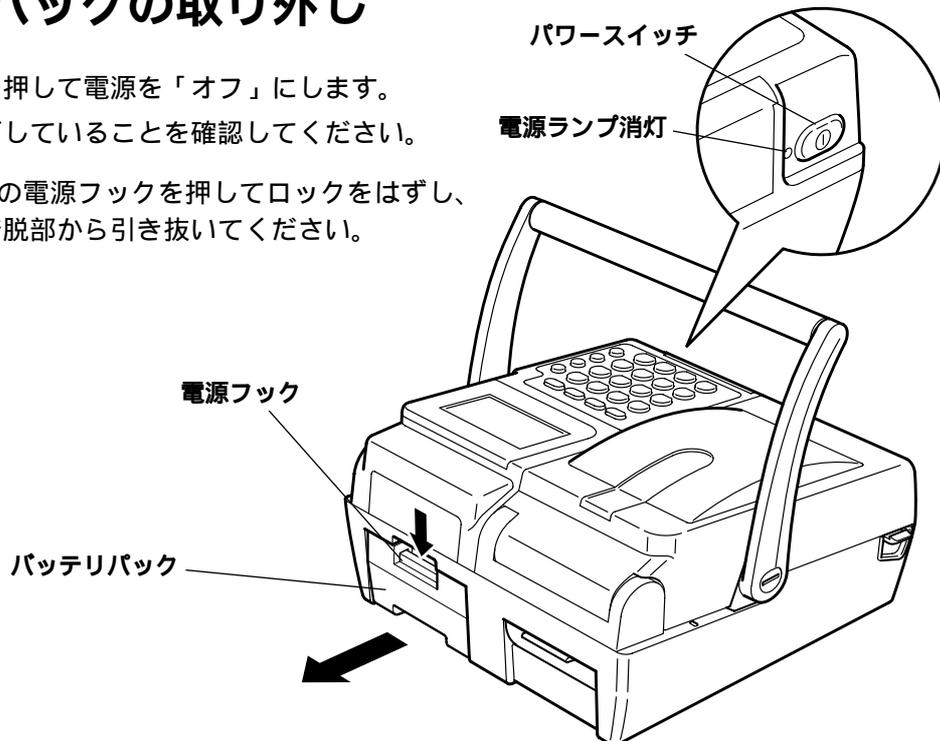
1. バッテリーパックの取り付け

- (1) 十分に充電したバッテリーパック (BH-30) を本体背面の電源着脱部に差し込みます。バッテリーパックの電源フックがロックするまで差し込んでください。
- (2) パワースイッチを押してください。電源ランプが点灯し、本体に電源が入ります。



2. バッテリーパックの取り外し

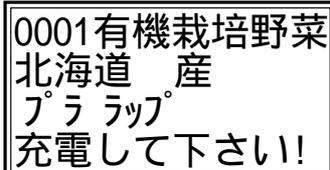
- (1) パワースイッチを押して電源を「オフ」にします。電源ランプが消灯していることを確認してください。
- (2) バッテリーパックの電源フックを押してロックをはずし、本体背面の電源着脱部から引き抜いてください。



6. バッテリーパックの充電

1. こんなときは充電が必要です

- (1) はじめてバッテリーパックをお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったとき。
- (2) 電源を「オン」にしても、液晶ディスプレイに何も表示されないときや、一度電池残量が表示されたが、すぐに消えてしまったとき。
- (3) 電池残量表示が段階3のとき。(P16「電池残量表示」参照)
- (4) 各項目の入力中に液晶ディスプレイの表示が消えてしまったとき。
- (5) プリント中に動作が停止し、液晶ディスプレイの表示が右図のようになり、アラームが鳴り出したとき。



2. 充電のしかた

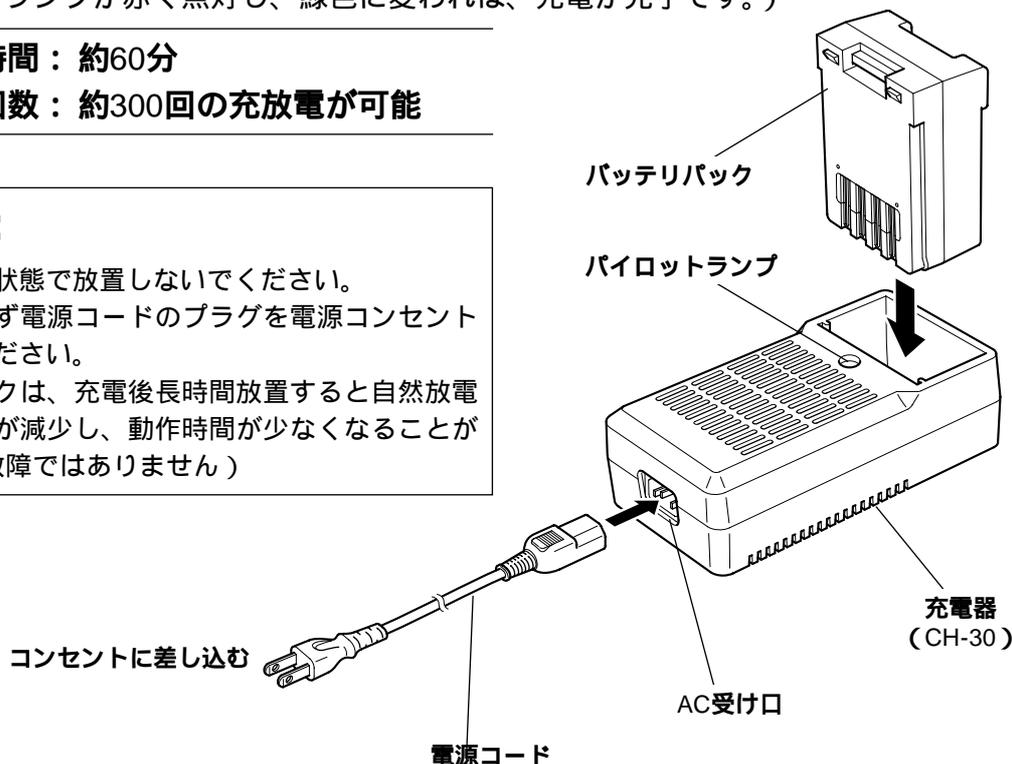
- (1) 電源コードの出力側コンセントを充電器(CH-30)のAC受け口に差し込みます。
- (2) 電源コードのプラグを、電源コンセントに差し込みます。
- (3) バッテリーパックを充電器にセットすると充電が始まります。
(パイロットランプが赤く点灯し、緑色に変われば、充電が完了です。)

充電時間：約60分

充電回数：約300回の充放電が可能

⚠ 注意：

長時間、充電状態で放置しないでください。
充電後は、必ず電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
バッテリーパックは、充電後長時間放置すると自然放電して電池残量が減少し、動作時間が少なくなることがあります。(故障ではありません)



⚠ 警告：

絶対にバッテリーパックを分解しないでください。
破損、ショート、発火の恐れがあり、感電・火傷・火災の原因になります。
バッテリーパックを水につけないでください。
また、バッテリーパックを保管するときは金属などといっしょに置かないでください。
ショートする恐れがあります。

6. バッテリーパックの充電 (つづき)

3. バッテリーをご使用になる上で！！

1. バッテリーについて

バッテリーは過充電や過放電により、劣化速度(寿命)が大きく左右されますのでご注意ください。

(1) 過充電を起こさないための注意点：

充電したバッテリーは、放電をせずに、短期間で何度も再充電を行わないでください。
バッテリーは、機器側で使用し適度に放電された状態の後、充電を行ってください。

(2) 過放電を起こさないための注意点：

機器側で電池残量の少ない警告が表示されたら、バッテリーを速やかに充電して下さい。
バッテリーは、長時間機器に装着したままの状態(電源「オフ」状態でも放電は起きています)におかれた場合、または長時間自然放置された場合、過放電状態になる可能性があります。

(3) 充電の最適化：

バッテリーの充電は、【電池残量】の表示が、「E* F」(段階3【 P16 】の残り少ない状態)になってから行うのが最適で、長寿命が保てます。

2. 充電の仕様について

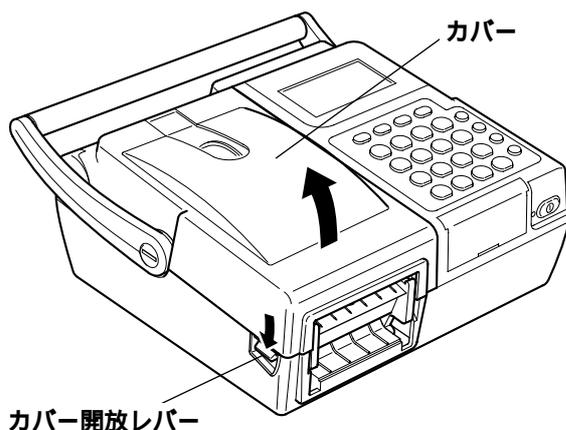
充電器は約1時間の急速充電を行いますが、バッテリーのセット後5分程度は微少電流で充電しています。(ただし、電池使用直後などの場合、急速充電に移行するまでに5分以上かかる場合があります。)従って、早急にバッテリーを使用したい場合でも、必ず数十分程度の充電を行わなければ、機器を動かすための最低限な充電はなされておられません。急速充電終了まで充電を行って頂くことを推奨します。

3. その他

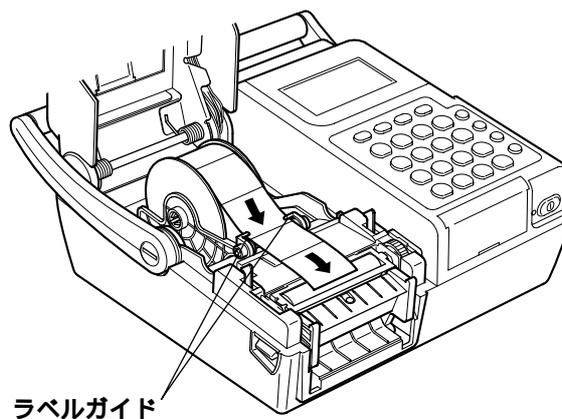
機器で大量に印字発行した直後などは、バッテリーの温度が高くなっていることがあり、直ちに急速充電が行われないことが有りますのでご了承ください。

7. ラベルのセット (連続発行)

(1) カバー開放レバーを押して、カバーを開きます。



(3) ラベルロールの先端をラベルガイドの下に通して、外側に引き出します。



⚠ 注意:

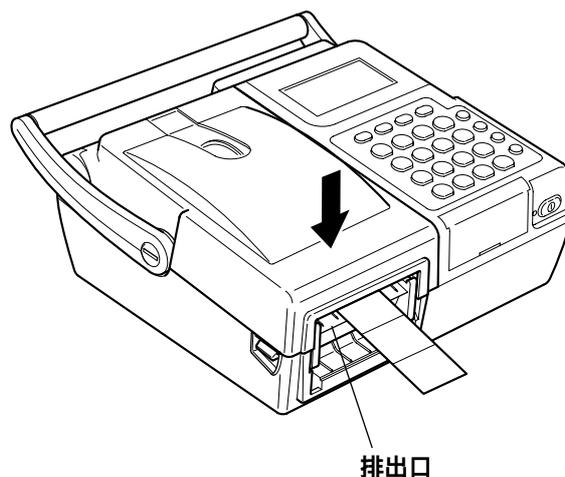
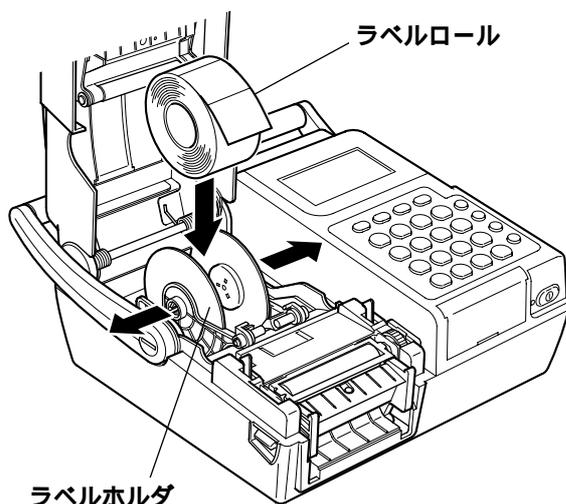
カバーの解放時に、サーマルヘッドがむき出しになりますが、手を触れないでください。
使用直後のラベル交換時などは、ヘッドが過熱していて、火傷のおそれがあります。

(4) カバーをゆっくりと閉めて、カバーをロックします。

⚠ 注意:

カバーを勢いよく閉じると故障・破損の原因になります。

(2) ラベルホルダを指で左右に開きながら、ラベルロールの芯にラベルホルダの突起部を入れてラベルロールを挟み込みます。



(5) 所定の動作モードに入ってから (F3) キーを押します。

先頭のラベルが、テストパターンを印字して排出口から発行され、次のラベルが印字の適正位置に待機します。

【 P53 ラベルサイズ設定 参照 】

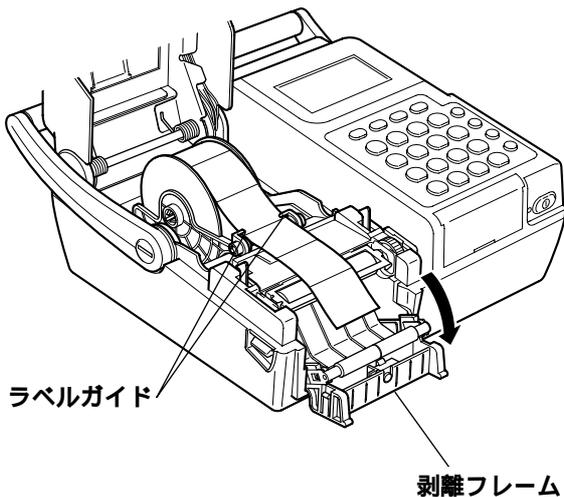
【 P56 送り量設定 参照 】

【 P63 ラベル出し方向 参照 】

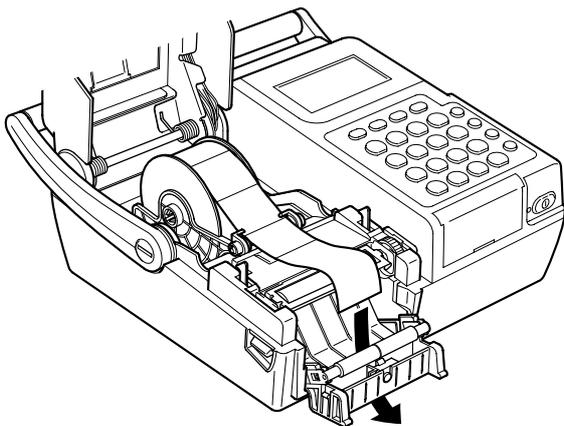
8. ラベルのセット (剥離発行)

(1)【P13】ラベルのセット(連続発行)の(1)(2)(3)と同様に、ラベルロールをセットします。

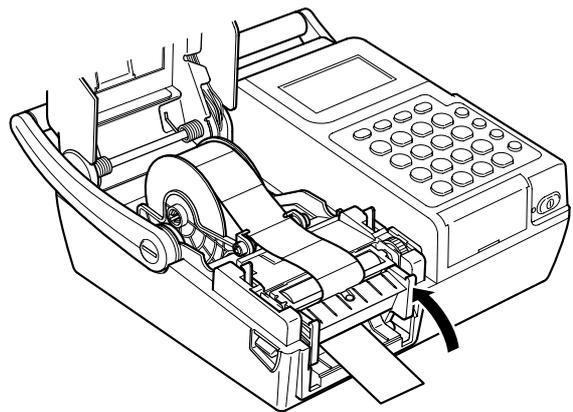
(2)剥離フレームを指で下げるように開きます。



(3)ラベルロールの先端のラベルを剥がして台紙だけの状態にし、下図の矢印のように剥離フレームに通します。



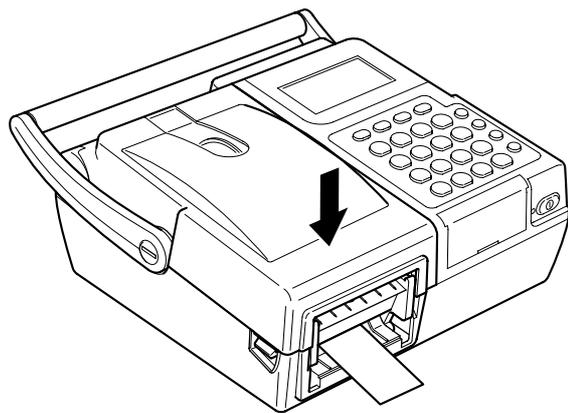
(4)ラベルロールから引き出した部分がたるまないように、表側に出た台紙を軽く引っ張りながら、剥離フレームを閉めます。



(5)カバーをゆっくりと閉めて、カバーをロックします。

⚠ 注意:

カバーを勢いよく閉じると故障・破損の原因になります。



(6)所定の動作モードに入って **F3** キーを押します。

1枚目の印字が正しくできる位置までラベルが繰り出されます。

【 P55 ラベルサイズ設定 参照 】

【 P56 送り量設定 参照 】

【 P63 ラベル出し方向 参照 】

9. 基本画面について

1. 初期画面の表示

(1) パワースイッチを押して電源を「オン」にすると、バージョン情報画面が約3秒間表示されます。

ACコンバータ使用のとき

バージョンNα
neo-K001-01

バッテリーパックでご使用のときは、バージョン情報画面に電池残量がいっしょに表示されます。

バッテリーパック使用のとき

バージョンNα
neo-K001-01
電池残量:
E*****F

(2) ヘッドチェック確認画面が表示されます。

「ヘッドチェック」をしない場合

1. **0** ファン キーを押します。
2. テストパターンが印字された1枚のラベルが発行されて、次ページの(3)に進みます。

ヘッドチェック
する:1 しない:0

「ヘッドチェック」をする場合

1. **1** ABC
ア キーを押します。
2. 「ヘッドチェック中・・・」画面が表示され、[ヘッドチェック]がスタートします。
3. ヘッドチェックが終了し、ヘッドチェック結果が正常な場合は、(3)に進みます。

ヘッドチェック
する:1 しない:0



ヘッドチェック中・・・

4. ヘッドチェックが終了し、「ヘッドチェック結果:」画面に「断線」と表示された場合、[ヘッド切れ]があります。
大至急!! お買い上げいただいた販売店かメーカーに、サービスコールしてください。

ヘッドチェック結果:
200DPI:断線

次ページへつづく

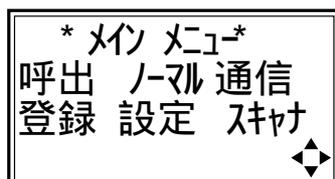
9. 基本画面について (つづき)

(3) 初期画面が表示されます。

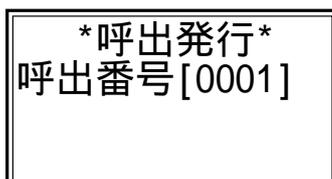
初期画面はメインメニュー・呼出發行・ノーマル発行・通信モード・スキャナ発行の中から設定できます。【 P86 初期画面設定 参照 】

出荷時はメインメニューに設定されています。

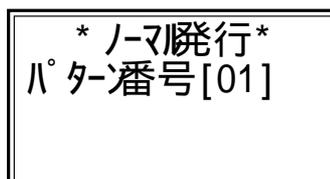
メインメニュー



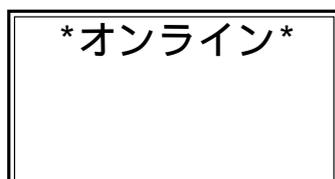
呼出發行



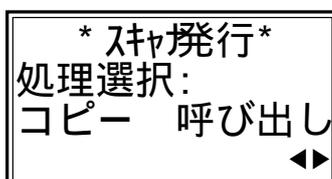
ノーマル発行



通信モード



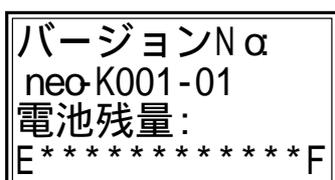
スキャナ発行



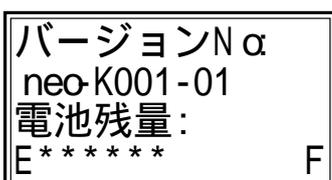
2. 電池残量表示 (電源にバッテリーパックを使用している場合)

電池残量は、3段階で表示されます。

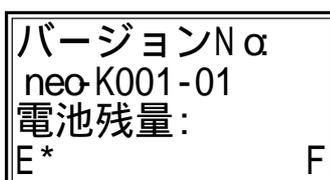
段階1：満杯



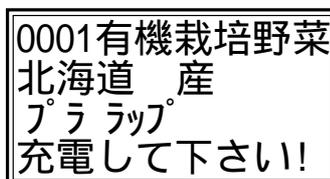
段階2：要充電



段階3：即充電



ラベルを印字発行中に電池が無くなると、「充電して下さい!」と表示されます。

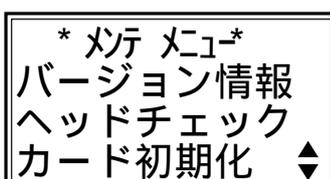


3. メンテメニュー画面の表示

(F1) キーを押しながらパワースイッチを押すと、メンテメニュー画面が表示されます。

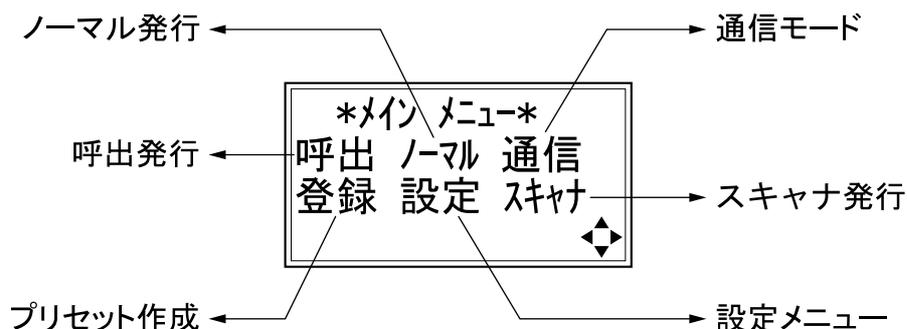
バッテリーパックでご使用のときは、電池残量が約3秒間表示された後、メンテメニュー画面が表示されます。

【 P71 】



10. メインメニューについて

1. 各項目の主な機能



呼出（呼出發行）

本体に登録されているプリセットデータを読み出して、ラベルを発行します。

ノーマル（ノーマル発行）

Flash Romに登録されている固定パターンを読み出し、項目データを入力して、ラベルを発行します。

登録（プリセット作成・登録・変更）

特定の印字パターンに従って各項目データを入力し、プリセット番号を指定して、印字データを本体に保存します。

設定（設定メニュー）

各種の動作条件を変更する設定ができます。

通信（通信モード）

USBコネクタを装備しています。

スキャナ（コピー発行・呼び出し発行）

スキャナ専用コネクタを装備しています。

2. 各項目の起動方法

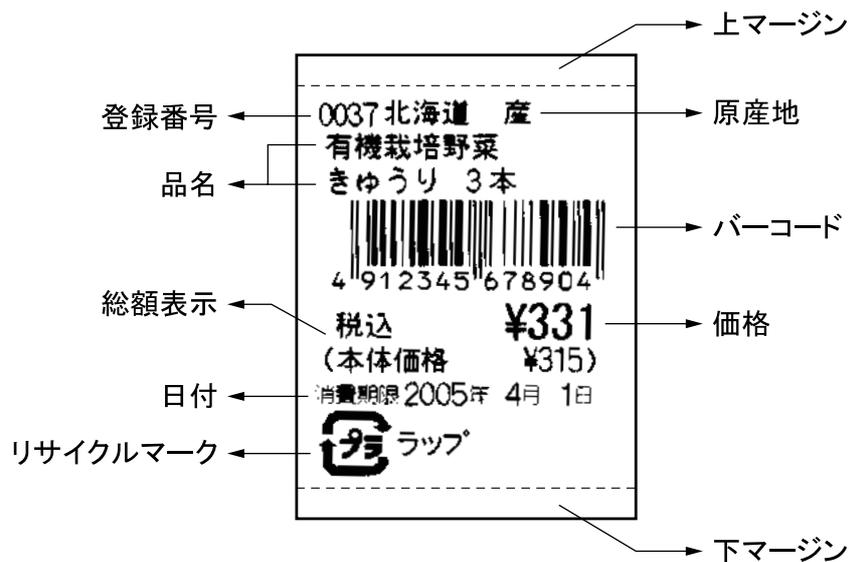
↑ ↓ ← → キーで項目を選択し、**E** 発行 キーで決定、起動します。

特に、← → キーでは、循環スクロール選択ができます。

11. 印字項目の分類

本製品で印字可能な項目は以下の9種類です。

原産地項目
品名項目
バーコード
価格
部門コード
日付（時刻）
リサイクルマーク
登録番号
総額表示



総額表示パターンの種類によって、価格の前方に文字が入らない
ものでは、その位置に「部門コード」が印字されます。
(例：上図「税込」の位置)

12. ノーマル発行のしかた

サンプルラベル



左に示すラベルの発行を例に説明します。

使用するパターン番号によって、桁数や入力項目が異なりますが、基本的な操作はここで説明する例と同じです。

【設定メニューについて】の項で説明しています「原産地設定」、「リサイクルマーク設定」、及び「消費税設定」を、それぞれラベルの印字に反映させる状態に設定してあるものとします。

②で例題にしている37番のパターンは、固定パターン表では、ラベルサイズを「32T25」（幅32mm・長さ25mm）に指定しています。

しかし、左のサンプルラベルでは、パターン自体の項目以外に、「原産地」、「リサイクルマーク」、「日付項目」及び「総額表示」を印字させるようにしています。増加させた項目の量に応じて、長いラベルを使用し、【設定メニューについて】の「ラベルサイズ設定」の項で、使用するラベルの長さを設定してください。

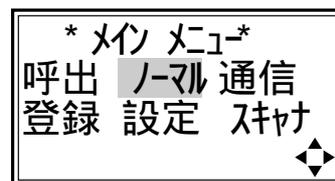
液晶ディスプレイの表示を確認しながら、正確に操作してください。

① 電源を入れ、モードを選択する

1. パワースイッチを押して電源を「オン」にします。
2. 初期画面が表示されます。

初期画面が「メインメニュー」の場合：

↑ ↓ ← → キーで [ノーマル] を選択し、 キーを押します。



メインメニュー

初期画面が「ノーマル発行」の場合：

②へ進んでください。

初期画面が「呼出發行」「オンライン」の場合：

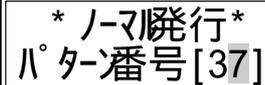
 キーを押して「メインメニュー」画面を呼び出し、[ノーマル] を選択します。

12. ノーマル発行のしかた (つづき)

② パターン番号を入力する

付録A 固定パターン表【 付録-1 】から、印字したいパターンを選んで番号を入力します。

ここでは、37番のパターンを使いますので、**3^{GHI}_サ** **7^{RST}_マ** と入力して、**E_{発行}** キーを押します。



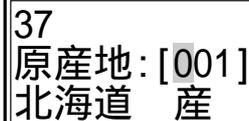
* ノーマル発行*
パターン番号 [37]

③ 原産地のコード番号を入力する

付録B 産地リスト【 付録-7 】から、産地を選んで番号を入力します。

ここでは、**1^{ABC}_ア** と入力して、**E_{発行}** キーを押します。

↑ **↓** キーで、表示されているコード番号の前後の番号に替えることができます。



37
原産地: [001]
北海道 産

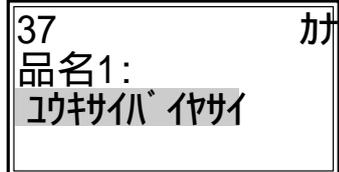
④ 品名1を入力する

パターン37番は品名が2行ありますので、品名1から入力します。ここでは、「有機栽培野菜」と入力します。

1. **1^{ABC}_ア** **2^{DEF}_カ** **3^{GHI}_サ** **6^{OPQ}_ハ** **8^{UVW}_ヤ** **S_{停止}** キーで

「1ウキサイハ`イサイ」と入力します。

2. **↑** **↓** キーで漢字の「有機栽培野菜」に変換し、**E_{発行}** キーを押して確定します。



37 加
品名1:
1ウキサイハ`イサイ



37 加
品名1:
有機栽培野菜

⑤ 品名2を入力する

品名2に、「きゅうり 3本」と入力します。

1. **1**^{ABC}_ア **2**^{DEF}_方 **8**^{UVW}_ヤ **9**^{XYZ}_号 キーで「きゅうり」と入力します。
2. **↑** **↓** キーでひらがなの「きゅうり」に変換し、**E**_{発行} キーを押して確定します。
3. **S**_{停止} キーを押して、スペースを1文字分けます。
4. **F4** キーを押して、「数字」モードにします。
5. **3**^{GH}_サ キーで「3」と入力し、**↑** **↓** キーで全角に変換し、**E**_{発行} キーを押して確定します。
6. **F4** キーを押して、「かな」モードにします。
7. **6**^{OPQ}_ハ **0**_ワ キーで「本」と入力します。
8. **↑** **↓** キーで漢字の「本」に変換し、**E**_{発行} キーを押して確定します。
9. **E**_{発行} キーを押して、**⑥**へ進んでください。

37	か
品名2:	
きゅうり	



37	か
品名2:	
きゅうり	



37	か
品名2:	
きゅうり	



37	数
品名2:	
きゅうり 3	



37	か
品名2:	
きゅうり 3本	



37	か
品名2:	
きゅうり 3本	

12. ノーマル発行のしかた (つづき)

⑥ フラッグ・メーカーコードを入力する

サンプルラベルでは次のようなバーコードになっています。

49 1234567 890 4
フラッグ メーカーコード アイテムコード C/D



と入力して、キーを押します。

37
F+ メーカーコード:
[491234567]

⑦ アイテムコード・C/Dを入力する

と入力して、キーを押します。

C/D (チェックデジット)「4」を自動計算でおこなう場合

は、と入力して、キーを押します。

37
アイテムコード+C/D:
[8904]

⑧ 部門コードを入力する

サンプルラベルの通りに部門コードを入力します。

と入力して、キーを押します。

37
部門:
[1234]

⑨ 売価を入力する

サンプルラベルの通りに売価を入力します。

と入力して、キーを押します。

例は、入力する価格を「本体価格」に設定してある場合です。

37
売価:
[¥315]

⑩ 補正日を入力する

例は、【設定メニュー】の「日付項目設定」で、日付の名称を『消費期限』に設定し、『日付の補正』を日数レベルで補正できるように設定してある場合です。

ここでは、消費期限を3日後に設定しますので と入力して、キーを押します。

キーで、ラベル発行当日の日付になります。

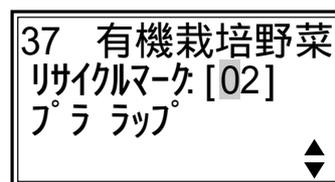
37 有機栽培野菜
補正日:
+3 日

⑪ リサイクルマークのコード番号を入力する

付録C リサイクルマーク表【 付録-8 】から、リサイクルマークを選んで番号を入力します。

ここでは、**(2^{DEF}力)**と入力して、**(E_{発行})**キーを押します。

(↑) **(↓)** キーで、表示されているコード番号の前後の番号に替えることができます。



⑫ 発行枚数の入力とラベル発行

ラベルを1枚ずつ発行する場合：

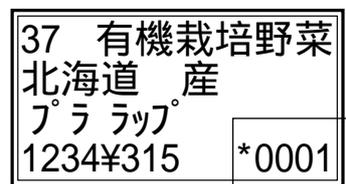
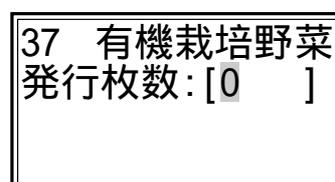
1. 発行枚数を入力する必要はありません。

このまま **(E_{発行})** キーを押します。

2. 確認画面が表示されます。

3. 入力に誤りがないことを確認して、**(E_{発行})** キーを押すとラベルが1枚発行されます。

4. **(E_{発行})** キーを押すたびにラベルが1枚ずつ発行され、画面右下に発行枚数の加算カウントを表示します。



確認画面

カウント

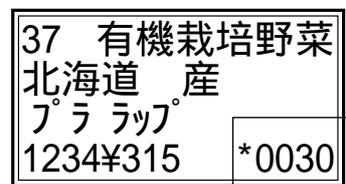
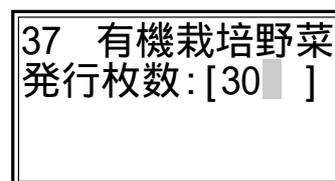
発行枚数を決めてラベルを発行する場合：

1. 例として、**(3^{CHI}サ)** **(0^{ワン})**と入力し、**(E_{発行})** キーを押します。

2. 確認画面が表示されます。

3. 入力に誤りがないことを確認して、**(E_{発行})** キーを押すとラベルが30枚発行されます。

4. ラベルが発行されるたびに、画面右下に発行枚数の減算カウントを表示します。



確認画面

カウント

発行を途中で停止する場合：

1. ラベルの連続発行中に **(S_{停止})** キーを押すと発行を停止します。

2. **(E_{発行})** キーを押すと発行を再開します。

次ページへつづく

12. ノーマル発行のしかた (つづき)

補足

各項目の入力画面で、既に入力してある数字を変更しない場合

そのまま  キーを押すと、各項目とも次の入力画面に進みます。

同じパターン番号で、各項目の入力内容を変更する場合

1.  キーを押すたびに「発行枚数」「売価」「部門」のように、通常の入力順序とは逆の順番で項目が戻ります。
2. 変更したい項目まで戻り、入力内容を変更・訂正してください。

パターン番号の入力まで戻って変更する場合

1.  キーを押すと、「パターン番号」の入力画面 (②) まで戻ります。
2. ② ~ ⑪ の手順で操作してください。

NON-PLUタイプのパターン番号を使用する場合

(プライスチェックデジットの有無をご確認の上、パターン番号をお選びください。)

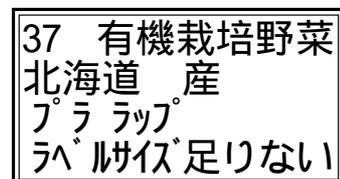
NON-PLUタイプのJANコードでは、売価がバーコードの一部に含まれていますので、「フラッグ・アイテムコード」と「売価」を区切って次のように入力します。

1. 「フラッグ・アイテムコード」を入力し、  キーを押します。
2. 「売価」を入力します。

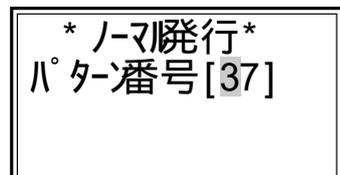
上記以外の入力、前記パターン37番の例と同じ方法で入力します。

発行枚数を入力して  キーを押したとき、印字データ量 (行方向) に対して、ラベルサイズが短いと、右図のエラーが表示され、②の「ノーマル発行」画面に戻ります。

本体にセットしているラベルをピッチの長いラベルと交換し、「設定メニュー」の「ラベルサイズ設定」で、交換したラベルサイズに設定してください。



37 有機栽培野菜
北海道産
フラップ
ラベルサイズ足りない



* ノーマル発行 *
パターン番号 [37]

13. プリセット(登録)のしかた

サンプルラベル



左に示すラベルの登録を例に説明します。

使用するパターン番号：37番

登録する呼出番号：0001番

品名：きゅうり 3本

① 電源を入れ、モードを選択する

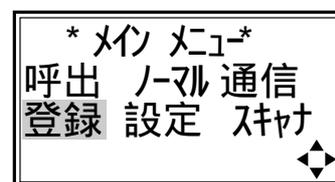
1. パワースイッチを押して電源を「オン」にします。
2. 初期画面が表示されます。

初期画面が「メインメニュー」の場合：

↑ ↓ ← → キーで [登録] を選択し、 キーを押します。

初期画面が「メインメニュー」以外の場合：

 キーを押して「メインメニュー」画面を呼び出し、[登録] を選択します。

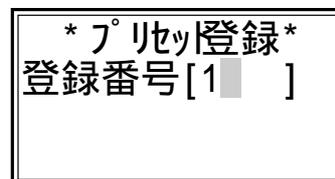


メインメニュー

② 登録番号を入力する

ここでは、0001番に登録しますので、

 と入力して、 キーを押します。



次ページへつづく

13.プリセット(登録)のしかた(つづき)

③ パターン番号を入力する

付録A 固定パターン表【 付録-1 】から、印字したいパターンを選んで番号を入力します。

ここでは、37番のパターンを使いますので、**3^{GHI}_サ** **7^{RST}_マ** と入力して、**E_{発行}** キーを押します。

* プリセット登録*
パターン番号[37]
新規

④ 品名1を入力する

パターン37番は品名が2行ありますので、品名1から入力します。ここでは、「有機栽培野菜」と入力します。

1. **1^{ABC}_ア** **2^{DEF}_カ** **3^{GHI}_サ** **6^{OPQ}_ハ** **8^{UVW}_ヤ** **S_{停止}** キーで

「1ウキサイハ イサイ」と入力します。

2. **↑** **↓** キーで漢字の「有機栽培野菜」に変換し、**E_{発行}** キーを押して確定します。

0001	カ
品名1:	
1ウキサイハ イサイ	



0001	カ
品名1:	
有機栽培野菜	

⑤ 品名2を入力する

品名2に、「きゅうり 3本」と入力します。

1. **1**^{ABC}_ア **2**^{DEF}_カ **8**^{UVW}_ヤ **9**^{XYZ}_ラ キーで「**カ**ラ」と入力します。
2. **↑** **↓** キーでひらがなの「きゅうり」に変換し、**E**_{発行} キーを押して確定します。
3. **S**_{停止} キーを押して、スペースを1文字分けます。
4. **F4** キーを押して、「数字」モードにします。
5. **3**^{GHI}_サ キーで「3」と入力し、**↑** **↓** キーで全角に変換し、**E**_{発行} キーを押して確定します。
6. **F4** キーを押して、「かな」モードにします。
7. **6**^{OPQ}_ハ **0**_{フアン} キーで「**本**」と入力します。
8. **↑** **↓** キーで漢字の「本」に変換し、**E**_{発行} キーを押して確定します。
9. **E**_{発行} キーを押して、**⑥**へ進んでください。

0001	カ
品名2:	
カ	ラ



0001	カ
品名2:	
きゅうり	



0001	カ
品名2:	
きゅうり	



0001	数
品名2:	
きゅうり 3	



0001	カ
品名2:	
きゅうり 3	本



0001	カ
品名2:	
きゅうり 3本	

13.プリセット(登録)のしかた(つづき)

⑥ フラッグ・メーカーコードを入力する

サンプルラベルでは次のようなバーコードになっています。

49 1234567 890 4
フラッグ メーカーコード アイテムコード C/D



と入力して、キーを押します。

```
0001
F+ メーカーコード:
[491234567]
```

⑦ アイテムコード・C/Dを入力する

と入力して、キーを押します。

C/D(チェックデジット)「4」を自動計算でおこなう場合

は、 と入力して、キーを押します。

```
0001
アイテムコード+C/D:
[8904]
```

⑧ 部門コードを入力する

サンプルラベルの通りに部門コードを入力します。

と入力して、キーを押します。

```
0001
部門:
[1234]
```

⑨ 売価を入力する

サンプルラベルの通りに売価を入力します。

と入力して、キーを押します。

例は、入力する価格を「本体価格」に設定してある場合です。

```
0001
売価:
[¥315 ]
```

⑩ 補正日を入力する

例は、【設定メニュー】の「日付項目設定」で、日付の名称を『消費期限』に設定し、『日付の補正』を日数レベルで補正できるように設定してある場合です。

ここでは、消費期限を3日後に設定しますので と入力して、キーを押します。

キーで、ラベル発行当日の日付になります。

```
0001有機栽培野菜
補正日:
+3 日
```

⑪ 登録します

1. 確認画面（保存番号）が表示されます。

 キーを押します。

2. 登録が完了すると、「登録しました！」と表示し、②の「登録番号」入力画面に戻ります。

このとき表示される登録番号は、今回登録した番号の次の番号です。

続けてプリセット（登録）する場合は、②～⑪の手順を行ってください。

確認画面

0001 保存番号[0001]

登録完了 ↓

0001 保存番号[0001] 登録しました!

↓

プリセット登録 登録番号[0002]

補足

②で、登録番号を入力するときに、既に登録してある番号を打ち込むと、次項で説明している「登録の変更と削除」モードになります。新規登録する場合は、登録していない番号を入力しなおしてください。

⑪で、確認画面のとき保存番号に他の新規番号を入力すると、その番号で登録します。

このとき、既に登録してある番号を打ち込むと、右のようにエラーを表示します。

その際は、登録していない番号を入力しなおしてください。

0002 保存番号[0001] 登録番号エラー!

14. プリセット (登録) の変更と削除

1. パターン番号を変えずに項目内容を変更する



変更前



変更後

左に示すラベルの登録を例に説明します。

使用する登録番号：0001番

変更内容

品名：[きゅうり 3本]を
[きゅうり 4本]に変更

売価：[¥315]を
[¥420]に変更

① 電源を入れ、モードを選択する

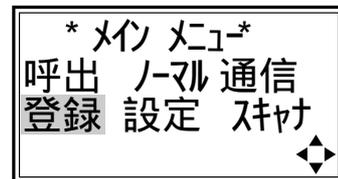
1. パワースイッチを押して電源を「オン」にします。
2. 初期画面が表示されます。

初期画面が「メインメニュー」の場合：

↑ ↓ ← → キーで [登録] を選択し、 キーを押します。

初期画面が「メインメニュー」以外の場合：

 キーを押して「メインメニュー」画面を呼び出し、
[登録] を選択します。

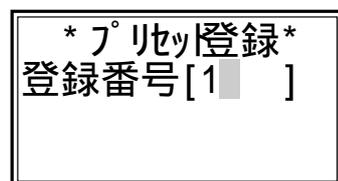


メインメニュー

② 登録番号を入力する

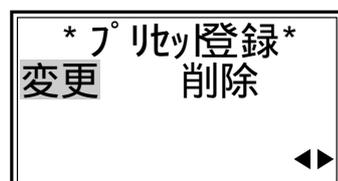
ここでは、0001番を使用しますので、 と入力して、

 キーを押します。



③ 変更・削除の選択画面

← → キーで [変更] を選択し、 キーを押します。



④ パターン番号の入力画面

ここでは、変更しませんので、キーを押します。

フリット登録
パターン番号[37]
変更

⑤ 品名1の入力画面

ここでは、変更しませんので、キーを押します。

0001	加
品名1:	
有機栽培野菜	

⑥ 品名2の入力画面

「きゅうり 3本」を「きゅうり 4本」に変更します。

1.   キーでカーソルを [3] に合わせます。
2.  キーを押して、[3] を消します。
3.  キーでカーソルを [数字] モードにします。
4.  キーで [4] と入力し、  キーで全角に変換し、
 キーを押して確定します。
5.  キーを押して、⑥へ進んでください。

0001	加
品名2:	
きゅうり 3本	



0001	加
品名2:	
きゅうり 本	



0001	数
品名2:	
きゅうり 4本	

⑦ フラッグ・メーカーコードの入力画面

ここでは、変更しませんので、キーを押します。

0001
F+ メーカーコード:
[491234567]

14. プリセット (登録) の変更と削除 (つづき)

⑧ アイテムコード・C/Dの入力画面

ここでは、変更しませんので、 キーを押します。

0001
アイテムコード+C/D:
[8904]

⑨ 部門コードの入力画面

ここでは、変更しませんので、 キーを押します。

0001
部門:
[1234]

⑩ 売価の入力画面

[¥315] を [¥420] に変更します。

   と入力して、 キーを押します。

0001
売価:
[¥315]



0001
売価:
[¥420]

⑪ 補正日の入力画面

例は、【 設定メニュー 】の「日付項目設定」で、日付の名称を『消費期限』に設定し、『日付の補正』を日数レベルで補正できるように設定してある場合です。

ここでは、変更しませんので、 キーを押します。

  キーで、ラベル発行当日の日付になります。

0001
補正日:
+3 日

⑫-1 登録します (登録番号を更新する場合)

1. 確認画面（保存番号）が表示されます。

 キーを押します。

2. 変更された内容に更新しました。

「登録しました!」と表示し、②の「登録番号」入力画面に戻ります。

このとき表示される登録番号は、今回変更登録した番号の次の番号です。

続けてプリセット（登録）の変更をする場合は、②～⑫の手順を行ってください。

確認画面

0001 保存番号[0001]

登録完了 ↓

0001 保存番号[0001] 登録しました!

↓

プリセット登録 登録番号[0002]

⑫-2 登録します (登録番号を変更せず新規登録する場合)

1. 確認画面（保存番号）で新規番号を入力し。

 キーを押します。

ここでは、0002番を登録しますので、 と入力して、

 キーを押します。

2. 変更された内容を新規登録しました。

(0001番の内容は変更前のまま保存されています。)

「登録しました!」と表示し、②の「登録番号」入力画面に戻ります。

このとき表示される登録番号は、今回登録した番号の次の番号です。

続けてプリセット（登録）の変更をする場合は、②～⑫の手順を行ってください。

確認画面

0001 保存番号[2]

登録完了 ↓

0001 保存番号[2] 登録しました!

↓

プリセット登録 登録番号[0003]

14.プリセット(登録)の変更と削除(つづき)

補足

②で、登録番号を入力するときに、登録していない番号を打ち込むと、前項で説明している「新規登録」モードになります。

⑫-2で、新規の登録番号を入力するときに、既に登録してある番号を打ち込むと、右のようにエラーを表示します。その際は、登録していない番号を入力しなおしてください。

0003
保存番号[1]
登録番号エラー!

2. パターン番号から変更する



左に示すラベルの登録を例に説明します。

使用する登録番号：0001番

変更内容

パターン番号：[37]を[25]に変更

品名：[有機栽培野菜]を削除して
[きゅうり 4本]に変更

売価：[¥315]を
[¥420]に変更

① 電源を入れ、モードを選択する

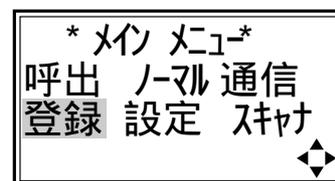
1. パワースイッチを押して電源を「オン」にします。
2. 初期画面が表示されます。

初期画面が「メインメニュー」の場合：

↑ ↓ ← → キーで[登録]を選択し、キーを押します。

初期画面が「メインメニュー」以外の場合：

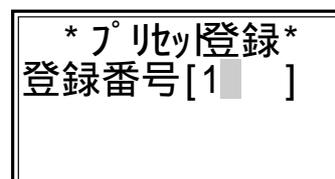
キーを押して「メインメニュー」画面を呼び出し、
[登録]を選択します。



メインメニュー

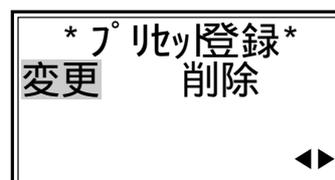
② 登録番号を入力する

ここでは、0001番を使用しますので、と入力して、
キーを押します。



③ 変更・削除の選択画面

← → キーで[変更]を選択し、キーを押します。



次ページへつづく

14. プリセット（登録）の変更と削除（つづき）

④ パターン番号を入力する

付録A 固定パターン表【 付録-1 】から、印字したいパターンを選んで番号を入力します。

ここでは、25番のパターンに変更しますので、**2^{DEF}カ** **5^{MN}ナ**と入力して、**E_{発行}** キーを押します。

プリセット登録
パターン番号[25]
変更

⑤ 変更の確認画面

変更確認メッセージが表示されます。

選択したパターンでよろしければ、**E_{発行}** キーを押します。

選択するパターン番号を間違えたり、違うパターンを選択したい場合は、**H_{戻る}** キーを押して④の「パターン番号」入力画面に戻り、再度入力してください。

プリセット登録
パターン番号が変更
されています。
変更 OK → E

パターン番号を変更すると、変更前のデータは全て削除されます。

次の手順⑥からは、前項「プリセット（登録）のしかた」と同様に、変更内容を新規入力します。

⑥ 品名1を入力する

品名1に、「きゅうり 4本」と入力します。

(パターン25番は品名が1行です。)

1. **1** ^{ABC}_ア **2** ^{DEF}_カ **8** ^{UVW}_ヤ **9** ^{XYZ}_号 キーで「ｷｬﾘ」と入力します。
2. **↑** **↓** キーでひらがなの「きゅうり」に変換し、**E** _{発行} キーを押して確定します。
3. **S** _{停止} キーを押して、スペースを1文字分けます。
4. **F4** キーを押して、「数字」モードにします。
5. **3** ^{GHI}_サ キーで「4」と入力し、**↑** **↓** キーで全角に変換し、**E** _{発行} キーを押して確定します。
6. **F4** キーを押して、「かな」モードにします。
7. **6** ^{OPQ}_ハ **0** _{フアン} キーで「本」と入力します。
8. **↑** **↓** キーで漢字の「本」に変換し、**E** _{発行} キーを押して確定します。
9. **E** _{発行} キーを押して、**7**へ進んでください。

0001	か
品名1:	
ｷｬﾘ	



0001	か
品名1:	
きゅうり	



0001	か
品名1:	
きゅうり	



0001	数
品名1:	
きゅうり 4	



0001	か
品名1:	
きゅうり 4 本	



0001	か
品名1:	
きゅうり 4本	

14.プリセット(登録)の変更と削除(つづき)

⑦ フラッグ・メーカーコードを入力する

サンプルラベルでは次のようなバーコードになっています。

49 12345 67890 4
フラッグ メーカーコード アイテムコード C/D

(4^{JKL}_タ) (9^{XYZ}_ラ) (1^{ABC}_ア) (2^{DEF}_カ) (3^{GHI}_サ) (4^{JKL}_タ) (5^{MN}_ナ) と入力して、
(E^{発行}) キーを押します。

0001
F+メーカーコード:
[4912345]

⑧ アイテムコード・C/Dを入力する

(6^{OPQ}_ハ) (7^{RST}_マ) (8^{UVW}_ヤ) (9^{XYZ}_ラ) (0^{ワラン}) (4^{JKL}_タ) と入力して、(E^{発行}) キーを押します。

C/D(チェックデジット)「4」を自動計算でおこなう場合は、(6^{OPQ}_ハ) (7^{RST}_マ) (8^{UVW}_ヤ) (9^{XYZ}_ラ) (0^{ワラン}) と入力して、(E^{発行}) キーを押します。

0001
アイテムコード+C/D:
[678904]

⑨ 部門コードを入力する

サンプルラベルの通りに部門コードを入力します。

(1^{ABC}_ア) (2^{DEF}_カ) (3^{GHI}_サ) (4^{JKL}_タ) と入力して、(E^{発行}) キーを押します。

0001
部門:
[1234]

⑩ 売価を入力する

売価 [¥420] を入力します。

(4^{JKL}_タ) (2^{DEF}_カ) (0^{ワラン}) と入力して、(E^{発行}) キーを押します。

例は、入力する価格を「本体価格」に設定してある場合です。

0001
売価:
[¥420]

⑪ 補正日を入力する

例は、【設定メニュー】の「日付項目設定」で、日付の名称を『消費期限』に設定し、『日付の補正』を日数レベルで補正できるように設定してある場合です。

ここでは、消費期限を3日後に設定しますので **3^{GH}** と入力して、**E_{発行}** キーを押します。

0^ワ **E_{発行}** キーで、ラベル発行当日の日付になります。

0001 補正日: +3 日

⑫ 登録します

1. 確認画面（保存番号）が表示されます。

E_{発行} キーを押します。

2. 変更された内容に更新しました。

「登録しました!」と表示し、**②**の「登録番号」入力画面に戻ります。

このとき表示される登録番号は、今回変更登録した番号の次の番号です。

続けてプリセット（登録）の変更をする場合は、**②**～**⑫**の手順を行ってください。

確認画面

0001 保存番号 [0001]

登録完了 ↓

0001 保存番号 [0001] 登録しました!

↓

プリセット登録 登録番号 [0002]

補足

② で、登録番号を入力するときに、登録していない番号を打ち込むと、前項で説明している「新規登録」モードになります。

⑫ で、確認画面のとき保存番号に他の未登録番号を入力すると、その番号で新規登録します。（これまで操作していた登録番号とその内容は変更前のまま残ります。）【 P33 **⑫-2**参照】

このとき、既に登録してある番号を打ち込むと、右のようにエラーを表示します。

その際は、登録していない番号を入力しなおしてください。

0002 保存番号 [0001] 登録番号 Iラ-

次ページへつづく

14. プリセット (登録) の変更と削除 (つづき)

3. 登録番号を指定してデータを削除する

① 電源を入れ、モードを選択する

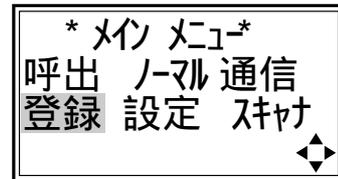
1. パワースイッチを押して電源を「オン」にします。
2. 初期画面が表示されます。

初期画面が「メインメニュー」の場合：

↑ ↓ ← → キーで [登録] を選択し、 キーを押します。

初期画面が「メインメニュー」以外の場合：

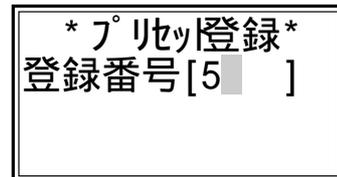
 キーを押して「メインメニュー」画面を呼び出し、
[登録] を選択します。



メインメニュー

② 登録番号を入力する

ここでは、0005番を削除しますので、 と入力して、
 キーを押します。



③ 変更・削除の選択画面

← → キーで [削除] を選択し、 キーを押します。

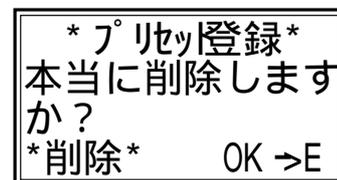


④ 削除の確認画面

削除確認メッセージが表示されます。

指定した登録番号でよろしければ、 キーを押します。

指定する登録番号を間違えたり、違う登録番号を指定した場合は、 キーを2回押して②の「登録番号」入力画面に戻り、再度入力してください。



⑤ 削除しました

データを削除すると、「削除しました。」と表示し、②の「登録番号」入力画面に戻ります。

このとき表示される登録番号は、今回データを削除した番号です。この番号にはデータがありませんので、新規登録ができます。

続けてプリセット（登録）の削除をする場合は、②～⑤の手順を行ってください。

* プリセット登録*
削除しました。



* プリセット登録*
登録番号[0005]

補足

②で、登録番号を入力するときに、登録していない番号を打ち込むと、前項で説明している「新規登録」モードになります。

プリセット（登録）の削除は、メンテメニューの「プリセット」でも行うことができます。

登録番号を指定して個別にデータを削除：

メンテメニュー プリセット 番号指定削除【 P81、P85 】

登録されている全てのデータを削除：

メンテメニュー プリセット 全削除【 P81、P84 】

15. 呼出發行のしかた



左に示すラベルの発行を例に説明します。

使用する登録番号：0001番

印字する項目の量に応じて、【設定メニューについて】の「ラベルサイズ設定」の項で、使用するラベルの長さを設定してください。

① 電源を入れ、モードを選択する

1. パワースイッチを押して電源を「オン」にします。
2. 初期画面が表示されます。

初期画面が「メインメニュー」の場合：

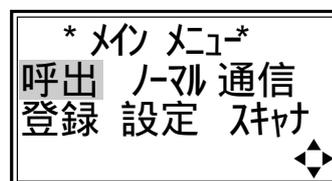
↑ ↓ ← → キーで [ノーマル] を選択し、**E** 発行 キーを押します。

初期画面が「呼出發行」の場合：

へ進んでください。

初期画面が「ノーマル発行」「オンライン」の場合：

F1 キーを押して「メインメニュー」画面を呼び出し、[呼出] を選択します。



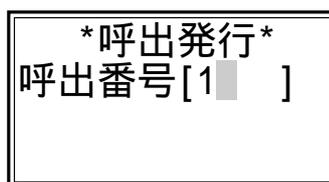
メインメニュー

② 呼出番号を入力する

プリセット登録されている登録番号を呼び出します。

ここでは、0001番に使用しますので、

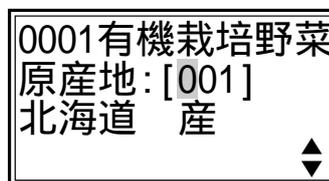
1 と入力して、**E** 発行 キーを押します。



③ 原産地のコード番号入力画面

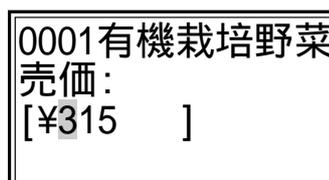
ここでは、変更しませんので、**E** 発行 キーを押します。

変更した場合、上書きされますので、次回呼び出したときには、変更した原産地が表示されます。



④ 売価の入力画面

ここでは、変更しませんので、**E** 発行 キーを押します。

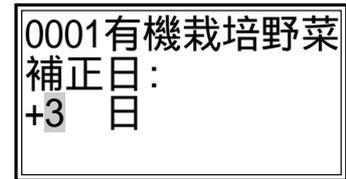


⑤ 補正日の入力画面

例は、【設定メニュー】の「日付項目設定」で、日付の名称を『消費期限』に設定し、『日付の補正』を日数レベルで補正できるように設定してある場合です。

ここでは、変更しませんので、キーを押します。

  キーで、ラベル発行当日の日付になります。

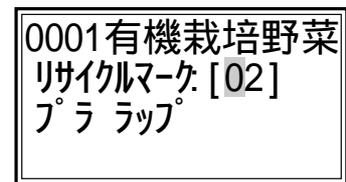


0001有機栽培野菜
補正日:
+3 日

⑥ リサイクルマークのコード番号入力画面

ここでは、変更しませんので、キーを押します。

変更した場合、上書きされますので、次回呼び出したときには、変更したリサイクルマークが表示されます。

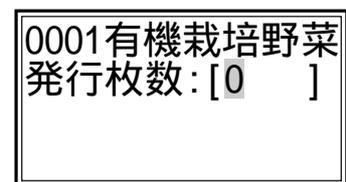


0001有機栽培野菜
リサイクルマーク:[02]
プララップ

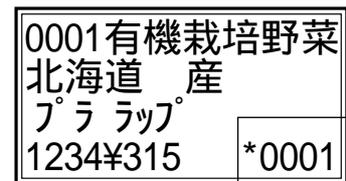
⑦ 発行枚数の入力とラベル発行

ラベルを1枚ずつ発行する場合：

- 発行枚数を入力する必要はありません。
このまま  キーを押します。
- 確認画面が表示されます。
- 入力に誤りがないことを確認して、 キーを押すとラベルが1枚発行されます。
-  キーを押すたびにラベルが1枚ずつ発行され、画面右下に発行枚数の加算カウントを表示します。



0001有機栽培野菜
発行枚数:[0]



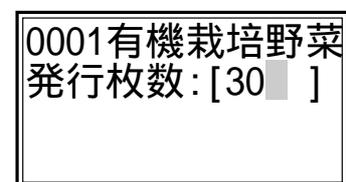
0001有機栽培野菜
北海道産
プララップ
1234¥315 *0001

確認画面

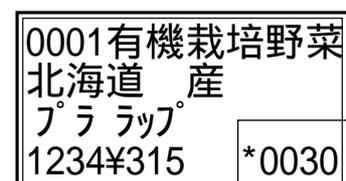
カウント

発行枚数を決めてラベルを発行する場合：

- 例として、  と入力し、 キーを押します。
- 確認画面が表示されます。
- 入力に誤りがないことを確認して、 キーを押すとラベルが30枚発行されます。
- ラベルが発行されるたびに、画面右下に発行枚数の減算カウントを表示します。



0001有機栽培野菜
発行枚数:[30]



0001有機栽培野菜
北海道産
プララップ
1234¥315 *0030

確認画面

カウント

次ページへつづく

15.呼出發行のしかた (つづき)

発行を途中で停止する場合：

1. ラベルの連続発行中に (S^{停止}) キーを押すと発行を停止します。
2. (E^{発行}) キーを押すと発行を再開します。

(S^{停止}) キーで停止させた場合で、入力内容や発行枚数の変更・訂正のために (H^{戻る}) (P^{初期}) キーを押す場合は、先に (C^{クリア}) キーを押して、枚数表示(カウンター表示)を [0000] にしないと、入力が有効になりません。

補足

各項目の入力画面で、入力してある数字を変更することができます。

ただし、プリセット登録はできません。

⑦の確認画面から、前の項目に戻って入力してある数字を変更する場合

1. (H^{戻る}) キーを押すたびに「発行枚数」「売価」「部門」のように、通常の入力順序とは逆の順番で項目が戻ります。
2. 変更したい項目まで戻り、入力内容を変更・訂正してください。

②で、登録番号を入力するときに、プリセット登録していない番号を打ち込むと、右のようにエラーを表示します。その際は、登録番号を確認して入力しなおしてください。

呼出發行
呼出番号[0004]
登録番号 E7-

発行枚数を入力して (E^{発行}) キーを押したとき、印字データ量(行方向)に対して、ラベルサイズが短いと、右図のエラーが表示され、②の「呼出發行」画面に戻ります。

本体にセットしているラベルをピッチの長いラベルと交換し、「メインメニュー」の「ラベルサイズ設定」で、交換したラベルサイズに設定して下さい。

0001有機栽培野菜
北海道産
プララップ
ラベルサイズ足りない



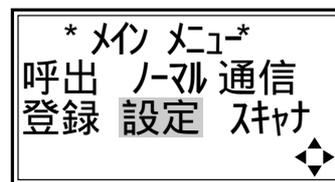
呼出發行
呼出番号[0001]

16. 設定メニューについて

1. 設定メニューの起動方法

- (1) パワースイッチを押して電源を「オン」にします。
- (2) 初期画面が表示されます。

バッテリーパックでご使用のときは、「バージョン情報」画面に「電池残量」がいっしょに表示されます。



メインメニュー

初期画面が「メインメニュー」の場合：

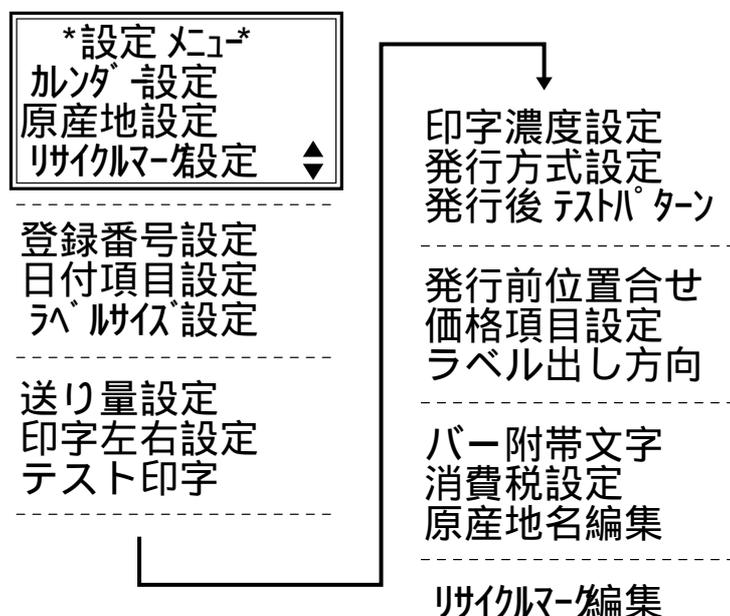
↑ ↓ ← → キーで [設定] を選択し、 キーを押します。

初期画面が「メインメニュー」以外の場合および操作途中で設定を変更したい場合：

 キーを押して「設定メニュー」を起動させます。

2. 設定メニューの項目

↑ ↓ キーを押してスクロールさせると隠れている項目が表示されます。



3. 各項目の起動方法

↑ ↓ キーで項目を選択し、 キーで決定、起動します。

4. 設定メニューの終了

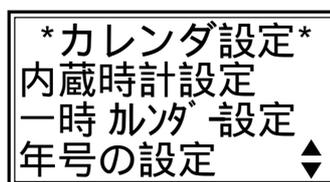
「設定メニュー」画面の状態、 キーを押すと「設定メニュー」が終了し、「メインメニュー」画面に替わります。

「設定メニュー」画面の状態、 キーを押すと「設定メニュー」が終了し、「初期画面」に替わります。

17. カレンダー設定

設定メニューの「カレンダー設定」を起動します。【 P45 】

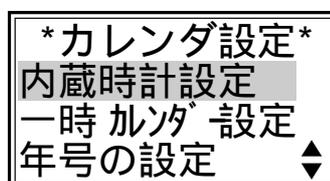
⬆️ ⬇️ キーを押してスクロールさせると隠れている項目が表示されます。



区切り文字
リアルタイム更新

1. 内蔵時計設定

1. ⬆️ ⬇️ キーで「内蔵時計設定」を選択し、**E** (発行) キーを押します。

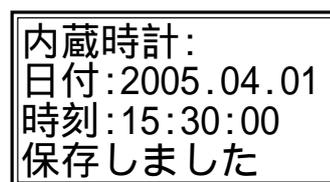


2. 内蔵時計の日付・時刻を **0** (ア) ~ **9** (イ) キーで入力し、**E** (発行) キーを押します。



現在時刻を正確に設定するために、下記「補足」を参照してください。

3. 内蔵時計（現在時刻）が設定されました。
「保存しました」と表示し、「カレンダー設定」画面に戻ります。



補足

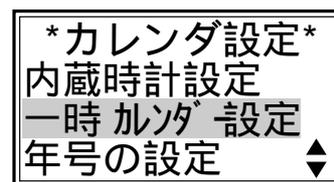
現在時刻よりも [1分00秒] 進めておいて、標準時計がその [00秒] になるのに合わせて、

E (発行) キーを押すと、正確な時刻設定ができます。

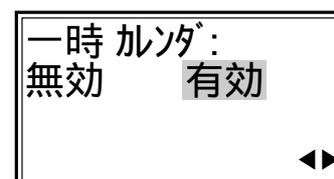
設定を中止する場合は **P** (初期) キーを押すと、「内蔵時計設定」はキャンセルされて「カレンダー設定」画面に戻ります。

2. 一時カレンダー設定

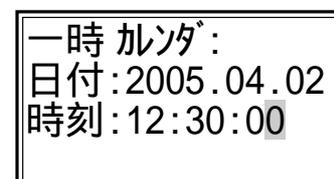
1. (↑) (↓) キーで「一時カレンダー設定」を選択し、(E発行) キーを押します。



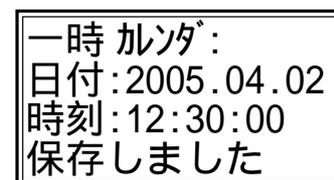
2. (←) (→) キーで「有効」か「無効」かを選択し、(E発行) キーを押します。



3. 「有効」を選択した場合は、一時カレンダーの日付・時刻を(0^ワ) ~ (9^ワ) キーで入力し、(E発行) キーを押します。



4. 一時カレンダーが設定されました。
「保存しました」と表示し、「カレンダー設定」画面に戻ります。



「有効」と設定した場合：

日付項目は一時カレンダーの日時で印字されます。

「無効」と設定した場合：

日付項目は内蔵時計（リアルタイム）で印字されます。

補足

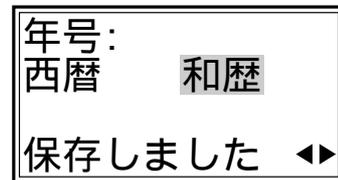
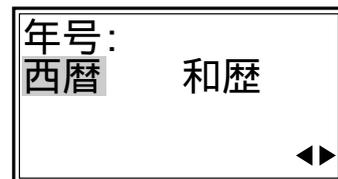
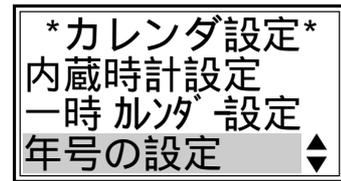
一度設定した一時カレンダーは、電源を「オフ」にするまで保ちつづけます。

「一時カレンダー設定」は、電源を「オン」直後、常に「無効」になります。

設定を中止する場合は (P初期) キーを押すと、「一時カレンダー設定」はキャンセルされて「カレンダー設定」画面に戻ります。

3. 年号の設定

1. (↑) (↓) キーで「年号の設定」を選択し、(E 発行) キーを押します。
2. (←) (→) キーで「西暦」か「和暦」かを選択し、(E 発行) キーを押します。(出荷時：西暦)
表示画面は、現在設定されているモードにカーソルがあります。変更しない場合は、そのまま (E 発行) キーを押すと「カレンダー設定」画面に戻ります。
3. 「西暦」から「和暦」に変更した場合、「保存しました」と表示し、「元年」入力画面に進みます。
4. ここでは、変更しませんので、(E 発行) キーを押します。
「カレンダー設定」画面に戻ります。



補足

上記4は、元号が変わった場合に、設定します。

元年の西暦年を (0^{フアン}) ~ (9^{XYZラ}) キーで入力し、(E 発行) キーを押します。

設定を中止する場合は (P 初期) キーを押すと、「年号の設定」はキャンセルされて「カレンダー設定」画面に戻ります。

4. 区切り文字設定

日付項目の区切り文字を設定します。

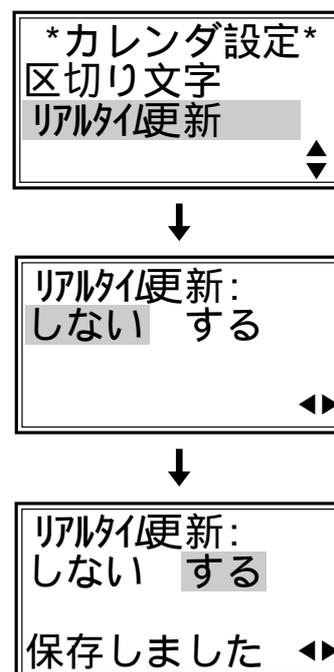
1. (↑) (↓) キーで「区切り文字」を選択し、(E 発行) キーを押します。
2. (←) (→) キーで「ピリオド」か「漢字」を選択し、(E 発行) キーを押します。(出荷時：漢字)
表示画面は、現在設定されているモードにカーソルがあります。変更しない場合は、そのまま (E 発行) キーを押すと「カレンダー設定」画面に戻ります。
3. 設定を変更した場合、「保存しました」と表示し、「カレンダー設定」画面に戻ります。



5. リアルタイム更新設定

日付項目をリアルタイムで更新しながら印字するかしないかを設定します。

1. (↑) (↓) キーで「リアルタイム更新」を選択し、(E 発行) キーを押します。
2. (←) (→) キーで「しない」か「する」を選択し、(E 発行) キーを押します。(出荷時：しない)
表示画面は、現在設定されているモードにカーソルがあります。変更しない場合は、そのまま (E 発行) キーを押すと「カレンダー設定」画面に戻ります。
3. 設定を変更した場合、「保存しました」と表示し、「カレンダー設定」画面に戻ります。
一時カレンダー使用のときは、更新設定が無視され、リアルタイムで更新されません。



18. 原産地設定

設定メニューの「原産地設定」を起動します。【 P45 】

原産地項目を印字するかしないかを設定します。

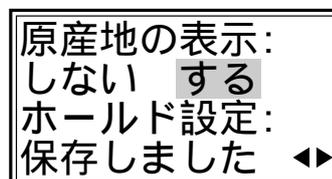
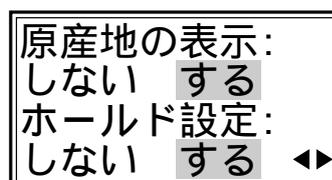
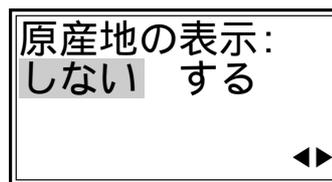
1. (←) (→) キーで「しない」か「する」を選択し、(E 発行) キーを押します。(出荷時：しない)

表示画面は、現在設定されているモードにカーソルがあります。変更しない場合は、そのまま (E 発行) キーを押すと「設定メニュー」画面に戻ります。

2. 原産地の表示で、「する」を選択すると、ホールド設定が追加表示されます。

ホールド設定の「する」を選択すると、呼出發行で、事前使用の原産地名を変更すれば、それに上書きされます。

3. 設定を変更した場合、「保存しました」と表示し、「設定メニュー」画面に戻ります。



19. リサイクルマーク設定

設定メニューの「リサイクルマーク設定」を起動します。【 P45 】

リサイクルマークを印字するかしないかを設定します。

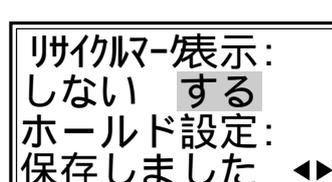
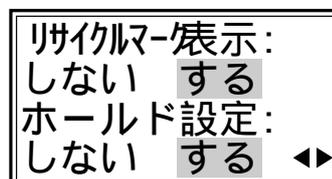
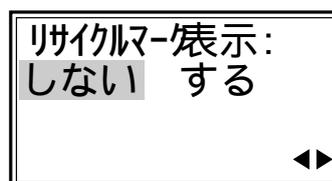
1. (←) (→) キーで「しない」か「する」を選択し、(E 発行) キーを押します。(出荷時：しない)

表示画面は、現在設定されているモードにカーソルがあります。変更しない場合は、そのまま (E 発行) キーを押すと「設定メニュー」画面に戻ります。

2. リサイクルマークの表示で、「する」を選択すると、ホールド設定が追加表示されます。

ホールド設定の「する」を選択すると、呼出發行で、事前使用のリサイクルマークを変更すれば、それに上書きされます。

3. 設定を変更した場合、「保存しました」と表示し、「設定メニュー」画面に戻ります。

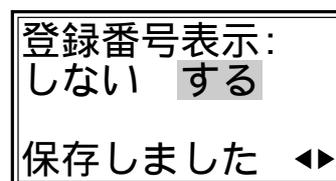
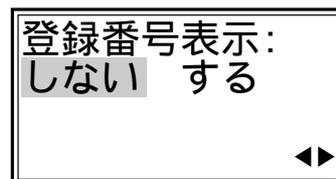


20. 登録番号設定

設定メニューの「登録番号設定」を起動します。【 P45 】

登録番号を印字するかしないかを設定します。

1. (←) (→) キーで「しない」か「する」を選択し、(E
発行) キーを押します。(出荷時：しない)
表示画面は、現在設定されているモードにカーソルがあります。変更しない場合は、そのまま (E
発行) キーを押すと「設定メニュー」画面に戻ります。
2. 設定を変更した場合、「保存しました」と表示し、「設定メニュー」画面に戻ります。



21. 日付項目設定

設定メニューの「日付項目設定」を起動します。【 P45 】

「全パターン」あるいは「個別パターン」で、日付項目を印字するかしないかを設定します。
(出荷時：しない)

日付項目設定
全パターン
個別パターン
▲▼

「個別パターン」設定は①から、「全パターン」設定は②からお読みください。

① パターン番号を入力する

付録A 固定パターン表【 付録-1 】から、パターン番号を選び(0⁷⁷⁷) ~ (9^{XYZ})キーで入力し、(E_{発行})キーを押します。

② 印字位置を選択する

日付は2段(行)印字できます。
まず、1段目を設定してください。

日付の印字位置を「無」「上」「下」から選択します。

(←) (→) キーで選択し、(E_{発行})キーを押します。

「上」を選択した場合：

日付の位置を、各プリントパターンの印字項目の「上」に印字します。

「下」を選択した場合：

日付の位置を、各プリントパターンの印字項目の「下」に印字します。

「無」を選択した場合：

日付を印字しない場合は、「無」を選択してください。
「保存しました」と表示し、「日付項目設定」画面に戻ります。

③ 日付名称を選択する

付録E 日付名称リスト【 付録-9 】から、名称番号を選び(0⁷⁷⁷) ~ (9^{XYZ})キーで入力し、(E_{発行})キーを押します。

(↑) (↓) キーで、表示されている名称番号の前後の番号に替えることができます。

パター-番号[]

1段目	日付位置	
無	上	下
◀▶		

1段目	日付名称
[00]	
無し	
▲▼	

次のステップへつづく

④ 日付形式を選択する

- ↑ ↓ キーで、表示されている日付形式の中から選択し、
E 発行 キーを押します。

日付形式の「年(2)」の意味は、年号を西暦にしてある場合の、下2桁を表示すると云うことです。

⑤ 日付補正を選択する

ラベルの発行時点の日付項目を、「日」「時」「日時」で補正(未来の日付)するかどうかを設定します。

日付の補正を「無」「日」「時」「日時」から選択します。

- ↑ ↓ キーで選択し、E 発行 キーを押します。

付録E 日付名称リストの [期限関連] の日付を印字させる場合に有効です。

⑥ 2段目の日付項目を設定する

1段目の設定が完了すると、「2段目日付位置」の設定画面が表示されます。

1段目の設定方法と同様に、②～⑤の設定操作を行ってください。

③の日付名称設定について：

付録E 日付名称リスト【 付録-9 】の「期限関連同士」あるいは「製造日関連同士」の設定はできません。

下記の組み合わせで設定してください。

1段目「期限関連」のときは、2段目「製造日関連」

1段目「製造日関連」のときは、2段目「期限関連」

2段目の設定が完了すると、「保存中です」の表示を経て「保存しました」と表示し、「日付項目設定」画面に戻ります。

日付印字が1段でよい場合は、「2段目日付位置」の設定画面表示のときに「無」を選択してください。

「保存中です」の表示を経て「保存しました」と表示し、「日付項目設定」画面に戻ります。

- P 初期 キーを押すと、「設定メニュー」画面に戻ります。

↓

1段目	日付形式
年月日	
年月日時	
年月	◆

月日
年(2)月日
年(2)月日時

年(2)月日時分
年(2)月
日

数字(手入力)

↓

1段目	日付補正
無	日 時 日時

↓

2段目	日付位置
無	上 下

②～⑤の設定操作を行う

↓

2段目	日付補正
無	日 時 日時
保存中です	

2段目	日付補正
無	日 時 日時
保存しました	

次ページへつづく

21.日付項目設定 (つづき)

⑦ 日付の名称の「自動期限」について

③で、日付名称を「自動期限」に選択しておくで、発行操作における【補正日】のステップで、0~+4日を入力すると、自動的に日付名称が『消費期限』に選択され、5~999日を入力すると、自動的に日付名称が『賞味期限』に選択されます。

(補正対象が『日』か『日時』に限定されます)

⑧ 時計印字領域を利用した管理データの印字

ラベルの時計印字領域(日付の印字位置)にラベル発行者の管理データを印字することができます。

②の1段目の日付位置設定で「上」あるいは「下」を選択、③の日付名称設定で、[00]「無し」を選択、④の日付形式設定で、最後の項目「数字(手入力)」を選択し、2段目の設定も同様の選択を行うと、「保存中です」の表示を経て「保存しました」と表示し、「数字入力」画面になります。

ここでは、数字キー・ピリオドキー・スペースキーが有効になり、最大14桁まで入力することができます。

管理データの印字が1段でよい場合は、②の「2段目日付位置」の設定画面表示のときに「無」を選択してください。

1段目と2段目のどちらかに日付、もう一方に管理データを印字することもできます。

その際は、管理データを印字したい段のみに「数字入力」設定を行ってください。

設定が完了すると、「日付項目設定」画面に戻ります。

「数字入力」設定をした後、電源を切らずにラベル発行(ノーマル発行・呼出發行)した場合、ここで入力した管理データがラベルに反映されます。

「数字入力」設定をした後、一旦電源を切り、再度電源を入れた場合、ヘッドチェックステップとメインメニュー(初期画面)ステップとの間に、この「数字入力」画面が表示されます。新たに管理データ入力してください。

(電源を切ると、1段目・2段目の設定は保存されますが、管理データは消去されます。)

2段目 日付形式
数字(手入力)
保存しました



数字(日付)?
[123456789.0000]



2数字(日付)?
[987654321.0000]

22. ラベルサイズ設定

設定メニューの「ラベルサイズ設定」を起動します。【 P45 】

ラベルの長さ、上下マージンを設定します。

ラベル長さ：10～100mm（出荷時：25mm）

上下マージン：1～20mm（出荷時：2mm）

ラベルの幅は、選択したパターンによって決まります。

パターン自体の項目よりも、印字項目を増加させている場合には、対応する長いラベルを使用し、そのラベル長さを設定してください。

① ラベル長さを入力する

現在設定されている数値が表示されます。

0^{ファン} ~ 9^{XYZ} キーで入力し、E_{発行} キーを押します。

「保存しました」と表示し、「上マージン」画面に進みます。

ラベル長さ： [25] mm (10-100)



ラベル長さ： [38] mm (10-100) 保存しました
--



上マージン： [2] mm (1-20)



下マージン： [2] mm (1-20)

② 上マージンを入力する

ラベルの上の余白量を設定します。

現在設定されている数値が表示されます。

0^{ファン} ~ 9^{XYZ} キーで入力し、E_{発行} キーを押します。

「保存しました」（事前と異なる数値を入力した場合）と表示し、「下マージン」画面に進みます。

③ 下マージンを入力する

ラベルの下の余白量を設定します。

現在設定されている数値が表示されます。

0^{ファン} ~ 9^{XYZ} キーで入力し、E_{発行} キーを押します。

「保存しました」（事前と異なる数値を入力した場合）と表示し、「設定メニュー」画面に戻ります。

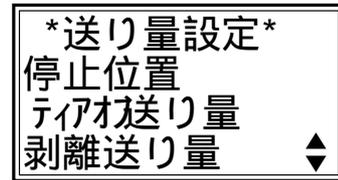
23. 送り量設定

設定メニューの「送り量設定」を起動します。

【 P45 】

「停止位置」「ティアオフ送り量」「剥離送り量」の各項目で、ラベル発行口からの送り量をドット単位で設定します。

(出荷時：0)



各項目の内容

1. 停止位置・・・

発行方式を、連続発行（印字を1枚ずつ、あるいは発行枚数を指定して発行するときに、途中で止めることなく、つながった状態で、連続してラベルを送り出します）に設定している場合に対応します。

2. ティアオフ送り量・・・

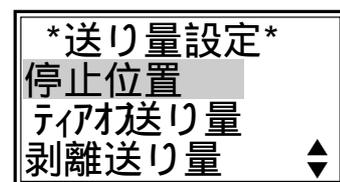
発行方式を、ティアオフ発行（連続発行で、印字を1枚ずつ、あるいは発行枚数を指定して発行するときの最後の印字が終わったあと、手でカットしやすい位置までラベルを送り出します。）に設定している場合に対応します。

3. 剥離送り量・・・

発行方式を、剥離発行（印字を1枚ずつ、あるいは発行枚数を指定して発行するときに、1枚印字するごとに、ラベルを台紙から剥がしながら、送り出します。）に設定している場合に対応します。

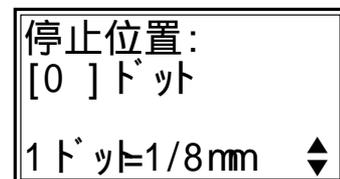
1. 停止位置

1. (↑) (↓) キーで「停止位置」を選択し、(E発行) キーを押します。

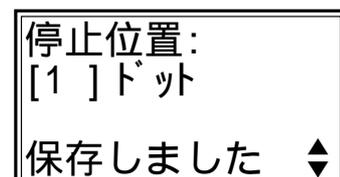


2. ラベル発行口からの送り量を設定します。
現在設定されている数値が表示されます。

停止位置の送り量を (↑) (↓) キーで選択し、(E発行) キーを押します。



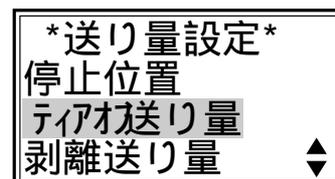
「保存しました」と表示し、「送り量設定」画面に戻ります。



(P初期) キーを押すと、「設定メニュー」画面に戻ります。

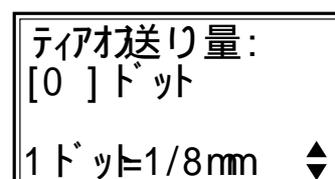
2. ティアオフ送り量

1. (↑) (↓) キーで「ティアオフ送り量」を選択し、(E 発行) キーを押します。

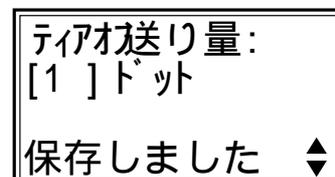


2. ラベル発行口からの送り量を設定します。
現在設定されている数値が表示されます。

ティアオフの送り量を (↑) (↓) キーで選択し、(E 発行) キーを押します。



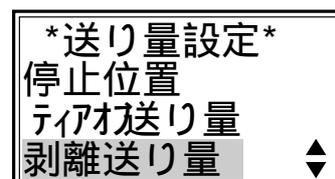
「保存しました」と表示し、「送り量設定」画面に戻ります。



(P 初期) キーを押すと、「設定メニュー」画面に戻ります。

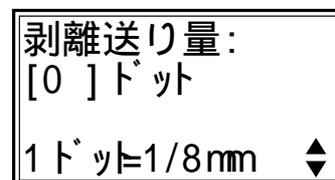
3. 剥離送り量

1. (↑) (↓) キーで「剥離送り量」を選択し、(E 発行) キーを押します。

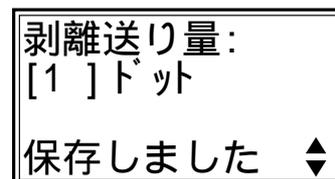


2. ラベル発行口からの送り量を設定します。
現在設定されている数値が表示されます。

剥離送り量を (↑) (↓) キーで選択し、(E 発行) キーを押します。



「保存しました」と表示し、「送り量設定」画面に戻ります。



(P 初期) キーを押すと、「設定メニュー」画面に戻ります。

24. 印字左右設定

設定メニューの「印字左右設定」を起動します。【 P45 】

印字位置の左右移動量をドット単位で設定します。(出荷時：0)

現在設定されている数値が表示されます。

左右移動量を(↑)(↓)キーで入力し、(E_{発行})キーを押します。

数字を大きくしてゆくと、印字位置が右へ移動してゆきます。

「保存しました」と表示し、「送り量設定」画面に戻ります。

(P_{初期})キーを押すと、「設定メニュー」画面に戻ります。

左右移動量：
[0]ドット
1ドット=1/8mm ◆



左右移動量：
[1]ドット
保存しました ◆

25. テスト印字

設定メニューの「テスト印字」を起動します。【 P45 】

下記の所定項目を印字し、ヘッド断線や印字濃度、設定状況などを確認します。

斜線パターン：

斜線のみパターンを印字します。

異常パターンが印字された場合は、ヘッドが汚れています。

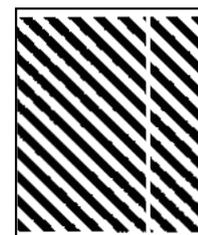
ヘッドを清掃してください。

印字ヘッドを清掃しても異常パターンが印字される場合は、ヘッド切れが考えられます。

使用を中止し、お買い上げいただいた販売店か、メーカーにサービスコールしてください。



(正常)



(異常)

サンプル：

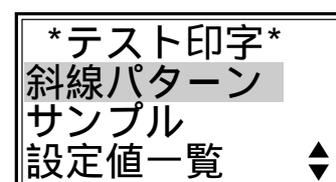
バーコード・文字・内蔵時計の日時などをラベルに印字します。



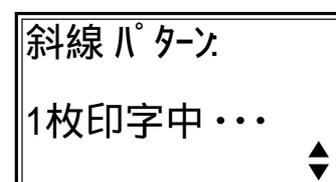
設定値一覧：

ソフトウェアバージョン番号や印字濃度など、各種設定値をラベルに印字します。

↑ ↓ キーで、項目を選択し、**E** 発行 キーを押します。



「1枚印字中…」と表示し、選択した項目を印字発行し、「テスト印字」画面に戻ります。



P 初期 キーを押すと、「設定メニュー」画面に戻ります。

26. 印字濃度設定

設定メニューの「印字濃度設定」を起動します。【 P45 】

印字濃度を設定します。

設定範囲： 1 (薄) 16 (濃) (出荷時：8)

1. 印字濃度を 0^{777} ~ 9^{XYZ} キーで入力し、 $\text{E}^{\text{発行}}$ キーを押します。

表示画面は、現在設定されている数値です。

変更しない場合は、そのまま $\text{E}^{\text{発行}}$ キーを押すと「設定メニュー」画面に戻ります。

2. 設定を変更した場合、「保存しました」と表示し、「設定メニュー」画面に戻ります。

印字濃度：
[8] (1薄-16濃)



印字濃度：
[9] (1薄-16濃)
保存しました

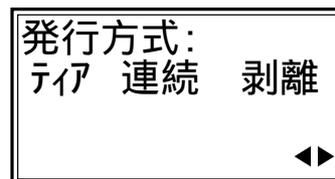
27. 発行方式設定

設定メニューの「発行方式設定」を起動します。【 P45 】

発行方式を「ティア」「連続」「剥離」から選択します。

(出荷時：「連続」)

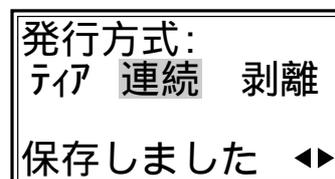
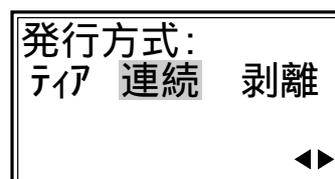
表示画面は、現在設定されているモードにカーソルがあります。



ティア・連続を選択した場合

← → キーで「ティア」「連続」から選択し、 キーを押します。

「保存しました」と表示し、「設定メニュー」画面に戻ります。



「ティア」(ティアオフ)発行は、印字の最後のラベルが、手切りしやすいように、カッターの位置まで繰り出てきます。

「連続」発行は、印字の最後のラベルが、排出口の奥に留まっています。

ラベルが切り離しにくい場合は、紙送りの  キーを押して、1枚のテストパターンが印字されたラベルを発行すれば、切り離しが容易になります。

剥離を選択した場合

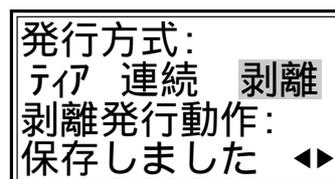
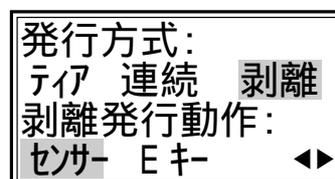
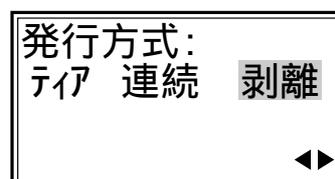
発行トリガーとして、剥離センサーか  キーかを選択します。

← → キーで「センサー」か「Eキー」かを選択し、 キーを押します。

「センサー」に設定すると、待機状態にくり出ているラベルを剥離すると、次のラベルが待機状態に繰り出しますから、操作上は便利です。

リアルタイム更新には不向きな面があります。

「保存しました」と表示し、「設定メニュー」画面に戻ります。



28. 発行後テストパターン

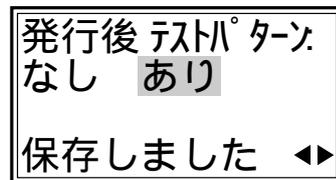
設定メニューの「発行後テストパターン」を起動します。【 P45 】

連続発行の最後にテストパターンを印字するかしないかを設定します。

1. (←) (→) キーで「なし」か「あり」を選択し、(E 発行) キーを押します。(出荷時：あり)

表示画面は、現在設定されているモードにカーソルがあります。変更しない場合は、そのまま (E 発行) キーを押すと「設定メニュー」画面に戻ります。

2. 設定を変更した場合、「保存しました」と表示し、「設定メニュー」画面に戻ります。



29. 発行前位置合せ

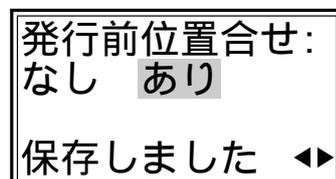
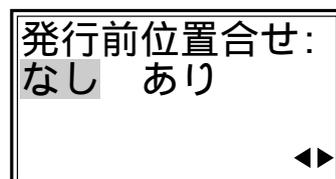
設定メニューの「発行前位置合せ」を起動します。【 P45 】

連続発行開始前に、紙送りして位置合わせ（頭出し）をするかしないかを設定します。

1. (←) (→) キーで「なし」か「あり」を選択し、(E 発行) キーを押します。(出荷時：しない)

表示画面は、現在設定されているモードにカーソルがあります。変更しない場合は、そのまま (E 発行) キーを押すと「設定メニュー」画面に戻ります。

2. 設定を変更した場合、「保存しました」と表示し、「設定メニュー」画面に戻ります。



30. 価格項目設定

設定メニューの「価格項目設定」を起動します。【 P45 】

① 印字する価格マークの設定

(出荷時: 「¥」)

価格マークを「なし」「¥」「円」から選択します。

← → キーで選択し、 キーを押します。



価格マーク:
なし ¥ 円



価格マーク:
なし ¥ 円
カンマ追加:
しない する



価格マーク:
なし ¥ 円
カンマ追加:
保存しました

② カンマ追加の設定

(出荷時: 「しない」)

価格の千と万の間にカンマを自動的に追加するかしないかを設定します。

← → キーで「しない」か「する」を選択し、 キーを押します。

「保存しました」と表示し、「設定メニュー」画面に戻ります。

31. ラベル出し方向

設定メニューの「ラベル出し方向」を起動します。【 P45 】

ラベルが発行される時、印字データが正視できる方向(尻出し)にするか、逆視方向(頭出し)でも頭のデータから印字させるかを設定します。

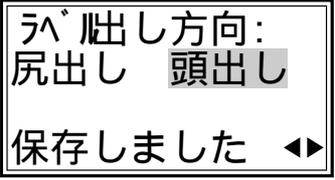
(出荷時: 頭出し)

1. ← → キーで「尻出し」か「頭出し」を選択し、 キーを押します。

表示画面は、現在設定されているモードにカーソルがあります。変更しない場合は、そのまま  キーを押すと「設定メニュー」画面に戻ります。



ラベル出し方向:
尻出し 頭出し



ラベル出し方向:
尻出し 頭出し
保存しました

2. 設定を変更した場合、「保存しました」と表示し、「設定メニュー」画面に戻ります。

32. バー附帯文字

設定メニューの「バー附帯文字」を起動します。【 P45 】

バーコードと共に各バーの意味する附帯文字を印字させるかどうかを設定します。

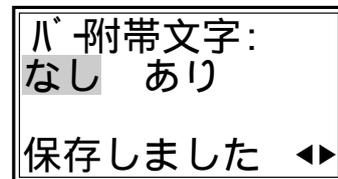
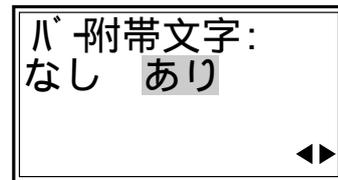
「なし」に設定した場合、その分、バーコードが長くなります。

(出荷時：あり)

1. (←) (→) キーで「なし」か「あり」を選択し、(E 発行) キーを押します。

表示画面は、現在設定されているモードにカーソルがあります。変更しない場合は、そのまま (E 発行) キーを押すと「設定メニュー」画面に戻ります。

2. 設定を変更した場合、「保存しました」と表示し、「設定メニュー」画面に戻ります。



33. 消費税設定

設定メニューの「消費税設定」を起動します。【 P45 】

価格を総額表示する際に、価格の入力方法（税抜き・税込みから選択）および、価格・消費税の表示（9パターンから選択）を設定します。

消費税の設定方法（価格の総額表示）

① 消費税の表示

← → キーで「する」を選択し、 キーを押します。
（出荷時：しない）

「保存しました」と表示し、次の画面に進みます。

② 入力する価格

「ノーマル発行」「呼出発行」「プリセット」で、「売価」を入力する際、税抜き（本体）価格を入力するか、税込み（総額）価格を入力するかを設定します。（出荷時：税抜き）

← → キーで「税抜き」か「税込み」を選択し、 キーを押します。

「税抜き」に設定した場合：

消費税額を計算し、本体価格に『加算』して、「総額表示パターン」に合わせて印字します。

「税込み」に設定した場合：

消費税額を『算出』し、「総額表示パターン」に合わせて印字します。

「保存しました」と表示し、「税抜き（税込み）価格入力！」画面が表示されます。

 キー押して、次のステップに進みます。

税の表示：
しない **する**



税の表示：
保存しました



入力する価格：
税抜き 税込み



入力する価格：
保存しました



税抜き価格入力！



次のステップへつづく

次ページへつづく

33.消費税設定 (つづき)

③総額表示パターン

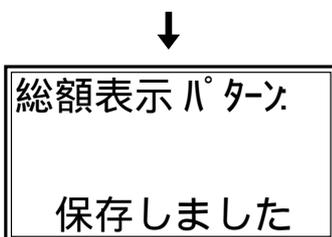
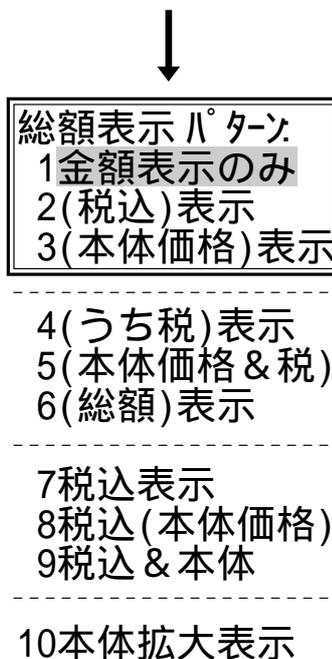
印字する価格のパターンを「総額表示パターン」の項目から選択します。

(出荷時：3(本体価格)表示)

↑ ↓ キーで選択し、キーを押します。

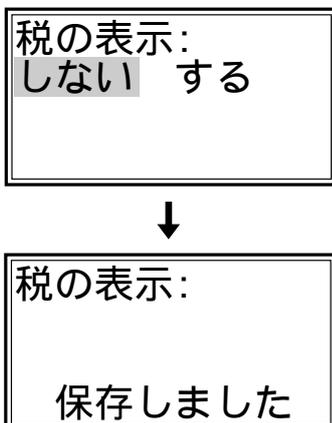
「総額表示パターン(サンプル)」【 付録-10 】を参照してください。

「保存しました」と表示し、「設定メニュー」画面に戻ります。



補足

で、消費税の表示を「しない」に設定すると、総額表示に関する設定が、すべて無効になります。



34. 原産地名編集

設定メニューの「原産地名編集」を起動します。【 P45 】

付録B 産地リスト【 付録-7 】に登録しているコードNo.の産地を変更したり、新しいコードNo.で産地を追加登録します。(登録件数：最大1000件)

原産地名を変更する場合

① 原産地名のコードNo.入力画面

原産地の欄に、付録B 産地リスト【 付録-7 】から変更する原産地のコードNo.を入力して、**(E 発行)** キーを押します。

コードNo.は **(↑ ↓)** キーでスクロールできますので、原産地名を確認しながら対象を選択することもできます。

原産地名編集
原産地:[148]
スワジランド 産
変更



② 原産地名のカナ漢字変換入力画面

不要な文字を **(C クリア)** キーで削除し、「ノーマル発行」や「プリセット(登録)」の品名入力と同様の手順で、変更しようとする原産地名を入力して確定します。

(原産地名：全角8文字まで)

変更が完了し、**(E 発行)** キーを押すと「設定メニュー」画面に戻ります。

原産地名入力 かん
原産地:[148]
スワジランド 産

原産地名を追加する場合

① 原産地名のコードNo.入力画面

原産地の欄に、付録B 産地リスト【 付録-7 】に未登録のコードNo.を入力して、**(E 発行)** キーを押します。

② 原産地名のカナ漢字変換入力画面

「ノーマル発行」や「プリセット(登録)」の品名入力と同様の手順で、追加する原産地名を入力して確定します。
(原産地名：全角8文字まで)

追加が完了し、**(E 発行)** キーを押すと「設定メニュー」画面に戻ります。

原産地名編集
原産地:[149]
新規



原産地名入力 かん
原産地:[149]

35. リサイクルマーク編集

設定メニューの「リサイクルマーク編集」を起動します。【 P45 】

付録C リサイクルマーク表【 付録-8 】に登録しているパターンを変更したり、新しいリサイクルマークを追加登録します。

付録D 付帯文字リスト【 付録-8 】に登録している付帯文字を変更したり、新しい付帯文字を追加登録します。
(登録件数：最大100件)



1. パターン設定

↑ ↓ キーで「パターン設定」を選択し、 キーを押します。

① リサイクルマークを変更する場合

パターン番号の欄に、付録C リサイクルマーク表【 付録-8 】に登録されているリサイクルマークのコードNo.を入力すると、その「プラ」「紙」の材質表示と付帯文字の関係が表示されます。

パターン番号は、↑ ↓ キーでも選択できます。

変更するリサイクルマークのコードNo.を入力（選択）したら、 キーを押します。

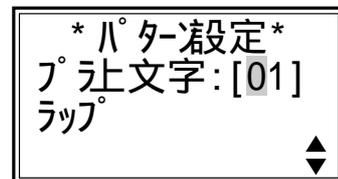
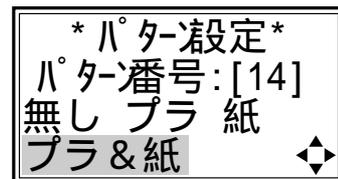
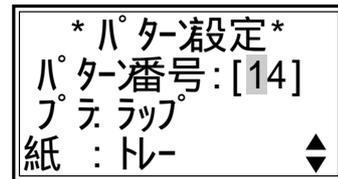
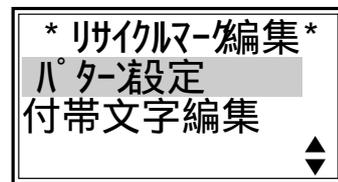
コードNo.14のリサイクルマークの材質は、「プラ&紙」ですが、↑ ↓ ← → キーで「無し」「プラ」「紙」への変更もできます。

対象の材質を選択して、 キーを押します。

付録C リサイクルマーク表【 付録-8 】を見ると、付帯文字が2行のものが2つあります。これはメンテナンスメニューにおける「リサイクルパターン」において、付帯文字行数が、デフォルトで「2行」に設定されています。

パターン番号14のはじめの材質は「プラ」で、付帯文字は「ラップ」です。

[] 内の数字は、付録D 付帯文字リスト【 付録-8 】における「ラップ」のコードNo.「1」を表しており、変更する場合は、付帯文字リストに数字入力するか、キーで選択し、 キーを押して確定します。



次ページへつづく

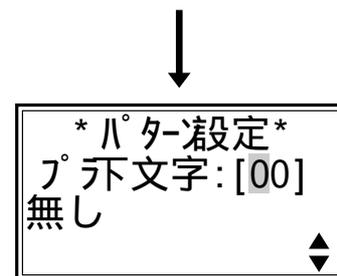
下文字を「無し」でなく、いずれかの付帯文字で確定すると、付録C リサイクルマーク表【 付録-8 】のコードNo. 「6・7・9」のように、付帯文字が2行になります。

付帯文字が1行でよい場合は、無し [00] で確定します。これで上文字の1行だけとなり、印字の際は、リサイクルマークの真ん中に収まります。

リサイクルマークを2個使用しているものは、初めに左側のリサイクルマークに対しての設定を行い、次に右側の設定を行ってください。

設定が完了すると、「リサイクルマーク編集」画面に戻ります。

メンテメニューの「リサイクルパターン」の項目で、付帯文字行数を「3行」に設定しておくことで、付帯文字3行のリサイクルマークを作ることができます。



2. 付帯文字編集

↑ ↓ キーで「付帯文字編集」を選択し、キーを押します。

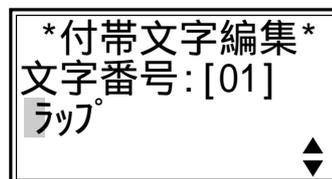
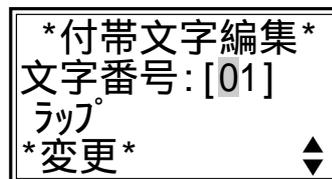
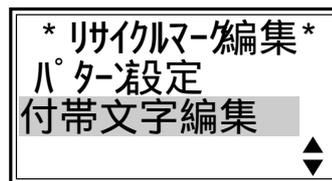
① 付帯文字を変更する場合

文字番号の欄に、付録D 付帯文字リスト【 付録-8 】に登録されている付帯文字のコードNo.を入力して、キーを押します。

コードNo.は ↑ ↓ キーでスクロールできますので、付帯文字を確認しながら対象を選択することもできます。

不要な文字を キーで削除し、「ノーマル発行」や「プリセット（登録）」の品名入力と同様の手順で、変更しようとする付帯文字を入力して確定します。
(付帯文字：全角3文字まで)

変更が完了、キーを押すと「リサイクルマーク編集」画面に戻ります。

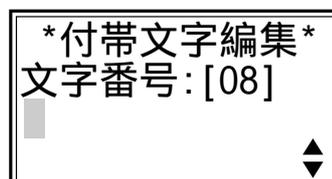
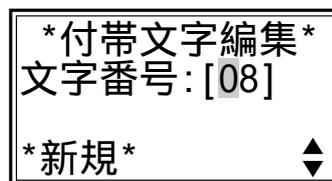


② 付帯文字を追加する場合

文字番号の欄に、付録D 付帯文字リスト【 付録-8 】に未登録のコードNo.を入力して、キーを押します。

「ノーマル発行」や「プリセット（登録）」の品名入力と同様の手順で、追加する付帯文字を入力して確定します。
(付帯文字：全角3文字まで)

追加が完了し、キーを押すと「リサイクルマーク編集」画面に戻ります。



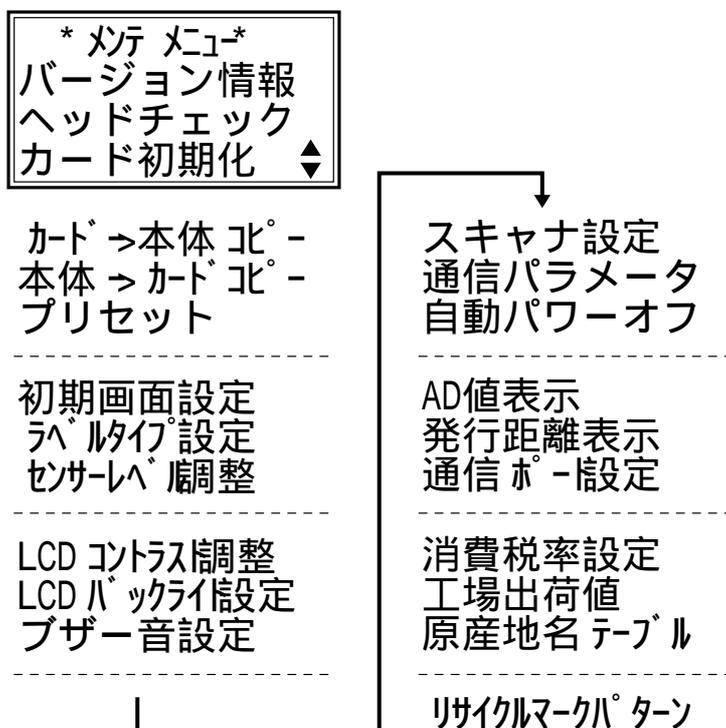
36. メンテメニューについて

1. メンテメニューの起動方法

- (1) (F1) キーを押しながらパワースイッチを押して電源を「オン」にします。
- (2) 「バージョン情報」画面を約3秒間表示した後「メンテメニュー」画面が表示されます。
バッテリーパックでご使用のときは、「バージョン情報」画面に「電池残量」がいっしょに表示されます。

2. メンテメニューの項目

- (↑) (↓) キーを押してスクロールさせると隠れている項目が表示されます。



3. 各項目の起動方法

- (↑) (↓) キーで項目を選択し、(E 発行) キーで決定、起動します。

4. メンテメニューの終了

- 「メンテメニュー」画面の状態、(P 初期) キーを押すと「メンテメニュー」が終了し、「初期画面」に替わります。

37. バージョン情報

メンテメニューの「バージョン情報」を起動します。【 P71 】

1. (E 発行) キーを押すと、SYSTEMとIPLプログラムバージョン番号を表示します。
2. (E 発行) キーか (P 初期) キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

バージョン情報:
IPL: neo-IPL-01
SYS: neo-K001-01

38. ヘッドチェック

メンテメニューの「ヘッドチェック」を起動します。【 P71 】

1. 画面に「ヘッドチェック中・・・」と表示され、IC異常や断線がないか、チェックを開始します。
(ヘッドチェックには数秒かかります。)
2. チェックが終了すると、「ヘッドチェック結果：」を表示します。
3. (E 発行) キーか (P 初期) キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

ヘッドチェック中・・・



ヘッドチェック結果:
200DPI:正常

4. ヘッドチェックが終了し、「ヘッドチェック結果：」画面に「断線」と表示された場合、[ヘッド切れ]があります。
大至急!! お買い上げいただいた販売店かメーカーに、サービスコールしてください。

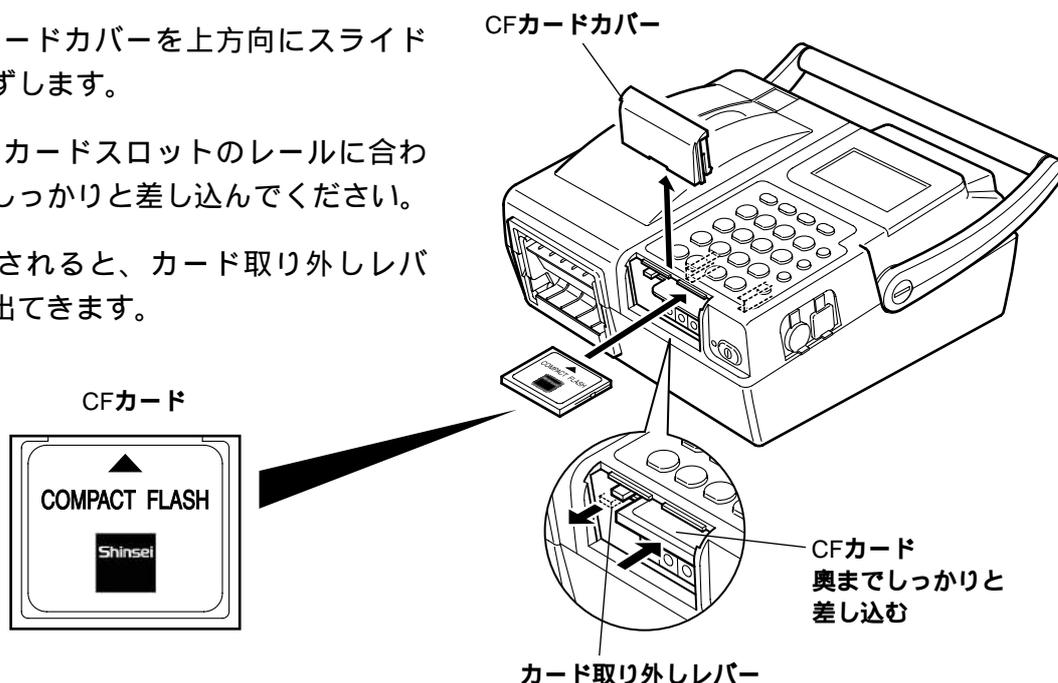
ヘッドチェック結果:
200DPI:断線

39. CFカードについて

本機では、データを保存するメディアに、CF(Compact Flash)カードを使用します。

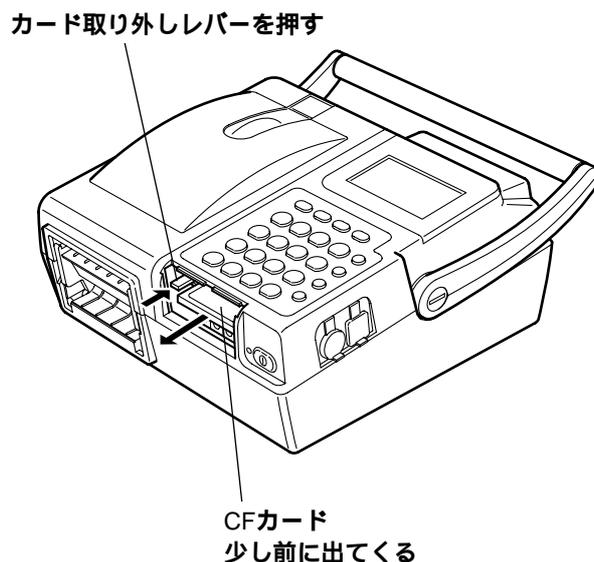
CFカード挿入のしかた

1. 本体のCFカードカバーを上方向にスライドさせて、はずします。
2. CFカードをカードスロットのレールに合わせて奥までしっかりと差し込んでください。
3. 正しく挿入されると、カード取り外しレバーが前方に出てきます。



CFカードの取り外しかた

1. カード取り外しレバーを奥に押し込むと、CFカードがカードスロットから解除され、前方に少しだけ出てきます。
2. CFカードを、まっすぐ前方に引き抜いてください。
3. 本体にCFカードカバーを元通りに取り付けてください。

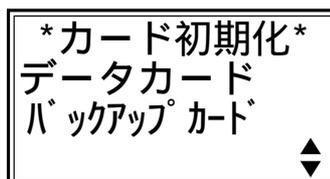


40. カード初期化

カードの種類「データカード」と「バックアップデータ」を選択して、カードの初期化をします。

メンテメニューの「カード初期化」を起動します。【 P71 】

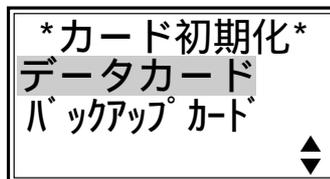
初期化するカードを本体に挿入してください。



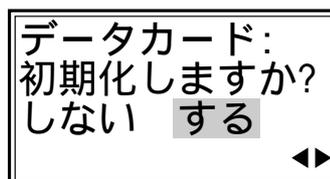
1. データカードの初期化

データカードとは、本体のプリセット（登録）データのみをコピーするものです。

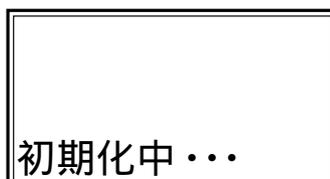
1. (↑) (↓) キーで「データカード」を選択し、(E 発行) キーを押します。



2. (←) (→) キーで「する」を選択し、(E 発行) キーを押します。



3. 「初期化中・・・」と表示して、初期化を開始します。



4. 初期化が終わると、「初期化終了！」と表示して、「カード初期化」画面に戻ります。

これで、データカード用に初期化されました。



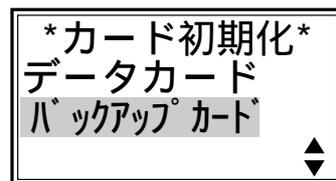
5. (P 初期) キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

「しない」を選択するとキャンセルされて「カード初期化」画面に戻ります。

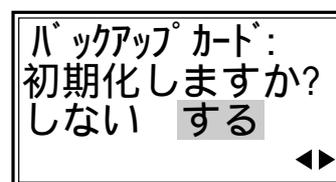
2. バックアップデータの初期化

バックアップカードとは、本体のプリセット（登録）データ及び環境設定値データをリカバリするものです。

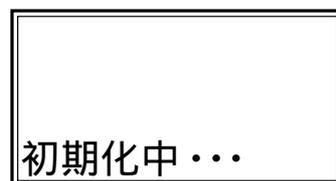
1.   キーで「バックアップカード」を選択し、 キーを押します。



2.   キーで「する」を選択し、 キーを押します。



3. 「初期化中・・・」と表示して、初期化を開始します。



4. 初期化が終わると、「初期化終了！」と表示して、「カード初期化」画面に戻ります。



これで、バックアップカード用に初期化されました。

5.  キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

「しない」を選択するとキャンセルされて「カード初期化」画面に戻ります。

 **注意：** カードの初期化をすると、カードに保存されているデータがすべて削除されます。

40.カード初期化 (つづき)

補足

カードを本体に挿入していない場合や、奥までしっかりと差し込まれていない状態で、カード初期化「する」を選択すると、画面が「カード未挿入!」と表示して、「カード初期化」画面に戻ります。

カード未挿入!



カード初期化
データカード
バックアップカード

CF(Compact Flash)カードは、当社指定のものをご使用ください。

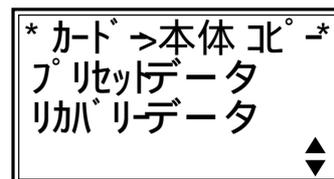
市販品では、使用できないカードも存在します。

41. カード → 本体コピー (データのコピー)

カードから指定データを本体にコピーします。

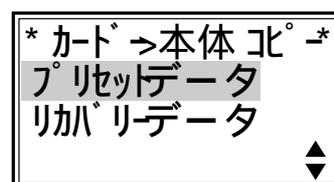
メンテメニューの「カード - 本体コピー」を起動します。【 P71 】

「データカード」あるいは「バックアップカード」を本体に挿入してください。

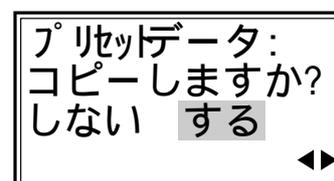


1. プリセットデータを本体にコピー

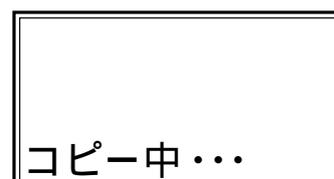
1. (↑) (↓) キーで「プリセットデータ」を選択し、(E 発行) キーを押します。



2. (←) (→) キーで「する」を選択し、(E 発行) キーを押します。



3. 「コピー中…」と表示して、カードから本体へプリセット (登録) データのコピーを開始します。



4. コピーが終わると、「コピー終了!」と表示して、「カード - 本体コピー」画面に戻ります。

これで、カードのプリセット (登録) データが本体にコピーされました。



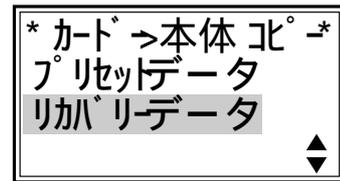
5. (P 初期) キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

「しない」を選択するとキャンセルされて「カード - 本体コピー」画面に戻ります。

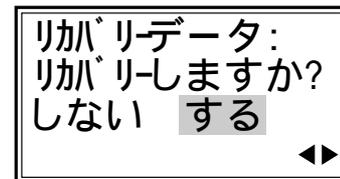
41.カード → 本体コピー (データのコピー) (つづき)

2. リカバリーデータを本体にコピー

1. (↑) (↓) キーで「リカバリーデータ」を選択し、(E発行) キーを押します。



2. (←) (→) キーで「する」を選択し、(E発行) キーを押します。



3. 「リカバリ中…」と表示して、カードから本体へリカバリーデータ (プリセットデータおよび各種設定値データ) のコピーを開始します。



4. コピーが終わると、「リカバリ終了!」と表示して、「カード - 本体コピー」画面に戻ります。



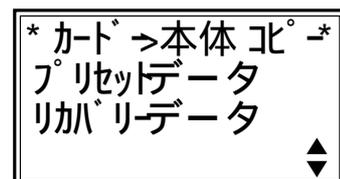
これで、カードのリカバリーデータが本体にコピーされました。

5. (P初期) キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

「しない」を選択するとキャンセルされて「カード - 本体コピー」画面に戻ります。

補足

カードを本体に挿入していない場合や、奥までしっかりと差し込まれていない状態で、コピー・リカバリー「する」を選択すると、画面が「カード未挿入!」と表示して、「カード - 本体コピー」画面に戻ります。

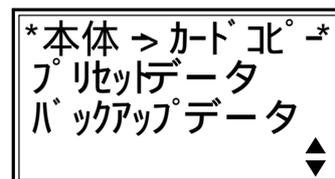


42. 本体 → カードコピー (データのコピー)

本体から指定データをカードにコピーします。

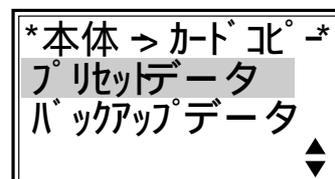
メンテメニューの「本体 - カードコピー」を起動します。【 P71 】

「データカード用」あるいは「バックアップ用」のカードを本体に挿入してください。

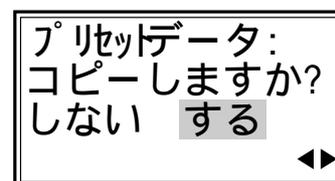


1. プリセットデータをカードにコピー

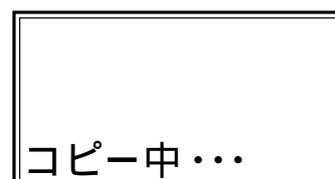
1. (↑) (↓) キーで「プリセットデータ」を選択し、(E 発行) キーを押します。



2. (←) (→) キーで「する」を選択し、(E 発行) キーを押します。



3. 「コピー中…」と表示して、本体からカードへプリセット (登録) データのコピーを開始します。



4. コピーが終わると、「コピー終了!」と表示して、「本体 - カードコピー」画面に戻ります。

これで、本体のプリセット (登録) データがカードにコピーされました。



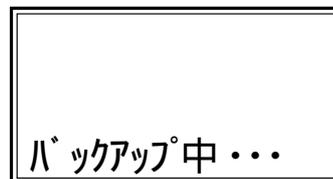
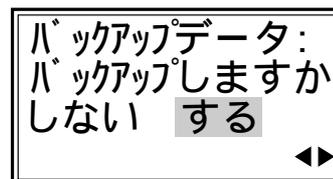
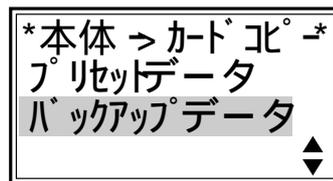
5. (P 初期) キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

「しない」を選択するとキャンセルされて「本体 - カードコピー」画面に戻ります。

2. バックアップデータをカードにコピー

1. (↑) (↓) キーで「バックアップデータ」を選択し、(E 発行) キーを押します。
2. (←) (→) キーで「する」を選択し、(E 発行) キーを押します。
3. 「バックアップ中…」と表示して、本体からカードへバックアップデータ (プリセットデータおよび各種設定値データ) のコピーを開始します。
4. コピーが終わると、「バックアップ終了！」と表示して、「本体 - カードコピー」画面に戻ります。
これで、本体のバックアップデータがカードにコピーされました。
5. (P 初期) キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

「しない」を選択するとキャンセルされて「本体 - カードコピー」画面に戻ります。



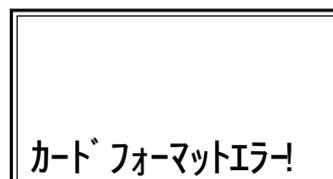
補足

カードを本体に挿入していない場合や、奥までしっかりと差し込まれていない状態で、コピー・バックアップ「する」を選択すると、画面が「カード未挿入！」と表示して、「本体 - カードコピー」画面に戻ります。



バックアップカード用に初期化したカードにプリセットデータをコピーしようとしたり、逆にデータカード用に初期化したカードにバックアップデータをコピーしようとした場合、「コピー中…」 「バックアップ中…」表示の直後に「カードフォーマットエラー」が表示され、それぞれのモードの最初の画面に戻ります。

必ず、データに合わせたカードの初期化をしてください。



43. プリセット (確認と削除)

登録件数の表示・一覧印字・削除をします。

メンテメニューの「プリセット」を起動します。
【 P71 】

⬆ ⬇ キーを押してスクロールさせると隠れている項目が表示されます。

プリセット
登録件数表示
一覧印字
スキャン用印字 ⬆

全削除
番号指定削除

1. 登録件数表示

現在までに内蔵RAMにプリセット(登録)されているデータの登録件数を画面表示し、確認することができます。

1. ⬆ ⬇ キーで「登録件数表示」を選択し、**E** 発行 キーを押します。

プリセット
登録件数表示
一覧印字
スキャン用印字 ⬆



登録件数:
5件

2. 「登録件数 : 」画面が表示されます。

3. **E** 発行 キーか **P** 初期 キーを押すと、「プリセット」画面に戻ります。

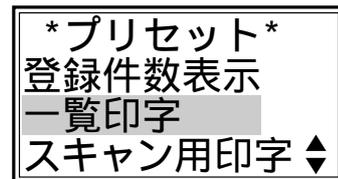
4. **P** 初期 キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

2. 一覧印字

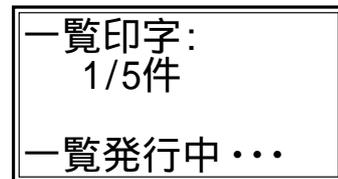
内蔵RAMにプリセット（登録）されたデータの一覧を発行します。

NONPLUのパターンを使用しているプリセットデータで、価格が「¥0」に登録されると、一覧発行では「¥0」のまま発行されるため、スキャンチェックには利用できません。（あくまで登録内容の目視確認用となります）

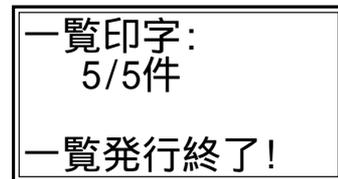
1. (↑) (↓) キーで「一覧印字」を選択し、(E 発行) キーを押します。
2. (E 発行) キーを押すと、画面に「一覧発行中・・・」と表示して、プリセット（登録）されたデータを全て1枚ずつラベル発行します。
3. ラベル発行が終わると、「発行終了！」と表示し、直後に「プリセット」画面に戻ります。
4. (P 初期) キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。



プリセット
登録件数表示
一覧印字
スキャン用印字 ◆



一覧印字:
1/5件
一覧発行中・・・



一覧印字:
5/5件
一覧発行終了!

補足

ラベルの一覧発行の途中で (S 停止) キーを押すと、発行を停止させることができます。

停止した状態から発行をつづける場合は (E 発行) キーを押すと、発行を再開します。

停止した状態から発行を中止する場合は (C クリア) キーを押すと、「一覧印字」はキャンセルされて「プリセット」画面に戻ります。

3. スキャン用印字

一覧印字とは異なり、NONPLUのパターンを使用しているプリセットデータに対しては、登録番号が「価格」に反映して印字されてきます。

この発行ラベルは、スキャンチェックに利用できます。

1. (↑) (↓) キーで「スキャン用印字」を選択し、(E発行) キーを押します。

2. 何番の登録番号から印字させるかを指定できます。

開始番号の欄に、印字を開始させる登録番号を入力して、

(E発行) キーを押します。

3. ラベル発行が終わると、「スキャン用発行終了!」と表示し、直後に「プリセット」画面に戻ります。

4. (P初期) キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

プリセット
登録件数表示
一覧印字
スキャン用印字 ◆



スキャン用印字
開始番号:[■]
/5件



スキャン用印字
開始番号:[1]
1/5件
スキャン用発行中



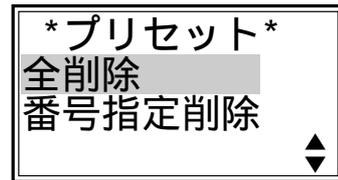
スキャン用印字
開始番号:[1]
5/5件
スキャン用発行終了!

43. プリセット (確認と削除) (つづき)

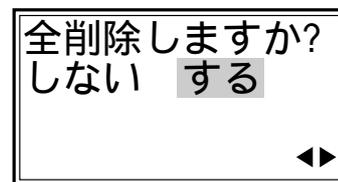
4. 全削除

現在までに内蔵RAMにプリセット (登録) されているデータを一度に全て消去します。

1. (↑) (↓) キーで「全削除」を選択し、(E 発行) キーを押します。



2. (←) (→) キーで「する」を選択し、(E 発行) キーを押します。



3. データを全て消去しました。

「削除終了!」と表示し、「プリセット」画面に戻ります。



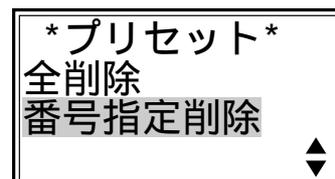
「しない」を選択するとキャンセルされて「プリセット」画面に戻ります。

4. (P 初期) キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

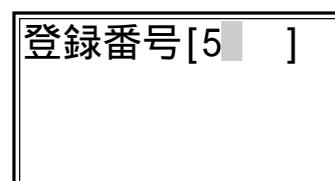
5. 番号指定削除

現在までに内蔵RAMにプリセット（登録）されている登録番号を指定して個別にデータを消去します。

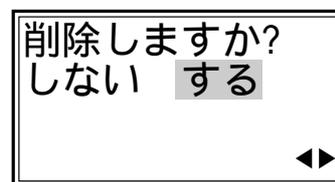
1.   キーで「番号指定削除」を選択し、 キーを押します。



2. ここでは、0005番を削除しますので、 と入力して、 キーを押します。



3.   キーで「する」を選択し、 キーを押します。



4. 指定したデータを消去しました。

「削除終了!」と表示し、「プリセット」画面に戻ります。



「しない」を選択するとキャンセルされて「プリセット」画面に戻ります。

5.  キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

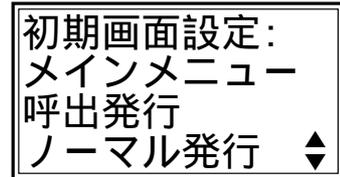
44. 初期画面設定

電源を「オン」にしたときに表示される初期画面を、使用頻度の高いモードに設定することができます。

出荷時は「メインメニュー」に設定されています。

メンテメニューの「初期画面設定」を起動します。【 P71 】

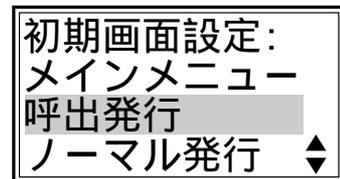
↑ ↓ キーを押してスクロールさせると隠れている項目が表示されます。



通信モード
スキャナ発行

(例) 初期画面を「呼出發行」に設定する場合

1. ↑ ↓ キーで「呼出發行」を選択し、 キーを押します。



2. 初期画面を「呼出發行」に設定しました。
「保存しました」と表示し、「初期画面設定：」画面に戻ります。



3.  キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

選択したいモードにカーソルがある場合は、すでに設定されています。

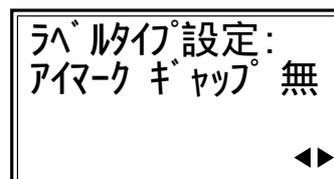
 キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

45. ラベルタイプ設定

ラベルのピッチ（長さ）を検出する方式の設定です。

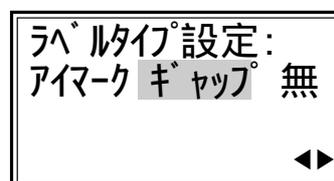
ラベルとラベルの間に抜き（ギャップ）が存在する抜きラベルから、抜きのない連続ラベル（アイマーク）へ、或いはその逆に使用するラベルが変わったときに、この設定が必要となります。
（出荷時：アイマーク）

メンテメニューの「ラベルタイプ設定」を起動します。【 P71 】

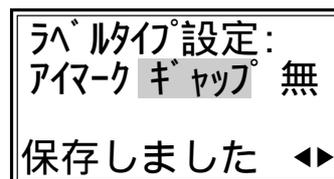


（例）抜きのない連続ラベル（アイマーク）から抜き（ギャップ）が存在する抜きラベルに変更する場合

1. (←) (→) キーで「ギャップ」を選択し、(E 発行) キーを押します。



2. ラベルタイプを抜きラベル（ギャップ）に設定しました。「保存しました」と表示し、「メンテメニュー」画面に戻ります。



選択したいモードにカーソルがある場合は、すでに設定されています。

(E 発行) キーか (P 初期) キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

補足

設定値一覧における8番目のラベル種類：1が「アイマーク」を意味します。

「無」はジャーナル紙を使用する場合に設定し、その送り量は「ラベルサイズ設定」で指定している長さになります。

46. センサーレベル調整

センサー感度の上げ下げをすることができます。

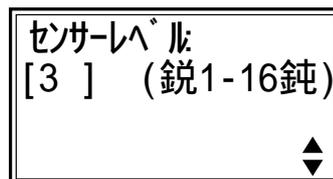
設定範囲：1(鋭い)~16(鈍い)

台紙の反射率(白さ具合)によって、センサーレベルを調整する必要があります。

(出荷時：3)

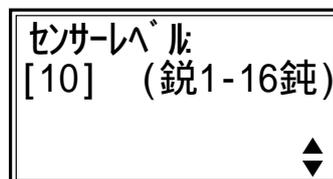
メンテメニューの「センサーレベル調整」を起動します。【 P71 】

↑ ↓ キーで、表示されている数値の前後の数値に替えます。



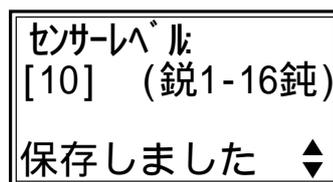
(例)センサーレベルを「8」から「10」にする場合

1. ↑ キーで「10」にし、 キーを押します。



2. センサーレベルを「10」に設定しました。

「保存しました」と表示し、「メンテメニュー」画面に戻ります。



起動したときに、現在設定されている数値を表示します。

変更しない場合は、 キーか  キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

47. LCDコントラスト調整

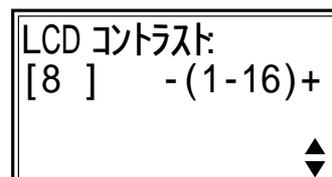
液晶ディスプレイ（表示画面）の明るさを調整することができます。

設定範囲：1(暗)～16(明)

(出荷時：8)

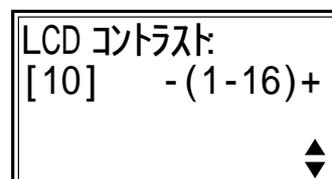
メンテメニューの「LCDコントラスト調整」を起動します。【 P71 】

↑ ↓ キーで、表示されている数値の前後の数値に替えます。



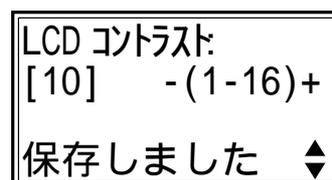
(例) LCDコントラストを「8」から「10」にする場合

1. ↑ キーで「10」にし、 キーを押します。



2. LCDコントラストを「10」に設定しました。

「保存しました」と表示し、「メンテメニュー」画面に戻ります。



起動したときに、現在設定されている数値を表示します。

変更しない場合は、 キーか  キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

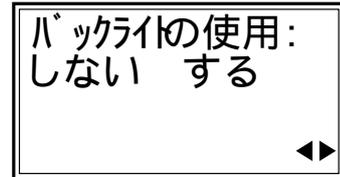
48. LCDバックライト設定

液晶ディスプレイに対するバックライトの使用を設定します。

バックライトを使用する場合、自動OFF機能（設定範囲：10秒～180秒）の設定をします。

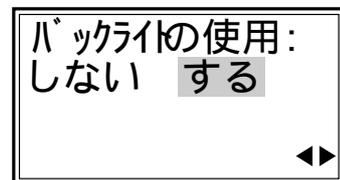
（出荷時：バックライト使用・自動OFF使用・10秒間隔）

メンテメニューの「LCDバックライト設定」を起動します。【 P71 】

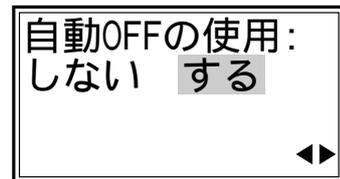


（例）バックライトを自動OFF「15」秒で使用する場合

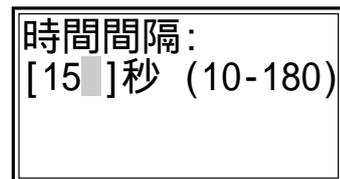
1. (←) (→) キーで「する」を選択し、(E 発行) キーを押します。
表示画面が「保存しました」と表示して、次のステップに進みます。



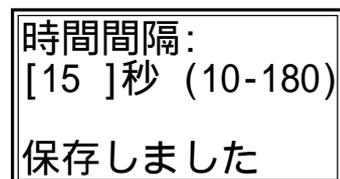
2. (←) (→) キーで「する」を選択し、(E 発行) キーを押します。
表示画面が「保存しました」と表示して、次のステップに進みます。



3. (1 ABC ア) (5 MN ナ) と入力して、(E 発行) キーを押します。



4. バックライト使用・自動OFF15秒間隔に設定しました。
「保存しました」と表示し、「メンテメニュー」画面に戻ります。



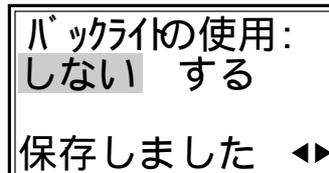
各設定画面で、選択したいモードにカーソルがある場合や数値が表示されている場合は、すでに設定されています。

(E 発行) キーを押すと、次のステップに進みます。

補足

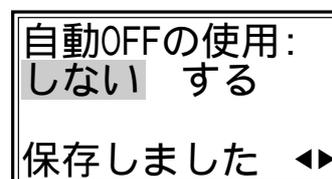
「時間間隔：」画面で、キーの打ち間違いなどで入力を訂正したい場合は、キーでカーソルを戻して入力し直します。

「バックライトの使用：」画面で「しない」と選択した場合、「保存しました」と表示し、「メンテメニュー」画面に戻ります。



バックライトの使用：
しない する
保存しました ◀▶

「自動OFFの使用：」画面で「しない」と選択した場合、「保存しました」と表示し、「メンテメニュー」画面に戻ります。



自動OFFの使用：
しない する
保存しました ◀▶

設定を中止する場合は、キーを押すとキャンセルされて「メンテメニュー」画面に戻ります。

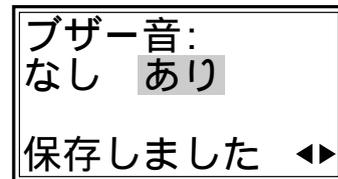
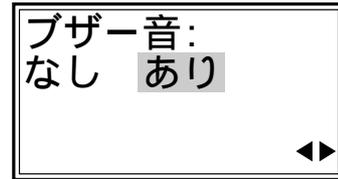
49. ブザー音設定

警告音およびキータッチ音を鳴らすようにするか、しないかを設定します。

(出荷時：あり)

メンテメニューの「ブザー音設定」を起動します。【 P71 】

1. (←) (→) キーで「なし」か「あり」を選択し、(E 発行) キーを押します。



2. 「保存しました」と表示し、「メンテメニュー」画面に戻ります。

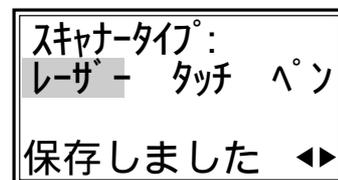
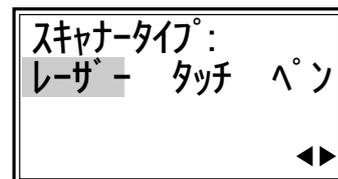
50. スキャナ設定

使用するスキャナのタイプを設定します。

(出荷時：レーザー)

メンテメニューの「スキャナ設定」を起動します。【 P71 】

1. (←) (→) キーで「レーザー」・「タッチ」・「ペン」から選択し、(E 発行) キーを押します。



2. 「保存しました」と表示し、「メンテメニュー」画面に戻ります。

選択したいモードにカーソルがある場合は、すでに設定されています。

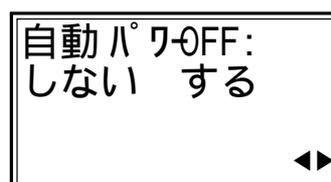
(E 発行) キーか (P 初期) キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

51. 自動パワーオフ

電源の自動パワーOFF機能（設定範囲：5分～60分）の設定をします。

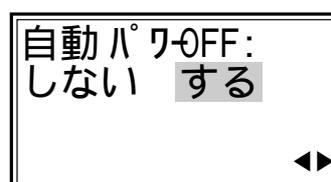
（出荷時：しない・時間間隔15分） 通信モードの場合には、機能しません。

メンテメニューの「自動パワーオフ」を起動
します。【 P71 】

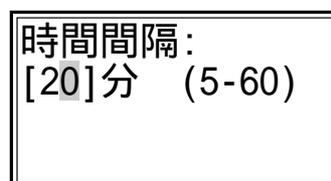


（例）電源の自動パワーOFF「20」分で使用する場合

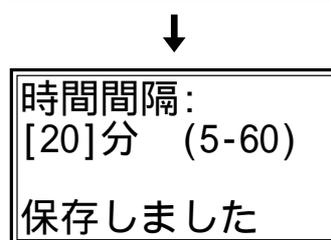
1. (←) (→) キーで「する」を選択し、(E 発行) キーを押します。
表示画面が「保存しました」と表示して、次のステップに進みます。



2. (2 DEF 力) (0 OFF) と入力して、(E 発行) キーを押します。



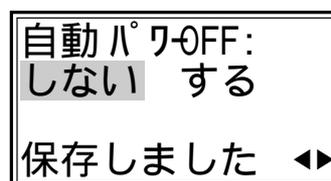
3. 電源の自動パワーOFF「20」分に設定しました。
「保存しました」と表示し、「メンテメニュー」画面に戻ります。
各設定画面で、選択したいモードにカーソルがある場合や
数値が表示されている場合は、すでに設定されています。
(E 発行) キーを押すと、次のステップに進みます。



補足

「時間間隔：」画面で、キーの打ち間違いなどで入力を訂正したい場合は、(C クリア) キーでカーソルを戻して入力します。

「自動パワーOFF：」画面で「しない」と選択した場合、
「保存しました」と表示し、「メンテメニュー」画面に戻ります。



設定を中止する場合は、(P 初期) キーを押すとキャンセルされて「メンテメニュー」画面に戻ります。

52. AD値表示

リアルタイムで各種AD値（反射センサ・透過センサ・剥離センサ・電源電圧・リチウム電圧・ヘッド温度）の表示をおこないます。

メンテメニューの「AD値表示」を起動します。

【 P71 】

1. AD値表示を表示します。

AD値表示: 反射:17 透過:130 剥離:210 電源:141 リチウム:119 ヘッド:57
--

2.  キーか  キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

53. 発行距離表示

これまでに発行されたラベルのトータル発行距離をミリ単位で表示をおこないます。

メンテメニューの「発行距離表示」を起動します。【 P71 】

1. トータル発行距離を表示します。

トータル発行距離: 12644mm

2.  キーか  キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

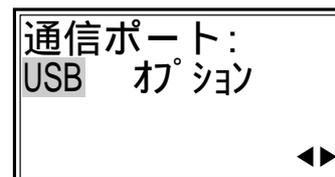
54. 通信ポート設定

「オプション」のRS232C コネクター等を装備されている場合、標準で装備している「USB」コネクターと「オプション」装備コネクターのどちらを有効にするかを設定します。

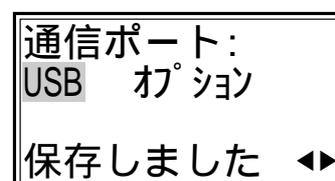
(出荷時：USB)

**メンテメニューの「通信ポート設定」を起動
します。【 P71 】**

1. ◀ ▶ キーで「USB」か「オプション」を選択し、キーを押します。



2. 「保存しました」と表示し、「メンテメニュー」画面に戻ります。



「オプション」はneo製品仕様の「インターフェース」をご覧ください。

お客様のご希望により、装備いたします。

55. 消費税率設定

消費税率（設定範囲：1.00%～99.99%）の設定をします。

（出荷時：現行の消費税率）

メンテメニューの「消費税率設定」を起動します。【 P71 】

消費税率：
[5.00]%
(1.00-99.99)

1. 工場出荷時は、現行の消費税「5%」を設定しています。
税率が変更になったときに数値を入力します。

ここでは  を押して次のステップに進みます。

消費税率：
[05.00]%
(1.00-99.99)

2. NON-PLUバーコードに組み込まれる価格を「税込み」にするか「税抜き」にするかを設定します。

  キーで選択し、 キーを押します。

NON-PLUバ 価格：
税込み 税抜き

3. 円未満の端数を「切り捨て」・「切り上げ」・「四捨五入」から選択します。【 P97 補足 参照 】

  キーで選択し、 キーを押します。

税端数処理：
切り捨て
切り上げ
四捨五入

4. 端数処理桁位置を「小数点第1位」にするか「小数点第2位」にするかを設定します。【 P84 補足 参照 】

  キーで選択し、 キーを押します。

端数処理桁位置：
小数点第1位
小数点第2位

選択したいモードにカーソルがある場合は、すでに設定されています。

 キーか  キーを押すと、「メンテメニュー」画面に戻ります。

設定を中止する場合は、 キーを押すとキャンセルされて「メンテメニュー」画面に戻ります。

補足

税端数処理について：

1. 切り捨てに設定した場合

税抜き(本体)価格を入力するモードのとき…

(例-1)本体価格が 89円 とすると、計算上の消費税は $89 \times 0.05 = 4.45$ 円 ですが、実際の消費税は 45銭 を切り捨てて 4円 となり、税込価格(総額)が $89 + 4 = 93$ 円 になります。

税込み価格を入力するモードのとき…

(例-2)税込み価格が 93円 とすると、計算上の消費税は $93 - 93 \div 1.05 = 4.42$ 円 ですが、実際の消費税は 42銭 を切り捨てて 4円 となり、本体価格が $93 - 4 = 89$ 円 になります。

2. 切り上げに設定した場合

端数処理桁位置「小数点第1位」では、.10以上が切り上げられます。

端数処理桁位置「小数点第2位」では、.01以上が切り上げられます。

税抜き(本体)価格が 81円 で、計算上の消費税が $81 \times 0.05 = 4.05$ 円 を例にします。

端数処理桁位置を「小数点第1位」に設定すると…

(例-3)「小数点第1位」が 0 ですから切り上がり、実際の消費税は 4円 となり、税込価格(総額)が $81 + 4 = 85$ 円 になります。

端数処理桁位置を「小数点第2位」に設定すると…

(例-4)「小数点第2位」が 5 ですから切り上がり、実際の消費税は 5円 となり、税込価格(総額)が $81 + 5 = 86$ 円 になります。

3. 四捨五入に設定した場合

端数処理桁位置「小数点第1位」では、.50以上が切り上げられます。

端数処理桁位置「小数点第2位」では、.45以上が切り上げられます。

税抜き(本体)価格が 89円 で、計算上の消費税が $89 \times 0.05 = 4.45$ 円 を例にします。

端数処理桁位置を「小数点第1位」に設定すると…

(例-5)「小数点第1位」が 4 ですから切り捨てられ、実際の消費税は 4円 となり、税込価格(総額)が $89 + 4 = 93$ 円 になります。

端数処理桁位置を「小数点第2位」に設定すると…

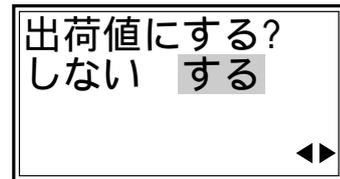
(例-6)「小数点第2位」が 5 ですから切り上がり、実際の消費税は 5円 となり、税込価格(総額)が $89 + 5 = 94$ 円 になります。

56. 工場出荷値

年号の元年設定値と内蔵カレンダー以外の各項目の設定値をすべて工場出荷値に戻します。
ただし、本体に登録されたプリセットデータはそのまま残ります。

メンテメニューの「工場出荷値」を起動します。【 P71 】

1. (←) (→) キーで「しない」か「する」を選択し、(E 発行) キーを押します。



2. 「する」を選択すると、「出荷値にしました」と表示し、「メンテメニュー」画面に戻ります。
(元年設定値と内蔵カレンダー以外の各項目の設定値をすべて工場出荷値に戻りました。)



「しない」を選択するとキャンセルされて「メンテメニュー」画面に戻ります。

57. 原産地名テーブル

メンテメニューの「原産地名テーブル」を起動
します。【 P71 】

*原産地名テーブル 一覧印字 工場出荷値

1. 原産地名テーブルの一覧印字

原産地名テーブルに対して、変更や新規作成を行った場合に、その内容を確認することができます。

↑ ↓ キーで「一覧印字」を選択し、キーを押すと、登録されている産地リストが一覧印字されます。

*原産地名テーブル 一覧印字 工場出荷値



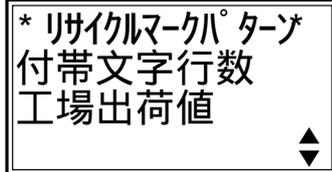
登録件数: 5件

2. 原産地名テーブルの工場出荷値

詳述しませんが、「工場出荷値」にすると、原産地名テーブルの中身が、付録B 産地リスト【 付録-7 】の内容に戻ります。

58. リサイクルマークパターン

メンテメニューの「リサイクルマークパターン」を起動します。【 P71 】

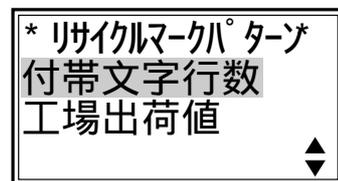


1. リサイクルマークパターンの付帯文字行数

付録C リサイクルマーク表【 付録-8 】を見ますと、の付帯文字が2行のもの（コードNo.「6・7・9」）がありますが、本機では、リサイクルマークパターンの編集機能を備えており、3行まで設定することができます。

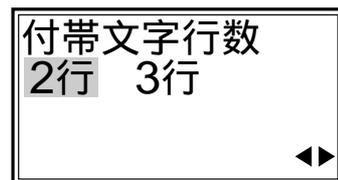
（出荷時：2行）

↑ ↓ キーで「一覧印字」を選択し、 キーを押すと、登録されている産地リストが一覧印字されます。



付帯文字行数を「2行」「3行」から選択します。

← → キーで選択し、 キーを押します。



設定が完了すると、「保存しました」と表示し、「リサイクルマークパターン」画面に戻ります。

2. リサイクルマークパターンの工場出荷値

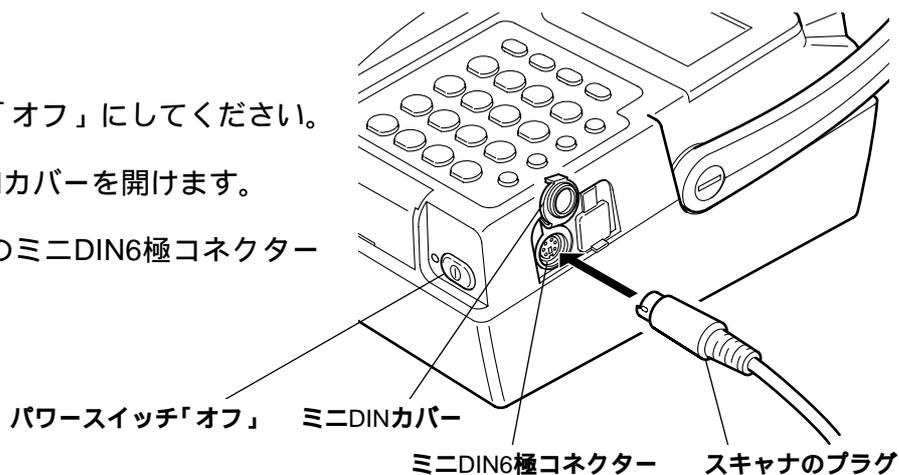
詳述しませんが、「工場出荷値」にすると、リサイクルマークパターンの中身が、付録C リサイクルマーク表【 付録-8 】の内容に戻ります。

59. スキャナ（別売）の使用

スキャナ（別売）を使用すると、次頁からの『コピー発行』・『呼び出し発行』をすることができます。

スキャナの接続

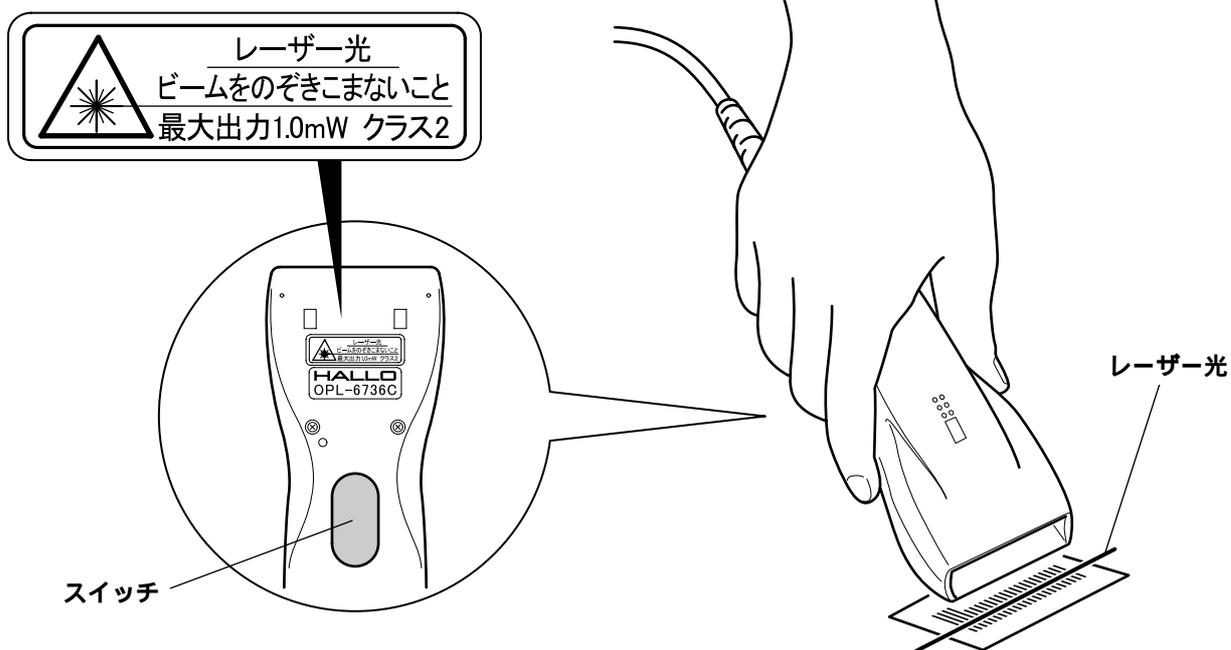
1. 本体のパワースイッチを「オフ」にしてください。
2. 本体の側面にあるミニDINカバーを開けます。
3. スキャナのプラグを本体のミニDIN6極コネクタに差し込みます。



⚠ 注意： 本体のパワースイッチが「オン」の状態のときは、絶対にスキャナのプラグを抜き差ししないでください。

スキャナの使い方

1. スキャナのスイッチを押して、先端をラベル（対象物）に向けると、レーザー光が光ります。
2. レーザー光をバーコードに合わせると、「ピッ」と音がして、バーコードを読み取ります。



「スキャナ」モードの「コピー」か「呼び出し」を選択しないと、スイッチを押しても作動しません。

60. スキャナによるコピー発行のしかた

スキャナで読み取ったバーコードと同じバーコードのラベルを印字発行します。
当製品で発行したラベルのバーコードはもちろん、商品に印刷されているバーコードをスキャンして、ラベルを作成することもできます。

スキャニング用
ラベル



例

予め、「ノーマル発行のしかた」【 P19 】
の操作で、スキャニング用のラベルを発
行してください。

使用するパターン番号：21番

バーコード：4912345678904

① 電源を入れ、モードを選択する

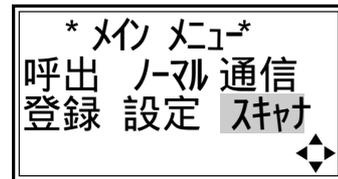
1. パワースイッチを押して電源を「オン」にします。
2. 初期画面が表示されます。

初期画面が「メインメニュー」の場合：

↑ ↓ ← → キーで [スキャナ] を選択し、 キーを
押します。

初期画面が「メインメニュー」以外の場合：

 キーを押して「メインメニュー」画面を呼び出し、
[スキャナ] を選択します。

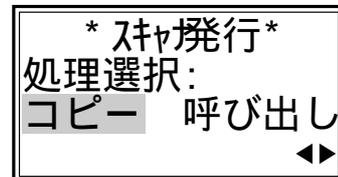


メインメニュー

② 処理選択をする

表示画面は、前回行った発行モードにカーソルがあります。

← → キーで「コピー」を選択し、 キーを押します。

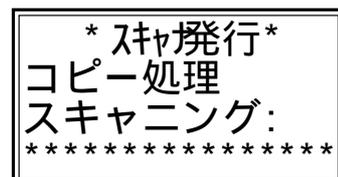


③ スキャニングする

予め、用意したスキャニング用ラベルのバーコードをスキ
ャナで読み取ってください。

【 P101 スキャナの使い方参照 】

「ピッ」と音がして、次の④の画面を表示します。



④ 発行枚数の入力とラベル発行

ラベルを1枚ずつ発行する場合：

1. 発行枚数を入力する必要はありません。
このまま **(E発行)** キーを押します。
2. 確認画面が表示されます。
3. **(E発行)** キーを押すとラベルが1枚発行されます。
4. **(E発行)** キーを押すたびにラベルが1枚ずつ発行され、画面右下に発行枚数の加算カウントを表示します。

21
発行枚数:[0]



21
¥ *0001

確認画面

カウント

発行枚数を決めてラベルを発行する場合：

1. 例として、**(3GHサ)** **(0ファン)** と入力し、**(E発行)** キーを押します。
2. 確認画面が表示されます。
3. **(E発行)** キーを押すとラベルが30枚発行されます。
4. ラベルが発行されるたびに、画面右下に発行枚数の減算カウントを表示します。

21
発行枚数:[30]



21
¥ *0030

確認画面

カウント

発行を途中で停止する場合：

1. ラベルの連続発行中に **(S停止)** キーを押すと発行を停止します。
2. **(E発行)** キーを押すと発行を再開します。

続けてコピー発行する場合：

1. **(P初期)** キーを押すと、「コピー処理」画面に戻りますので、③から操作してください。

コピー発行を終了する場合：

2. **(P初期)** キーを押して「コピー処理」画面に戻した後、**(F1)** キーを押すと、「メインメニュー」画面になります。

61. スキャナによる呼び出し発行のしかた

プリセット（登録）してあるラベルをスキャンして、同じラベルを印字発行します。「メンテメニュー」「プリセット」「一覧印字」で、登録してあるラベルを一覧印刷し、その中から希望のラベルをスキャンするなど、便利な使い道があります。

スキャニング用
ラベル



例

予め、「呼出發行のしかた」【 P42 】の操作で、スキャニング用のラベルを発行してください。

使用する登録番号：0001番

バーコード：4912345678904

① 電源を入れ、モードを選択する

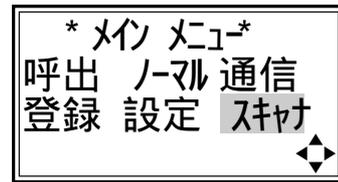
1. パワースイッチを押して電源を「オン」にします。
2. 初期画面が表示されます。

初期画面が「メインメニュー」の場合：

↑ ↓ ← → キーで [スキャナ] を選択し、 キーを押します。

初期画面が「メインメニュー」以外の場合：

 キーを押して「メインメニュー」画面を呼び出し、[スキャナ] を選択します。

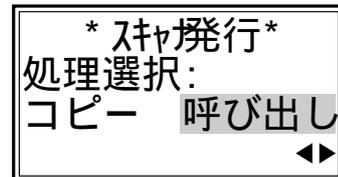


メインメニュー

② 処理選択をする

表示画面は、前回行った発行モードにカーソルがあります。

← → キーで「呼び出し」を選択し、 キーを押します。

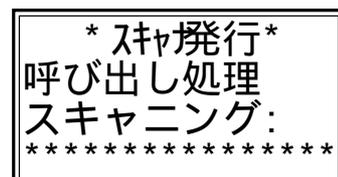


③ スキャニングする

予め、用意したスキャニング用ラベルのバーコードをスキャナで読み取ってください。

【 P101 スキャナの使い方参照 】

「ピッ」と音がして、次の④の画面を表示します。



61. スキャナによる呼び出し発行のしかた (つづき)

④ JAN13桁かUPC-Aかの確認

1. UPC-Aのパターンを使用しているラベルをスキャンした場合で、「JAN13」が選択されているまま (E 発行) キーを押すと、右のように「検索中です」の後、エラー表示されて、③のスキニング画面に戻ってしまいます。
2. 再度対象ラベルをスキニングし、「UPC-A」を選択してから、(E 発行) キーを押してください。
これで、次のステップ⑤へ進みます。

* スキャ発行*
呼び出し処理
選択: JAN13 UPC-A
0123456789012***



* スキャ発行*
呼び出し処理
検索中です
0123456789012***



* スキャ発行*
呼び出し処理
未登録 エラー!

⑤ 原産地のコード番号入力画面

ここでは、変更しませんので、(E 発行) キーを押します。

0001有機栽培野菜
原産地: [001]
北海道 産
4912345678904***◆

⑥ 売価の入力画面

ここでは、変更しませんので、(E 発行) キーを押します。

0001有機栽培野菜
売価:
[¥315]

⑦ 補正日の入力画面

例は、【 設定メニュー 】の「日付項目設定」で、日付の名称を『消費期限』に設定し、『日付の補正』を日数レベルで補正できるように設定してある場合です。

ここでは、変更しませんので、(E 発行) キーを押します。

0001有機栽培野菜
補正日:
+3 日

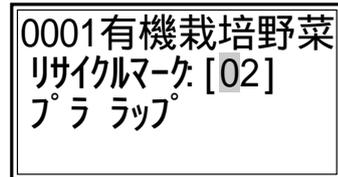
(077) (E 発行) キーで、ラベル発行当日の日付になります。

次ページへつづく

6.1. スキャナによる呼び出し発行のしかた (つづき)

⑧ リサイクルマークのコード番号入力画面

ここでは、変更しませんので、 キーを押します。



0001有機栽培野菜
リサイクルマーク [02]
プラ ラップ

⑨ 発行枚数の入力とラベル発行

ラベルを1枚ずつ発行する場合：

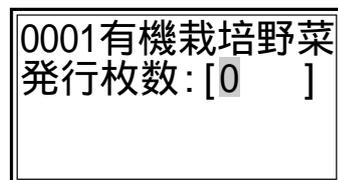
1. 発行枚数を入力する必要はありません。

このまま  キーを押します。

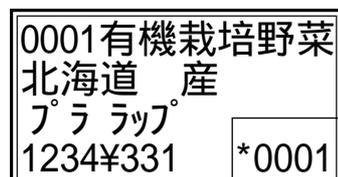
2. 確認画面が表示されます。

3.  キーを押すとラベルが1枚発行されます。

4.  キーを押すたびにラベルが1枚ずつ発行され、画面右下に発行枚数の加算カウントを表示します。



0001有機栽培野菜
発行枚数: [0]



0001有機栽培野菜
北海道産
プラ ラップ
1234¥331 *0001

確認画面

カウント

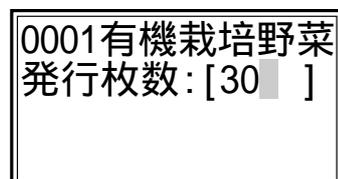
発行枚数を決めてラベルを発行する場合：

1. 例として、  と入力し、 キーを押します。

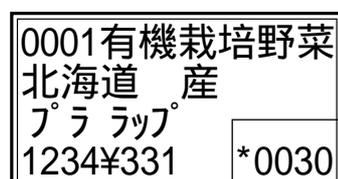
2. 確認画面が表示されます。

3.  キーを押すとラベルが30枚発行されます。

4. ラベルが発行されるたびに、画面右下に発行枚数の減算カウントを表示します。



0001有機栽培野菜
発行枚数: [30]



0001有機栽培野菜
北海道産
プラ ラップ
1234¥331 *0030

確認画面

カウント

発行を途中で停止する場合：

1. ラベルの連続発行中に (S_{停止}) キーを押すと発行を停止します。
2. (E_{発行}) キーを押すと発行を再開します。

続けて呼び出し発行する場合：

1. (P_{初期}) キーを押すと、「呼び出し処理」画面に戻りますので、③から操作してください。

呼び出し発行を終了する場合：

2. (P_{初期}) キーを押して「呼び出し処理」画面に戻した後、(F1) キーを押すと、「メインメニュー」画面になります。

補足

③で、未登録のバーコードをスキャンすると、エラー表示されて「呼び出し処理」画面に戻ります。

NON-PLUで登録される売価とスキャンされた売価が異なる場合は、コード内容が異なるため、未登録になります。

* スキャン発行 *	
呼び出し処理	
未登録	エラー

④以降で表示される画面は、スキャンした登録番号の登録内容および「設定メニュー」各項目で現在設定されている内容により変わります。

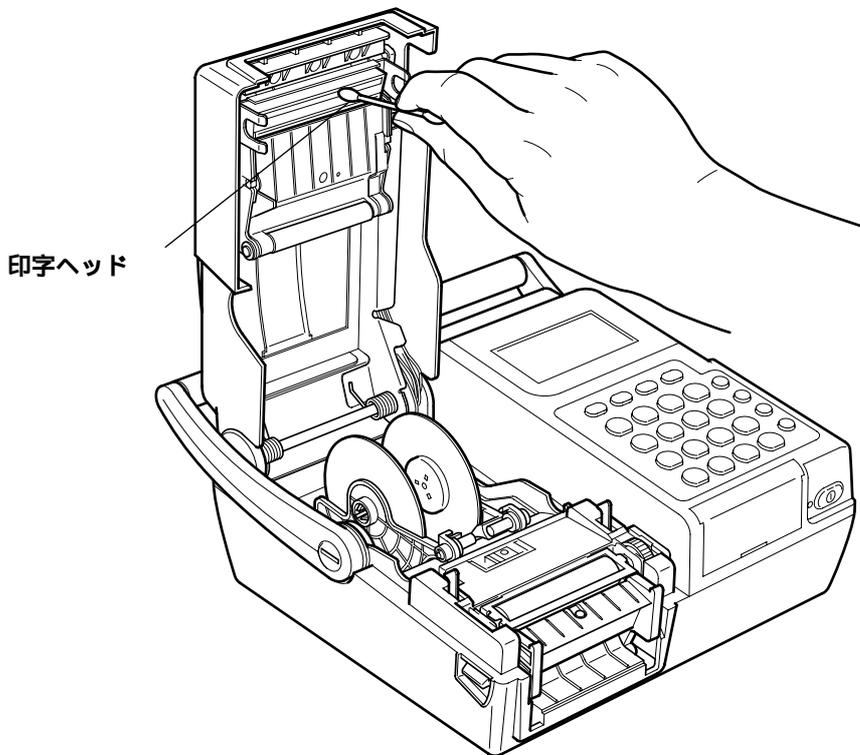
表示される画面の内容は、変更することができます。

62. 日常の点検および清掃

1. 印字ヘッドの清掃

- (1) 印字ヘッドにラベルの糊やゴミが付着すると、正常な印字ができなくなります。
- (2) ご使用の際は、印字ヘッドにゴミが付着していないか、必ず点検してください。
- (3) 付着物がある場合は、付属のサーマルヘッドクリーナーで、ていねいに拭き取ってください。
- (4) サーマルヘッド用と指定されているクリーナー以外は、使用しないでください。

! **注意：** ドライバーなど硬いもので付着物を取り除くことは絶対におこなわないでください。印字ヘッドが損傷するおそれがあります。



2. ラベル通路の清掃

- (1) ラベルの通路に糊やゴミが付着していると、ラベルの移送に抵抗がまして、正常なラベル発行ができなくなるなり、バッテリーの消耗が早くなったりします。
- (2) ゴミなどが付着してきたら、メチルアルコール（メタノール）をしみ込ませた柔らかい布などで、きれいに拭き取ってください。

! **注意：** ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は、本体・プラテンローラーなどを溶かし、トラブルの原因になりますので、絶対に使用しないでください。

62. 日常の点検および清掃 (つづき)

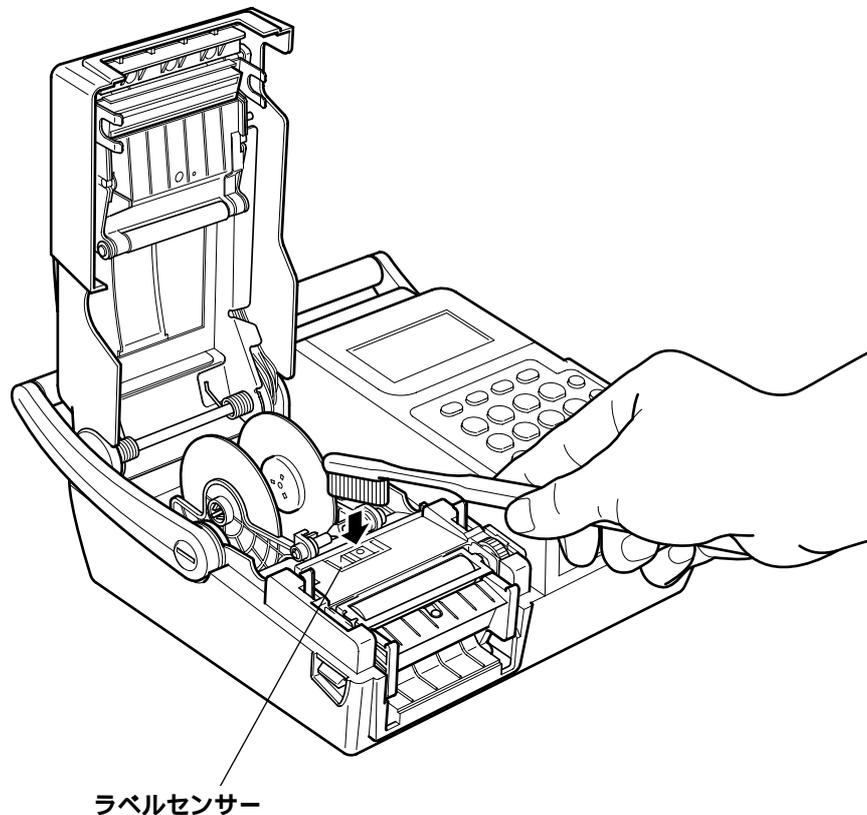
3. ラベルセンサー部の清掃

(ヘッドクリーナーと同梱の清掃ブラシを使用します。)

ラベルが正しくセットされていても、ラベルが動かず、右のようなメッセージが表示された場合は、ラベルセンサー部が汚れていたり、ゴミが付着している可能性があります。

0001有機栽培野菜
北海道産
プララップ
ラベルエラー!

- (1) 下図のように、カバーを開けて、ラベルセンサー部を付属品のブラシで清掃してください。
- (2) ラベルが正しくセットされているか確認して、カバーを閉じてください。



neo プリンタエラー表示一覧

番号	LCD表示	内容
1	カバーオープン!	印字中にカバーがオープンされた
2	ラベルエラー!	ラベルがなくなったか、マークを認識できない
3	充電して下さい!	電池残量が足りない
4	パターン番号エラー!	指定パターンが登録されていない
5	登録番号エラー!	指定登録番号が登録されていない
6	コマンドエラー!	通信コマンドに異常があった
7	ヘッド過熱!	ヘッド温度が高すぎる
8	断線!	ヘッド切れしている(サービスコール)
9	通信エラー!	通信パラメータが合わないか、通信データに異常があった
10	リチウム電池異常!	リチウム電池の残量が足りなくなった(サービスコール)
11	カードタイプエラー!	CFカード以外のカードをセットした
12	カードフォーマットエラー!	違うフォーマットのカードをセットした
13	カードアクセスエラー!	カードへアクセスできない
14	デバイスエラー!	サーマルヘッドまたは通信基盤が認識できない
15	ラベルサイズ 足りない	設定したラベル長さが足りない

neo 製品仕様

本体	印字方式	感熱記録		
	印字密度	8dot/mm (2 0 3 d p i)		
	有効印字幅	5 6 mm		
	印字速度	80mm / 秒		
	操作パネル	表示方式	バックライト付き L C D	
		画面サイズ	55mm × 28mm (128dot × 64dot)	
	標準ラベルサイズ	幅 2 4 ~ 3 2 mm 送りピッチ 1 8 ~ 3 8 mm		
	印字文字	数字、アルファベット、カタカナ、記号、漢字 (JIS第 1 , 第 2 水準)		
	文字フォント	ゴシックビットマップフォント 1 6 dot × 1 6 dot , 2 2 dot × 2 2 dot , 2 4 dot × 2 4 dot		
	印字バーコード	JAN 8 , JAN 1 3、UPC-A , UPC-E等		
	操作パネルキー数	2 4		
	漢字入力	辞書変換		
	メモリ	容量	本体内存蔵2MB、メモリカードはC F カ - ド対応	
		登録件数	9 9 9 9 件	
	インターフェース	標準	USB、ミニDIN 6 極 (スキャナ専用)	
		オプション	RS232C、LAN、無線LAN、Bluetooth (随時発売予定)	
	機能	発行方式	剥離、連続、ティアオフに対応	
ラベルタイプ		裏マーク、抜きラベル、連続紙に対応		
内蔵時計		有り (年、月、日、時、分印字)		
その他		オートパワーオフ、バッテリー残量表示		
外形寸法重量	104mm (H) × 201mm (W) × 195mm (D) 1.8 k g (ラベル、電源部含まず)			
動作環境	温度 5 ~ 3 5 湿度 2 5 %RH ~ 8 0 %RH			
P C ユーティリティソフト		データ作成ツール有り (別売り)		
電源部	バッテリーセット	バッテリーパック (B H - 3 0)	寸法 : 4 4 mm(H) × 7 5 mm(W) × 9 8 mm(D) 重量 : 5 0 0 g	
		バッテリー容量	1 2 V 2 0 0 0 m A h ニッケル水素蓄電池 満充電ラベル発行能力 5000 ~ 10000枚	
		充電器 (C H - 3 0)	寸法 : 5 7 mm(H) × 9 1 mm(W) × 1 7 0 mm(D) 重量 : 4 2 0 g	
		入出力充電時間	入力AC 1 0 0 ~ 2 4 0 V 出力 1 2 V 2 A 充電時間 6 0 分	
	コンバータセット	A C コンバータ (C V - 8 0)	寸法 : 4 4 mm(H) × 7 5 mm (W) × 1 3 8 mm(D) 重量 4 0 0 g	
		入出力	入力 A C 1 0 0 ~ 2 4 0 V 出力 D C 1 5 V 5 A	

デザイン、仕様などについて、予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。

【付録A】 固定パターン表

8桁 PLU (価格4桁)			13桁 PLU (価格6桁)		
パターン No.	印字サンプル	入力の構成	パターン No.	印字サンプル	入力の構成
P01		フリーコード 7桁 + CD バー長 17mm	P11		フリーコード 12桁 + CD バー長 17mm
P02	123 ¥19800 	フリーコード 7桁 + CD 部門 3桁 売価 5桁 バー長 13mm	P12	1234 ¥198000 	フリーコード 12桁 + CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 13mm
P03	 123 ¥19800	フリーコード 7桁 + CD 部門 3桁 売価 5桁 バー長 13mm	P13	 1234 ¥198000	フリーコード 12桁 + CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 13mm
P04	グリーンアスパラガス 123 ¥198000 	品名(全角) 10桁 フリーコード 7桁 + CD 部門 3桁 売価 6桁 バー長 9mm	P14	グリーンアスパラガス 1234 ¥198000 	品名(全角) 10桁 フリーコード 12桁 + CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 9mm
P05	グリーンアスパラガス  123 ¥198000	品名(全角) 10桁 フリーコード 7桁 + CD 部門 3桁 売価 6桁 バー長 9mm	P15	グリーンアスパラガス  1234 ¥198000	品名(全角) 10桁 フリーコード 12桁 + CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 9mm
P06	123 ¥198000  グリーンアスパラガス	品名(全角) 10桁 フリーコード 7桁 + CD 部門 3桁 売価 6桁 バー長 9mm	P16	1234 ¥198000  グリーンアスパラガス	品名(全角) 10桁 フリーコード 12桁 + CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 9mm
P07	グリーンアスパラガス サラダ、炒め物に！  123 ¥198000	品名1(全角) 10桁 品名2(全角) 10桁 フリーコード 7桁 + CD 部門 3桁 売価 6桁 バー長 6mm	P17	グリーンアスパラガス サラダ、炒め物に！  1234 ¥198000	品名1(全角) 10桁 品名2(全角) 10桁 フリーコード 12桁 + CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 6mm

13桁 PLU (分割入力7桁、6桁)			13桁 PLU (分割入力9桁、4桁)		
パターン No.	印字サンプル	入力の構成	パターン No.	印字サンプル	入力の構成
P21		F+メーカーコード 7桁 アイテムコード 5桁+CD バー長 17mm	P31		F+メーカーコード 9桁 アイテムコード 3桁+CD バー長 17mm
P22		F+メーカーコード 7桁 アイテムコード 5桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 13mm	P32		F+メーカーコード 9桁 アイテムコード 3桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 13mm
P23		F+メーカーコード 7桁 アイテムコード 5桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 13mm	P33		F+メーカーコード 9桁 アイテムコード 3桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 13mm
P24	グリーンアスパラガス 	品名(全角) 10桁 F+メーカーコード 7桁 アイテムコード 5桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 9mm	P34	グリーンアスパラガス 	品名(全角) 10桁 F+メーカーコード 9桁 アイテムコード 3桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 9mm
P25	グリーンアスパラガス 	品名(全角) 10桁 F+メーカーコード 7桁 アイテムコード 5桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 9mm	P35	グリーンアスパラガス 	品名(全角) 10桁 F+メーカーコード 9桁 アイテムコード 3桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 9mm
P26	 グリーンアスパラガス	品名(全角) 10桁 F+メーカーコード 7桁 アイテムコード 5桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 9mm	P36	 グリーンアスパラガス	品名(全角) 10桁 F+メーカーコード 9桁 アイテムコード 3桁+CD 部門 3桁 売価 6桁 バー長 9mm
P27	グリーンアスパラガス サラダ、炒め物に! 	品名1(全角) 10桁 品名2(全角) 10桁 F+メーカーコード 7桁 アイテムコード 5桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 6mm	P37	グリーンアスパラガス サラダ、炒め物に! 	品名1(全角) 10桁 品名2(全角) 10桁 F+メーカーコード 9桁 アイテムコード 3桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 6mm

8桁 NONPLU (価格4桁)		
パターン No.	印字サンプル	入力の構成
P41		F+分類コード 3桁 売価 4桁 バー長 17mm
P42		F+分類コード 3桁 部門 4桁 売価 4桁 バー長 13mm
P43		F+分類コード 3桁 部門 4桁 売価 4桁 バー長 13mm
P44		品名(全角) 10桁 F+分類コード 3桁 部門 4桁 売価 4桁 バー長 9mm
P45		品名(全角) 10桁 F+分類コード 3桁 部門 4桁 売価 4桁 バー長 9mm
P46		品名(全角) 10桁 F+分類コード 3桁 部門 4桁 売価 4桁 バー長 9mm
P47		品名1(全角) 10桁 品名2(全角) 10桁 F+分類コード 3桁 部門 4桁 売価 4桁 バー長 6mm

13桁 NONPLU (価格6桁)		
パターン No.	印字サンプル	入力の構成
P51		F+アイテムコード 6桁 売価 6桁 バー長 17mm
P52		F+アイテムコード 6桁 部門 4桁 売価 6桁 バー長 13mm
P53		F+アイテムコード 6桁 部門 4桁 売価 6桁 バー長 13mm
P54		品名(全角) 10桁 F+アイテムコード 6桁 部門 4桁 売価 6桁 バー長 9mm
P55		品名(全角) 10桁 F+アイテムコード 6桁 部門 4桁 売価 6桁 バー長 9mm
P56		品名(全角) 10桁 F+アイテムコード 6桁 部門 4桁 売価 6桁 バー長 9mm
P57		品名1(全角) 10桁 品名2(全角) 10桁 F+アイテムコード 6桁 部門 4桁 売価 6桁 バー長 6mm
P58		品名(全角) 10桁 フラグ 2桁 部門 4桁 売価 6桁 バー長 9mm
P59		品名(全角) 10桁 フラグ+分類 3桁 部門 3桁 売価 6桁 バー長 9mm

13桁 NONPLU (価格5桁)			13桁 NONPLU (価格4桁)		
パターン No.	印字サンプル	入力の構成	パターン No.	印字サンプル	入力の構成
P61		F+アイテムコード 7桁 売価 5桁 バー長 17mm	P71		F+アイテムコード 8桁 売価 4桁 バー長 17mm
P62		F+アイテムコード 7桁 部門 4桁 売価 5桁 バー長 13mm	P72		F+アイテムコード 8桁 部門 4桁 売価 4桁 バー長 13mm
P63		F+アイテムコード 7桁 部門 4桁 売価 5桁 バー長 13mm	P73		F+アイテムコード 8桁 部門 4桁 売価 4桁 バー長 13mm
P64		品名(全角) 10桁 F+アイテムコード 7桁 部門 4桁 売価 5桁 バー長 9mm	P74		品名(全角) 10桁 F+アイテムコード 8桁 部門 4桁 売価 4桁 バー長 9mm
P65		品名(全角) 10桁 F+アイテムコード 7桁 部門 4桁 売価 5桁 バー長 9mm	P75		品名(全角) 10桁 F+アイテムコード 8桁 部門 4桁 売価 4桁 バー長 9mm
P66		品名(全角) 10桁 F+アイテムコード 7桁 部門 4桁 売価 5桁 バー長 9mm	P76		品名(全角) 10桁 F+アイテムコード 8桁 部門 4桁 売価 4桁 バー長 9mm
P67		品名1(全角) 10桁 品名2(全角) 10桁 F+アイテムコード 7桁 部門 4桁 売価 5桁 バー長 6mm	P77		品名1(全角) 10桁 品名2(全角) 10桁 F+アイテムコード 8桁 部門 4桁 売価 4桁 バー長 6mm
P68		品名(全角) 10桁 フラグ+分類 3桁 部門 4桁 売価 5桁 バー長 9mm	P78		品名(全角) 10桁 フラグ+分類 4桁 部門 4桁 売価 4桁 バー長 9mm

13桁 NONPLU (価格4桁P/Cあり)		
パターン No.	印字サンプル	入力の構成
P81		F+アイテムコード 7桁 売価 4桁 P/Cあり バー長 17mm
P82		F+アイテムコード 7桁 部門 4桁 売価 4桁 P/Cあり バー長 13mm
P83		F+アイテムコード 7桁 部門 4桁 売価 4桁 P/Cあり バー長 13mm
P84		品名(全角) 10桁 F+アイテムコード 7桁 部門 4桁 売価 4桁 P/Cあり バー長 9mm
P85		品名(全角) 10桁 F+アイテムコード 7桁 部門 4桁 売価 4桁 P/Cあり バー長 9mm
P86		品名(全角) 10桁 F+アイテムコード 7桁 部門 4桁 売価 4桁 P/Cあり バー長 9mm
P87		品名1(全角) 10桁 品名2(全角) 10桁 F+アイテムコード 7桁 部門 4桁 売価 4桁 P/Cあり バー長 6mm
P88		品名(全角) 10桁 フラグ+分類 3桁 部門 4桁 売価 4桁 P/Cあり バー長 9mm

UPC-A		
パターン No.	印字サンプル	入力の構成
P91		フリーコード 11桁+CD バー長 9mm
P92		フリーコード 11桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 13mm
P93		フリーコード 11桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 13mm
P94		品名(全角) 10桁 フリーコード 11桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 9mm
P95		品名(全角) 10桁 フリーコード 11桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 9mm
P96		品名(全角) 10桁 フリーコード 11桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 9mm
P97		品名1(全角) 10桁 品名2(全角) 10桁 フリーコード 11桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 6mm

UPC-E		
パターン No.	印字サンプル	入力の構成
P10		フリーコード 6桁+CD バー長 17mm
P20	1234 ¥198000 	フリーコード 6桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 13mm
P30	 1234 ¥198000	フリーコード 6桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 13mm
P40	グリーンアスパラガス 1234 ¥198000 	品名(全角) 10桁 フリーコード 6桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 9mm
P50	グリーンアスパラガス 1234 ¥198000	品名(全角) 10桁 フリーコード 6桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 9mm
P60	1234 ¥198000 グリーンアスパラガス	品名(全角) 10桁 フリーコード 6桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 9mm
P70	グリーンアスパラガス サラダ、炒め物に！ 1234 ¥198000	品名1(全角) 10桁 品名2(全角) 10桁 フリーコード 6桁+CD 部門 4桁 売価 6桁 バー長 6mm

バーコードなし		
パターン No.	印字サンプル	入力の構成
P80	1234 ¥198000	部門 4桁 売価 6桁
P90	グリーンアスパラガス サラダ、炒め物に！ 1234 ¥198000	品名1(全角) 10桁 品名2(全角) 10桁 部門 4桁 売価 6桁

フォントサイズ

品名(全角) 22×22ドット(ゴシック体)
 部門・呼出No. 18×12ドット(ゴシック体)
 売価 28×16ドット(ゴシック体)
 付帯文字 14×12ドット(OCR)
 売価(P80,90) 48×32ドット(ゴシック体)

バー長は天地25mmサイズでノーマルパターン時での長さです。
 プリセット発行、産地印字、ラベルサイズ変更によりバー長は変わります。
 P58、59、68、78、88の部門はバーコードにリンクします。

【付録B】産地リスト

コードNo.	産地	コードNo.	産地	コードNo.	産地
1	北海道	37	香川県	125	イタリア
2	青森県	38	愛媛県	126	オランダ
3	岩手県	39	高知県	127	スペイン
4	秋田県	40	福岡県	128	フランス
5	宮城県	41	佐賀県	129	ベルギー
6	山形県	42	長崎県	130	ポルトガル
7	福島県	43	熊本県	131	アラブ
8	茨城県	44	大分県	132	イラン
9	栃木県	45	宮崎県	133	エジプト
10	群馬県	46	鹿児島県	134	クウェート
11	埼玉県	47	沖縄県	135	サウジアラビア
12	千葉県			136	スーダン
13	東京都	101	韓国	137	セネガル
14	神奈川県	102	北朝鮮	138	ナイジェリア
15	山梨県	103	台湾	139	トルコ
16	長野県	104	中国	140	マレーシア
17	新潟県	105	フィリピン	141	イギリス
18	岐阜県	106	アメリカ	142	ロシア
19	静岡県	107	カナダ	143	スリランカ
20	愛知県	108	メキシコ	144	オマーン
21	三重県	109	ニュージーランド	145	トンガ
22	富山県	110	オーストラリア	146	インドネシア
23	石川県	111	イスラエル	147	ニューカレドニア
24	福井県	112	南アフリカ	148	スワジランド
25	滋賀県	113	エクアドル		
26	京都府	114	チリ		
27	大阪府	115	フィジー		
28	兵庫県	116	タイ		
29	奈良県	117	インド		
30	和歌山県	118	アルゼンチン		
31	鳥取県	119	コロンビア		
32	島根県	120	ベトナム		
33	岡山県	121	ブラジル		
34	広島県	122	ペルー		
35	山口県	123	ドイツ		
36	徳島県	124	ブルガリア	0	無し(空白)

国内計 47件

国外計 48件

総合計 95件

【付録C】 リサイクルマーク表

コードNo.	リサイクルマーク
0	印字無し
1	
2	 ラップ
3	 フィルム
4	 吸水紙
5	 袋
6	 袋 とめ具
7	 ラップ 吸水紙
8	 外包装
9	 トレー ラップ
10	
11	
12	 吸水紙
13	 ラップ  吸水紙
14	 ラップ  トレー

【付録D】 付帯文字リスト

コードNo.	付帯文字
0	印字無し
1	ラップ
2	フィルム
3	吸水紙
4	袋
5	とめ具
6	外包装
7	トレー
8	
9	
10	

【付録E】 日付名称リスト

コードNo.	名称	注
0	無し	
1	賞味期限	期限関連
2	消費期限	
3	販売期限	
4		
5	自動期限	
1 1	製造年月日	製造日関連
1 2	製 造 日	
1 3	加 工 日	
1 4	包装年月日	
1 5	出 荷 日	
1 6	陳 列 日	
1 7	精米年月日	

【付録F】 総額表示パターン (サンプル)

1 金額表示のみ



2 (税込)表示



3 (本体価格)表示



4 (うち税)表示



5 (本体価格&税)



6 (総額)表示



7 税込表示



8 税込(本体価格)



9 税込&本体



10 本体拡大表示



